

高崎市文化財調査報告書第 290集

中大類・天田遺跡

－校舎建設に伴う埋蔵文化財発掘調査－






2011

高崎市教育委員会

例言

1. 本書は校舎建設に伴う中大類・天田遺跡（高崎市遺跡番号 500）の発掘調査報告書である。
2. 本遺跡の所在地は、群馬県高崎市中大類町字天田 530 番地ほかである。
3. 発掘作業・整理等作業は、高崎市教育委員会の指導・監理の下、株式会社測研の協力を得て実施した。
4. 発掘作業から整理等作業を経て本書刊行に至る経費は、学校法人高崎健康福祉大学 理事長 須藤 賢一氏に負担して頂いた。
5. 発掘作業は平成 23 年 3 月 28 日～4 月 28 日まで行い、整理等作業は 5 月 9 日～11 月 30 日まで実施した。
6. 発掘調査の体制は下記の通りである。
高崎市教育委員会 田口一郎 須田奈保子 滝沢 匡
株式会社 測研 高林真人 水谷貴之
7. 発掘調査は高林が担当し、水谷が補佐した。
8. 本書の執筆は、I を田口、II・III-(3) を高林、それ以外を水谷が行い、編集は水谷が行った。
9. 整理等作業における出土遺物への注記内容は、遺跡番号・出土遺構名・出土位置などを記入した。
10. 出土遺物及び遺構断面・写真などの調査記録類は、すべて高崎市教育委員会が保管している。
11. 発掘作業と整理等作業にあたり、下記の方々・機関からご協力を賜った。（順不同・敬称略）
須藤 賢一 山下工業株式会社

凡例

1. 本書で使用した座標は全て世界測地系である。挿入図における北方位 (N) は座標北を示し、遺構断面図中の「L」は標高を示す。
2. 遺構の主軸・長軸方位などは、座標北 (N) から東 (E) または西 (W) 方向への角度として計測した。
3. 発掘作業と本書では、遺構名称の表記として以下の略称を併用した。
竪穴住居跡 = SI 掘立柱建物跡 = SB 土坑 = SK 溝 = SD ビット = P
4. 遺構実測図・遺物実測図の縮尺は全て挿入中に明示したが、主なものは以下の通りである。
【遺構】 S=1/60・・・竪穴住居跡・掘立柱建物跡・土坑・溝
S=1/30・・・竪穴住居跡カマド
【遺物】 S=1/4・・・土器類・板碑・磁石・磨石
S=1/2・・・ミニチュア土器・石製紡錘車・石製模造品・基石・銭貨
S=1/6・・・穀物白・茶臼
5. 本書で使用した地図は、第 1・31 図：高崎市発行 S=1/2500 都市計画基本図、第 2～5 図：国土地理院発行 S=1/25,000 地形図「前編」・「高崎」である。
6. 発掘作業での土色観察、整理等作業での遺物色調観察では、農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修『新版標準色色帖 (1998 年版)』を参考とした。
7. 本書で使用したテフラ名称は以下の通りである。
As-A (浅間 A 軽石：1783 年) As-B (浅間 B 軽石：1108 年) As-C (浅間 C 軽石：3C 後半)
8. 本書の遺物実測図 (土器類) で使用したトーンなどは以下の通りである。
土師器・ロクロ使用酸化焙焼成土器 = 断面白抜き 
須恵器 = 断面黒塗り  灰・緑釉陶器 = 断面トーン  ・施釉陶器トーン 
付着物など = 黒塗り表現 赤彩・黒色処理 = トーン 

目次

例言・凡例

目次

| | |
|-------------------|----|
| I. 調査に至る経緯 | 1 |
| II. 調査の方法と経過 | 2 |
| III. 遺跡の地理的・歴史的環境 | 2 |
| IV. 調査した遺跡の概要 | 10 |
| V. 調査した遺構 | 15 |
| (1) 竪穴住居跡 | 15 |

| | |
|------------|----|
| (2) 竪立柱建物跡 | 18 |
| (3) 土坑 | 24 |
| (4) 溝 | 32 |
| (5) ビット | 35 |
| VI. 出土した遺物 | 40 |
| VII. まとめ | 50 |
| 写真図版 | |
| 報告書抄録・奥付 | |

挿図目次

| | |
|---|--|
| 第1図 調査区位置図 | |
| 第2図 周辺の遺跡(縄文・弥生時代) | |
| 第3図 周辺の遺跡(古墳時代) | |
| 第4図 周辺の遺跡(奈良・平安時代) | |
| 第5図 周辺の遺跡(中世・戦前) | |
| 第6図 基本土層柱状図 | |
| 第7図 全体図 | |
| 第8図 分断面(表側) | |
| 第9図 分断面(中央) | |
| 第10図 分断面(西側) | |
| 第11図 SI-1・2・3・4平面・断面図 | |
| 第12図 SI-1・2・3・4平面・断面図 SI-1 カマド平面・断面図 | |
| 第13図 SB-1平面・断面図 | |
| 第14図 SB-2・3・4・5平面・断面図 | |
| 第15図 SB-6・7・8平面・断面図 | |
| 第16図 SB-9・10平面・断面図 | |
| 第17図 SK-1~9・13・14平面・断面図 | |
| 第18図 SK-10~12・15~23・25・95平面・断面図 | |
| 第19図 SK-24・26~33・37・38・40~42平面・断面図 | |
| 第20図 SK-44~50・52~59・61・63・64平面・断面図 | |
| 第21図 SK-62・66・67・70・72・74~77・80・82~86・88・89平面・断面図 | |
| 第22図 SK-87・90~94・96~101平面・断面図 | |
| 第23図 SD-1・2・3平面・断面図 | |
| 第24図 SD-4・5・6・7平面・断面図 | |
| 第25図 出土遺物(1) | |
| 第26図 出土遺物(2) | |
| 第27図 出土遺物(3) | |
| 第28図 出土遺物(4) | |
| 第29図 出土遺物(5) | |
| 第30図 出土遺物(6) | |
| 第31図 調査区の周辺図 | |
| 第32図 中大類金井分遺跡全体図 | |
| 第33図 高麗屋敷 | |

表目次

| |
|-----------------|
| 第1表 周辺の遺跡一覧表(1) |
| 第2表 周辺の遺跡一覧表(2) |
| 第3表 周辺の遺跡一覧表(3) |
| 第4表 竪立柱建物跡穴一覧表 |
| 第5表 土坑一覧表(1) |
| 第6表 土坑一覧表(2) |
| 第7表 ビット一覧表(1) |
| 第8表 ビット一覧表(2) |
| 第9表 ビット一覧表(3) |
| 第10表 ビット一覧表(4) |
| 第11表 ビット一覧表(5) |
| 第12表 遺物観察表(1) |
| 第13表 遺物観察表(2) |
| 第14表 遺物観察表(3) |

写真図版目次

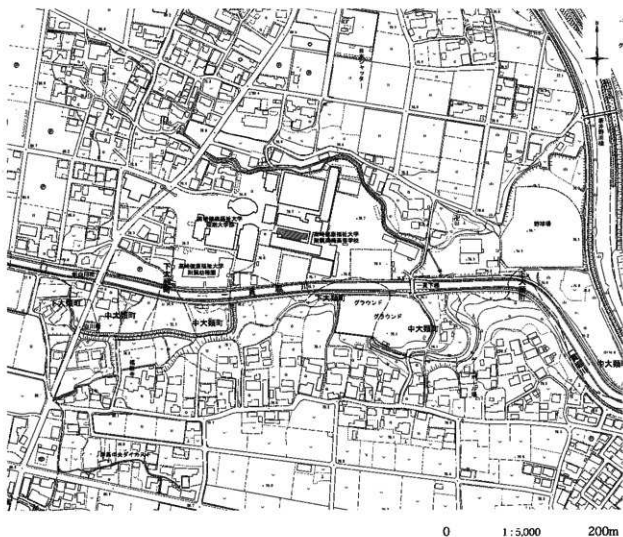
| | |
|-------|--|
| 写真図版1 | 調査区全景(上が北) 調査区透視(西から) 調査区透視(南から) 調査区透視(南西から) 遺構確認状況(西から) |
| 写真図版2 | SI-1全景(西から) SI-1カマド全景(西から) SI-2周辺全景(西から) SI-3・4周辺全景(西から) SI-1~4周辺全景(上が北) SB-3周辺全景(西から) SB-9周辺全景(南から) SK-13周辺(南から) SK-18全景(南から) |
| 写真図版3 | SK-18遺物出土状況(南から) SK-31遺物出土状況(南から) SK-44・45調査状況(南から) SK-62遺物出土状況(南から) SK-63・64全景(南から) SK-63・64周辺(左が北) 作業状況(西から) |
| 写真図版4 | SK-86全貌(南から) SK-86土層断面(南から) SK-99全景(南から) SK-99土層断面(南から) SD-1全貌(南から) SD-1土層断面(南から) SD-2・3周辺(南東から) SD-4遺物出土状況(南から) |
| 写真図版5 | SD-5周辺(南から) SD-6周辺(南から) 作業状況(南東から) 調査終了時の状況(南東から) |
| 写真図版6 | 出土遺物(1) |
| 写真図版7 | 出土遺物(2) |
| | 出土遺物(3) |

I. 調査に至る経緯

平成22年10月、学校法人高崎健康福祉大学（以下事業者）より高崎市教育委員会（以下市教委）に附属高校の校舎建替え予定地内の埋蔵文化財の状況について照会があった。市教委は、該当地が西側隣接地において過年度に別の校舎建設に伴い古墳～平安時代の集落遺跡が調査されており、周辺地域にも拡がる可能性が大きいため、試掘調査による確認を行うことと、その結果による工事と埋蔵文化財保護との調整が必要な旨を回答した。同年2月4日付けで事業者より試掘調査申込書が提出されたのを受けて、市教委は同年2月11日に工事予定地の試掘調査を実施し、平安時代の竪穴住居址と推定される遺構や中世の溝・土坑等の遺構を確認した。

試掘結果を受けて埋蔵文化財保護について事業者と協議を行ったが、建設予定の変更は不可能ということなので、校舎建設部分の遺構が分布する範囲の記録保存の発掘調査を実施することで合意した。

発掘調査は、市教委の作成する調査仕様書に基づく指導・監理の下、株式会社測研に委託して実施することとなり、平成23年3月14日付けで高崎市長・事業者・測研の三者協定を締結し、さらに協定に基づき平成23年3月14日付けで事業者と測研の二者で発掘調査委託契約が締結された。



第1図 調査区位置図

II. 調査の方法と経過

調査の方法 本発掘調査は校舎建設に伴い実施された。調査面積は約445㎡である。調査区の北側隣接地では、既存建物の解体工事が行われていたため、発掘作業では全員が保護帽を着用し、安全面には最大限の配慮を払った。遺構確認は試掘調査の成果を基に、基本土層Ⅲ層(第6図)の掘削まで重機を使用し、Ⅳ層上面まで人力で削り、その確認を行った。その際の出土遺物は、調査区の西側張り出し部をA区、東側張り出し部をE区、中央部を3等分してB～D区とし、中央のC区はさらに南北で1・2と細分し表または確認面各區で取り上げた。これらA～E区の区割りは任意の設定であり、国家座標に基づくグリッドとは一致していない。

遺構の調査は、形態・大きさを考慮して適宜土層観察用のベルトを設定し、堆積土や出土遺物に留意して行った。ピットは番号を付し、土色の確認後に先掘した。遺物の取り上げは、遺構に伴うと判断したもの及び遺存状況の良いものは平面図作成または座標値を記録し、それ以外の遺物は出土層位に留意して取り上げた。遺構覆土は極端に締まりが強く、旧土地造成時の填圧に起因すると思われる。そして乾燥により固さが顕著になるため、動力噴霧器による散水を行ったが、移植ゴテでの掘削ができない場合は手鋤やスコップを使用した。

当初に確認した遺構は多量のため、掘り残しが危惧された。そのため、空掘前清掃作業時に再確認した遺構は、空掘後に掘り下げた。よって本書掲載の空中写真は、調査した全遺構が写っていないことを明記する。また、それでも調査終了時にはピットの掘り残しが判明し、これらは遺憾ながら、平面略位置の記録に留まった。

遺構実測は平面・断面図ともにデジタル測量を行った。写真撮影は、35mm一眼レフカメラでモノクローム・カラーリバーサルフィルムを使用し、同一カットを3枚1単位で撮影した。さらにデジタルカメラでの撮影も行った。**調査の経過(調査日誌抄)** 3月28・29日表土掘削。30日遺構検出開始。31日遺構検出・精査。市教委田口氏・滝沢氏来跡。4月4日調査区中央部遺構精査。6日市教委田口氏・清水氏来跡。13日ピット調査開始。26日調査区内清掃・空中写真撮影実施。遺構調査継続。28日田口氏による終了確認。器材撤収。

III. 遺跡の地理的・歴史的環境

地理的環境 本遺跡は高崎市中大類町に所在する。高崎市役所の東方5kmの位置で、南側には国道354号線が東西に、西側には県道元島名倉野線が南北に開通している。北側には井野川が南東方向へと流下し、本遺跡の位置はこれら交通幹線と河川に囲まれた範囲にある。井野川は地域の基幹となる中規模河川である。榛名山麓から複数の小河川をあわせて流れ、やがては烏川へと注ぐ。烏川との合流点付近では「井野川低地帯」が形成され、周辺の台地とは急崖で境界されている。綿貫町付近で明瞭な崖線は、上流側へと進行するにつれ不明瞭になっていくが、柴崎町や矢島町あたりまでは、その境界を認めることができるようである。

本遺跡は井野川右岸の微高地上にあり、低地帯と台地との境界が不明瞭な部分にあたる。標高78.5m前後で、周囲は宅地と学校施設である。付近一帯は水田が多く、本遺跡南隣に灌漑水路の一貫堀川(白川)が流れる。北方約400mには一貫堀放水路(開堀川)が流れ、ここからの分水らしき小流路が、本遺跡北隣を東へ流れる。

歴史的環境 高崎市中大類町は、昭和31年に旧高崎市に合併するまで、群馬郡大類村に属していた。大類村は明治22年の町村制施行により、上大類・中大類・下大類・宿大類・南大類・柴崎の6ヵ村で成立した純農村であり、米麦の二毛作や養蚕が主産業であった。今に至り、平成の市町村合併を経て、高崎市域は大きく拡大した。現在、大類地域の位置は市域の南東部にあたる。一帯では圃場整備事業や交通幹線網の整備、その他の開発に先立つ発掘調査により、多くの遺跡の存在が判明した。そしてその濃密な分布のみならず、遺跡の調査成果も多岐にわたる。本地域周辺は市内における考古学的重要地域のひとつと言え、調査成果を記した報告書が多く刊行されている。柴崎熊野前遺跡(35)や下大類・中道下遺跡(9)などの報告書では、周辺の歴史的環境が詳述されており、ここではそうした調査成果に依拠し、本遺跡周辺における各時代の遺跡を概観する。

旧石器時代は市内での調査事例がない。単発的な遺物出土のみであり、本遺跡の至近で出土例はない。

縄文時代では、高崎情報団地Ⅱ遺跡(7)・元島名瓦井遺跡(43)で草創期の石器が出土したが、遺構には伴わない。

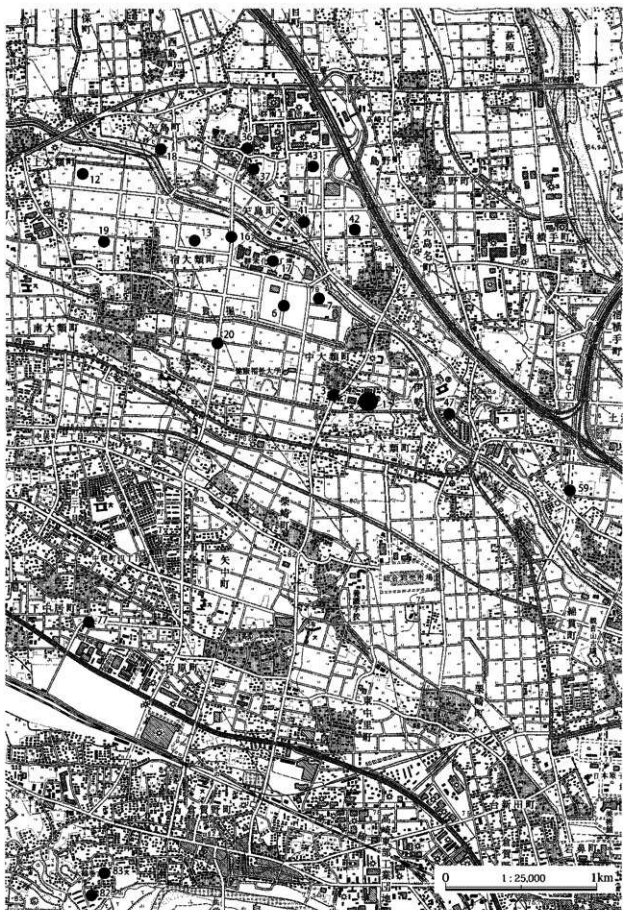
早期の遺跡は未発見で、前期では山鳥・天神遺跡(13)で遺物包含層が、宿大類町村西遺跡(19)で竪穴住居状遺構が調査された。中期では高崎情報団地Ⅱ遺跡で集落が調査された。後期では万相寺遺跡(17)で集落が調査され、柄鏡型敷石住居跡も発見された。さらに元島名遺跡(42)では土坑の調査事例がある。晩期の調査事例はない。縄文時代の遺跡は井野川流域に集中するが、遺物出土のみの遺跡が多く、遺構の調査事例は少ない。一方、本遺跡の南西、烏川左岸では、倉賀野万福寺遺跡(82)などで中期集落が調査されている。

弥生時代の遺跡も井野川流域に集中する。前期の遺跡はなく、高崎情報団地遺跡(6)出土の土器片が、前期末～中期初頭の時期とされる。中期の遺跡も少なく、矢鳥竹之内遺跡(36)の集落が中期末～後期初頭である。後期になると遺跡数は増加し、高崎情報団地遺跡・同Ⅱ遺跡・万相寺遺跡・宿大類町村西遺跡・鈴ノ宮遺跡(41)などで集落がある。墓域は後期周溝墓の調査事例があり、高崎情報団地遺跡・鈴ノ宮遺跡・元島名遺跡などが挙げられる。生産遺跡の様相は不明瞭であるが、下中居条里遺跡(77)ではAs-C下水田が存在するようである。

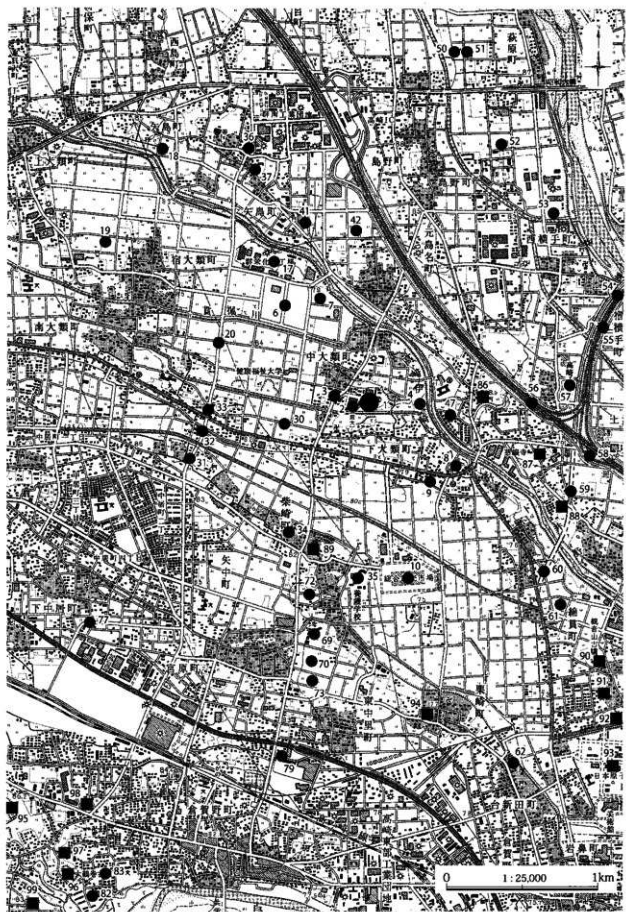
古墳時代前期では井野川左岸に元島名将塚古墳(86)が築造される。群馬県内でも初現期の前方後方墳である。柴崎蟹沢古墳(89)は前期後半頃の小型古墳と考えられており、□(正)始元年銘三角縁神獸鏡が出土したことで知られる。この時期の集落は、高崎情報団地遺跡・鈴ノ宮遺跡・上流遺跡(56)・下滝天水遺跡(59)・綿貫小林前遺跡(60)などで発掘調査されている。井野川流域に集落展開があるが、烏川流域の倉賀野万福寺遺跡や下中居条里遺跡でもその形成を確認できる。また、古墳以外の墓域では周溝墓の存在が挙げられ、高崎情報団地遺跡・鈴ノ宮遺跡・下滝天水遺跡・矢中村東遺跡(69)などがある。中でも鈴ノ宮遺跡の前方後方型周溝墓の存在は、注目される。中期になると烏川左岸に浅間山古墳(95)や大鶴巻古墳(96)といった大型前方後円墳が築造され、続いて小鶴巻古墳(97)も築造される。井野川流域では普賢寺裏古墳(91)・不動山古墳(92)・岩島二丁古墳(93)といった前方後円墳が相次いで築造される。集落では元島名下河原遺跡(47)、綿貫・台新田遺跡(62)、下中居条里遺跡などが調査された。後期では井野川左岸に100m級の前方後円墳、綿貫観音山古墳(90)があり、発掘調査によって石室内から豊富な副葬品が出土した。また、前山古墳(87)が前方後円墳であり、他では高崎情報団地遺跡で初期群集墳が形成される。この時期の集落数は多く、中大類金井遺跡(3)・下人形蟹沢遺跡(8)・矢鳥町村西・増城遺跡(18)・柴崎遺跡群Ⅴ(30)・鈴ノ宮遺跡・上流遺跡などがある。終末期の古墳では烏川左岸に安楽寺古墳(98)があり、横口式石椁を埋葬主体部とする円墳である。蔵石切組積石室墳の一種とされる。古墳時代の生産遺跡では水田跡があり、萩原地内の諸遺跡(50・51・52)・西横手遺跡群Ⅰ・Ⅱ(53)・上流五反畑遺跡(58)などで6世紀代のFA・FP関連の水田跡が調査されている。

奈良・平安時代では東山道駅路(156)の開通があり、「牛欄・矢ノ原ルート」と呼ばれる。上野国内では「国府ルート」に先立つ路線とされ、7世紀後半～8世紀末頃の機能が推定されている。発掘調査によって高崎情報団地遺跡・同Ⅱ遺跡で検出された。この時期の集落は多くないようであるが、上流遺跡・元島名下河原遺跡・綿貫・台新田遺跡などで確認できる。平安時代の集落は急増し、本遺跡の至近では中大類金井遺跡・中大類金井分遺跡(2)・中大類輪具遺跡(4)がある。他にも宿大類遺跡群(12・13・16など)・柴崎遺跡群(24・30・31など)・矢中遺跡群(66・67など)といった各地で確認できる。また、綿貫遺跡(61)の瓦葺寺院跡には注目できるし、柴崎遺跡群Ⅱ(27)でも布目瓦が多く出土した。さらに西浦・吹手西遺跡(31)の平安時代住居跡出土の「家」墨書土師器や、矢中村東遺跡(69)出土の「物部私印」の存在にも注目できよう。一方、生産遺跡ではAs-B下水田の調査例が非常に多い。中大類沖田遺跡(5)や南大類地内の諸遺跡(22・23・24)、柴崎遺跡群・宿大類遺跡群・矢中遺跡群などの他、各地で調査された遺跡は枚挙にいとまがなく、これらは築里制との関連も指摘されている。

中世になると各所に城郭や館・屋敷(以後、城館と呼ぶ)が構えられたが、多くは室町時代以降の築造と推定されている。大類地域周辺では多くの城館跡が分布するが、大半は現況地形から縄張りや復元したものである。発掘調査で発見される城館跡(11・107・110・123など)もあり、現況地形から推定された城館跡の一部が発掘された例(112・119・118・143など)も少なくない。下村北屋敷(71・136)や村北屋敷(14・122)などは、屋敷跡の良好な発掘調査事例である。本遺跡周辺では、大規模な城跡とされるものに元島名城(112)や大類城(119)などがある。これらは大類氏などの在地土豪層による普請であろう。また、本遺跡の東隣には現況地形から降屋敷(100)の存在が指摘され、室町時代に高井氏が居住したと推定されている。



第2図 周辺の遺跡(縄文・弥生時代)

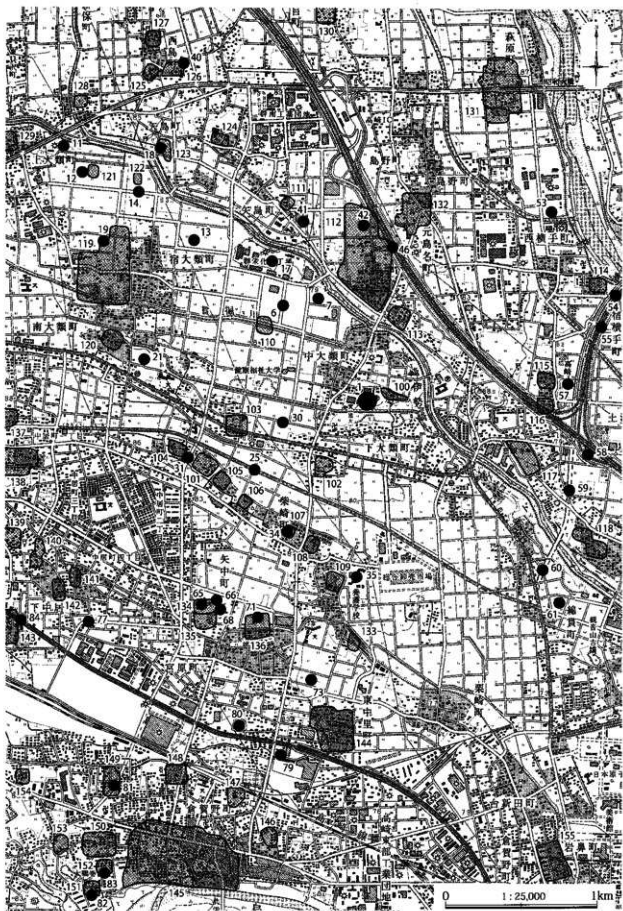


第3図 周辺の遺跡(古墳時代)

■ 主要古墳
 □ 主要古墳



第4図 周辺の遺跡(奈良・平安時代)



第5図 周辺の遺跡(中世・城跡)

第3表 周辺の遺跡一覧表(3)

| 遺跡名 | 遺跡の主な特徴・特長など | 主要文献 |
|---------------------|---|---|
| 135 定家・光中塚 | 16世紀の築造と推定。堀川殿敷と光中塚が併存。文中七層の遺構。 | 『新編南河内史』資料編3『新田高の中心部遺跡』 |
| 136 下北塚 | 16世紀の築造と推定される。下北塚として発掘調査が行われた。 | 『新編南河内史』資料編3『新田高の中心部遺跡』/文庫(71) |
| 137 北山殿敷 | 室町時代の築造と推定される。 | 『新編南河内史』資料編3『新田高の中心部遺跡』 |
| 138 宇左衛門殿敷 | 16世紀の築造と推定される。 | 『新編南河内史』資料編3『新田高の中心部遺跡』 |
| 139 下平塚 | 16世紀の築造と推定される。 | 『新編南河内史』資料編3『新田高の中心部遺跡』 |
| 140 高田殿敷(くぐり塚) | 堀川時代の築造と推定される。 | 『新編南河内史』資料編3『新田高の中心部遺跡』 |
| 141 下河原の遺跡 | 16世紀の築造と推定される。 | 『新編南河内史』資料編3『新田高の中心部遺跡』 |
| 142 下河原の塚 | 16世紀の築造と推定される。 | 『新編南河内史』資料編3『新田高の中心部遺跡』 |
| 143 細道下之塚 | 16世紀後半の築造と推定される。下之塚遺構などで 発掘調査された。 | 『新編南河内史』資料編3『新田高の中心部遺跡』/『日本建築体系』4巻/文庫(64) |
| 144 東中塚 | 16世紀の築造と推定される。 | 『新編南河内史』資料編3『新田高の中心部遺跡』 |
| 145 西野塚 | 堀川時代の築造と推定される。 | 『新編南河内史』資料編3『新田高の中心部遺跡』/『日本建築体系』4巻 |
| 146 西野塚東屋 | 16世紀の築造と推定される。丘陵や山並みの植生を参照。 | 『新編南河内史』資料編3『新田高の中心部遺跡』 |
| 147 機軸寺 | 堀川時代の築造と推定される。堀川寺境内であるが、かつては西野塚域の外郭として機能したと推定されている。 | 『新編南河内史』資料編3 |
| 148 赤松寺の塔 | 16世紀の築造と推定される。製糸寺境内内。 | 『新編南河内史』資料編3『新田高の中心部遺跡』 |
| 149 上河原館敷 | 室町時代の築造と推定される。西野塚域跡として 堀の埋没調査された。 | 『新編南河内史』資料編3『新田高の中心部遺跡』/文庫(81) |
| 150 西野塚東屋 | 堀川時代の築造と推定される。 | 『新編南河内史』資料編3『新田高の中心部遺跡』 |
| 151 方角寺跡 | 西野塚域跡として一部発掘調査された。 | 『新編南河内史』資料編3『新田高の中心部遺跡』/文庫(82) |
| 152 田中館敷 | 西野塚域跡として一部発掘調査された。室町時代の築造と推定。 | 『新編南河内史』資料編3/文庫(83) |
| 153 長久寺館敷 | 室町時代の築造と推定される。 | 『新編南河内史』資料編3『新田高の中心部遺跡』 |
| 154 西野塚前庭 | 堀川時代の築造と推定される。 | 『新編南河内史』資料編3 |
| 155 西野の池(古井跡) | 江戸時代の築造であるが、16世紀の築の比定地のひとつ。 | 『新編南河内史』資料編3『新田高の中心部遺跡』/『日本建築体系』4巻 |
| 156 堀川遺跡(牛堀・丸ノ堀ガード) | 同前掲。堀川前期。7世紀後半～8世紀末まで推定。 | 文庫(86)・(87) |

(凡例) ●主な参考文献の「中巻」は高野印書堂発行。市販。以上高野遺跡研究会・保存室。『新編南河内史』は高野発行で、資料編1(原典古史)が1999年に刊行、資料編3(中巻1)が1999年に発行された。『新編南河内史』資料編3(原典古史・古史)は、慶應から1981年に発行された。『新田高の中心部遺跡』は、新田高町文化協会から1998年に発行された。『日本建築体系』第4巻(築造・継承・崩壊)は、彰文社発行から1979年に発行された。『新田高の中心部遺跡』中巻には、基本に於ては上巻参考文献が参照されたが、ここに挙げない文献を参考にした箇所もある。また、築造地の名称、築造時期などは『新編南河内史』資料編3に依った。●堀川遺跡跡(中巻)の築造時期・築造地、基本に『新編南河内史』資料編3の図に準拠したが、本報では図面に表示した。また、発掘調査がなされた跡地の場合、その堀川と遺跡の併存を示すドットが強調することがあるが、このドットは、堀川に対しての埋没調査結果を示すものでないことに注意された。

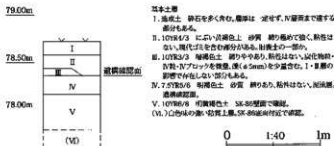
IV. 調査した遺跡の概要

今回の発掘調査面積は、調査対象地のうち約445㎡であり、調査区域はおよそ東西に長い長方形形状を呈する。井野川右岸の微高地上に位置し、標高は78.5m前後である。基本土層柱状図に示したように、遺構確認面はIV層上面とした。

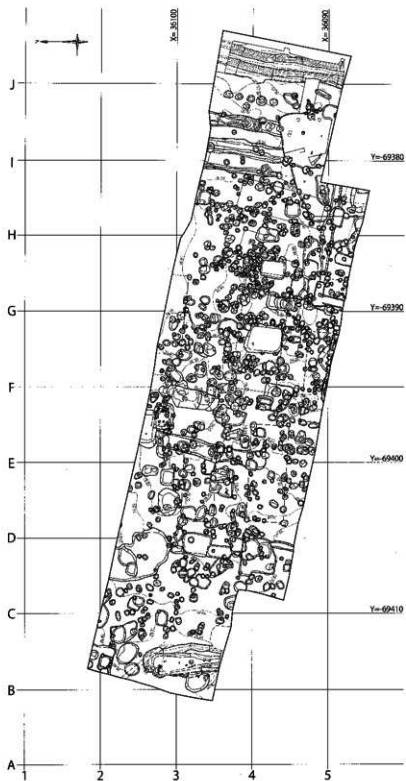
本遺跡で検出した遺構は、竪穴住居跡4軒・溝7条・土坑101基・ピット712基である。土坑・ピットの数は遺構番号を設定したものであり、番号未付を含めれば、総数はそれ以上になる。また、「土坑」「ピット」の名称は統一基準をもって区分しておらず、「土坑」と名付けた方が妥当な「ピット」もあるし、逆もまたしかりである。いずれにせよ、ピットの性格としてはほとんどが柱穴であったと考えられ、その中から、平面的配列によって掘立柱建物を10棟抽出した。

調査した遺跡は中世屋敷跡であったと考えられ、出土遺物により16世紀頃の機能を推定する。多数のピットを検出した部分を内部としてとらえ、SD-1を区画する堀と判断している。一方で、それ以前の奈良・平安時代には集落が存在していたとみられ、調査した竪穴住居跡はこの時代の帰属である。他には土坑も存在した。古墳時代の遺構は明瞭ではないが、少数の土坑はこの時代であろう。遺物は前～後期までのものが出土している。ここで注意したいのは、中世屋敷の築造によって古代の遺構が壊されている可能性であり、調査区内からの出土遺物の主体が、古墳時代以降の土器小破片であることを考慮すれば、その可能性は高いと考えられる。

このことをふまえて、ピット群中に古墳時代以降の竪穴住居跡の柱穴、貯蔵穴が含まれていることを想定したが、典型的な配置状態は見出すことができなかった。また、縄文・弥生時代の遺物がそれぞれ少数出土しているものの、いずれも流れ込みと判断できる。当該期の遺構は検出されていない。



第6図 基本土層柱状図



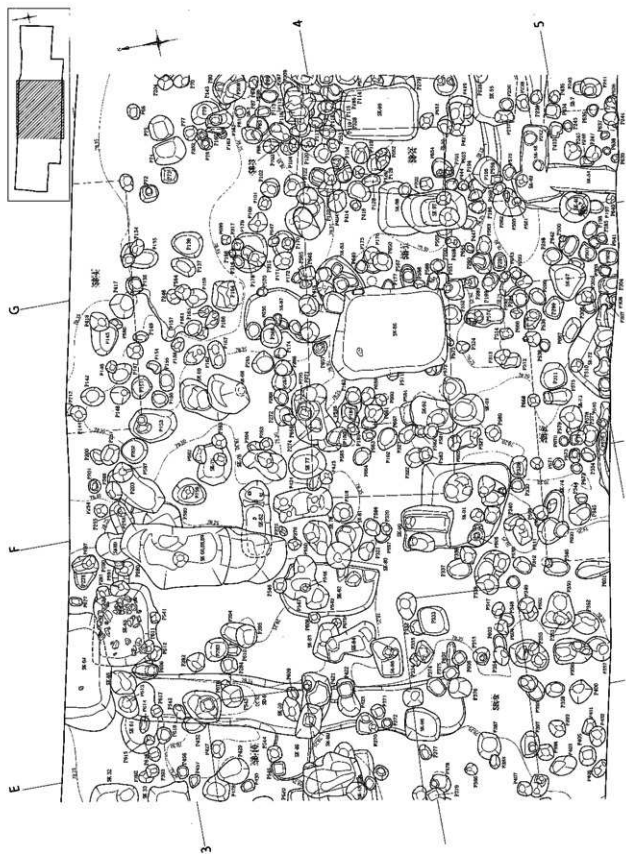
○はプラン層部のみのピット、以下、全ての断面に共通する。

0 1:250 5m

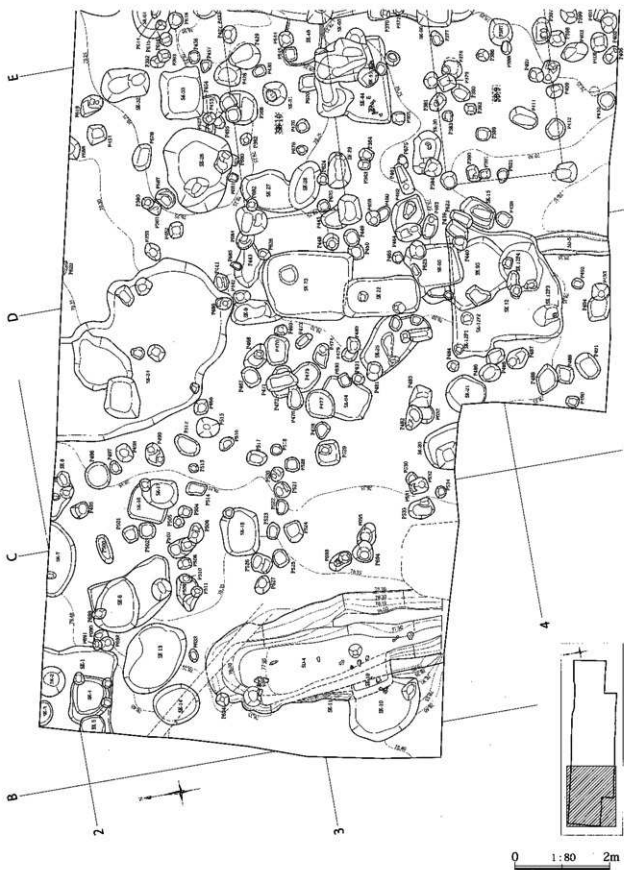
第7図 全体図



第8图 分割图(东侧)



第9图 分割图(中央)



第10图 分割图(西制)

V. 調査した遺構

(1) 竪穴住居跡

竪穴住居跡は4軒を検出した。全て奈良・平安時代に属すると判断している。ただし、SI-3・4では出土遺物の帰属が不明瞭である。複数のピットが重複状態にあるが、新旧関係はほとんど確認できなかった。また、掘り方の残痕とも思える遺構確認面のわずかなくぼみが複数箇所あり、意識的な調査を行ったが、判断することができなかった。さらに、検出した十坑・ピット群中には竪穴住居に関わるものが存在する可能性があり、整理段階で検討したものの、典型的な配置状況として抽出できておらず、明確にしたい。

SI-1 (第16・17図)

位置 調査区東、I4・I5グリッド主体 重複関係 SI-2より古い。平面形態 歪む長方形 主軸方位 N-82°-E 規模 東西3.7m・南北4m以上・深さ11～16cm程 床面 弱い起伏があり硬化する。柱穴 検出したピットが本遺構に伴うかは不明。周溝 北壁際の土層断面で周溝状の落ち込みを確認したが(セクションCライン)、平面的には不明瞭。カマド 東壁に付設される。火床の被熱痕跡は確認できず、灰の堆積も認められない。焚口部の両脇に浅いくぼみがあり、袖石の抜き取り痕の可能性もある。貯蔵穴 カマドの南隣で検出した。東壁部分が少し張り出す。掘り方 土層断面にて部分的に床面下の覆土を確認した。掘り方に相当すると考えるが、底面の地山まで掘り下げていないため、詳細は不明。出土遺物 土師器環・壺、須恵器環・蓋・壺などが出土した。所見 SI-2より古い住居跡だが、床面深度はそれより深い。出土遺物により、8世紀代の時期を推定する。

SI-2 (第16・17図)

位置 調査区東、H4グリッド 重複関係 SI-1より新しく、SK-47・50・SD-7より古い。平面形態 長方形 主軸方位 N-72°-E 規模 東西4m以上・南北3m以上・深さ3～7cm程 床面 弱い起伏があり硬化する。柱穴 検出したピットが本遺構に伴うかは不明。周溝 なし カマド 南側調査区外に存在すると考えられる。貯蔵穴 不明 掘り方 全体的な掘り下げは行っていない。SI-1底面で検出した落ち込みが、本遺構の掘り方に関わるものと考えた。床下土坑か。出土遺物 土師器環、須恵器環・埴・高台付皿・甕などが出土した。所見 南側が調査以外のため、全形は不明。土層の切り合い関係と出土遺物の様相から、SI-1より新しい遺構であるが、東壁部分の平面的な記録はできなかった。本来的な東壁付近において、比較的大きい焼土ブロックを確認したが、これはカマドに関わるものではなかった。出土遺物により、9世紀後半の時期を推定する。

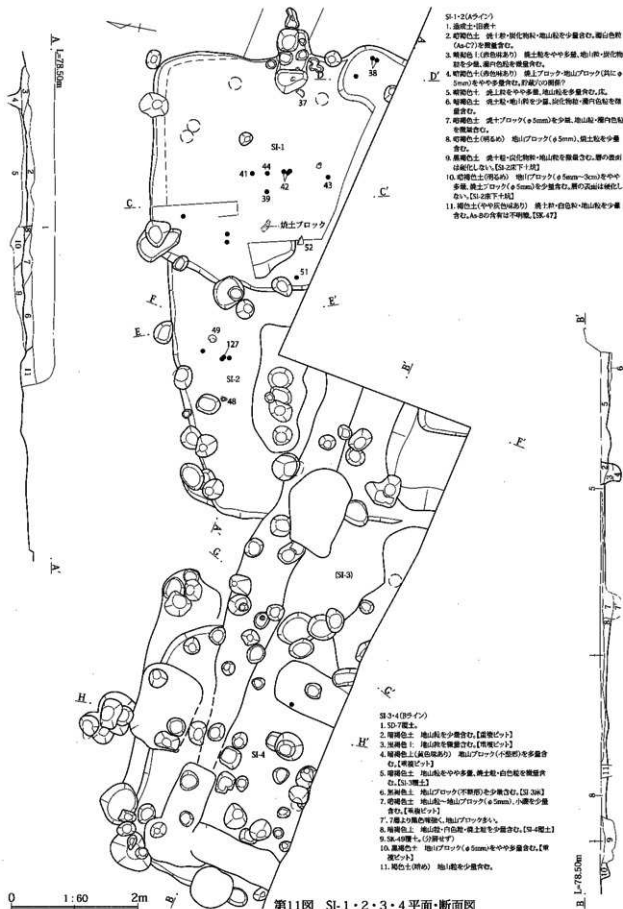
SI-3 (第16・17図)

位置 調査区東、G5・H5グリッド 重複関係 SK-50・52・57・58・SD-7より古い。平面形態 不明 主軸方位 不明 規模 不明 床面 比較的平坦で硬化はやや強い。柱穴 検出したピットが本遺構に伴うかは不明。周溝 不明 カマド 不明 貯蔵穴 不明 掘り方 土層断面の観察により、調査区南東隅の落ち込みを、SI-3の住居内土坑と判断した。掘り方自体は無い。出土遺物 小破片の出土で、重複遺構出土遺物との区別に難がある。本遺構に伴うと考えたものに、土師器甕、須恵器埴、ロクロ使用酸化焰焼成の環・埴などがある。

所見 床面だけの検出であり、平面形態などは全て不明である。SI-2・4との新旧関係も明確ではないが、土層断面の状況からSI-2より新しいとみられる。出土遺物により、10世紀後半～11世紀代の時期を推定する。

SI-4 (第16・17図)

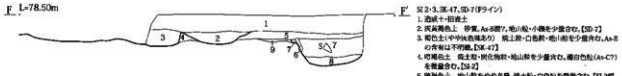
位置 調査区東、G4・G5グリッド 重複関係 SK-48・49・52・54・55・56・58・SD-7より古い。平面形態 長方形 主軸方位 N-92°-E 規模 東西4m・南北2.9m以上・深さ3～8cm程 床面 弱い起伏があり硬化はやや強い。柱穴 検出したピットが本遺構に伴うかは不明。土層断面では本遺構に伴うピットも確認できる。周溝 不明 カマド 不明 貯蔵穴 不明 掘り方 なし 出土遺物 小破片の出土で、重複遺構出土遺物との区別に難がある。「SI-4周辺」として取り上げた遺物も含め、土師器甕、羽釜、ロクロ使用酸化焰焼成の埴などが出土した。所見 SI-3との新旧関係は不明。出土遺物により、10世紀後半～11世紀代の時期を推定する。





- SI-1(Cライン)
1. 暗褐色土 黄土層一帯ナブロック(φ5mm)を多数含む。【黄緑ブロック?】
 2. 可塑性土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。黄白色粒(A-C7)を散在含む。
 3. 腐植色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。【黄緑?】
 4. 褐色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。【黄緑?】
 5. 黄褐色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。【黄緑?】

- SI-2(Dライン)
1. 黄褐色土 黄土層一帯ナブロック(φ5mm)を多数含む。【黄緑ブロック?】
 2. 可塑性土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。黄白色粒(A-C7)を散在含む。
 3. 腐植色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。黄白色粒(A-C7)を散在含む。【黄緑?】
 4. 暗褐色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。黄白色粒(A-C7)を散在含む。【黄緑?】
 5. 腐植色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。黄白色粒(A-C7)を散在含む。【黄緑?】
 6. 腐植色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。黄白色粒(A-C7)を散在含む。【黄緑?】
 7. 腐植色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。黄白色粒(A-C7)を散在含む。【黄緑?】
 8. 腐植色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。黄白色粒(A-C7)を散在含む。【黄緑?】



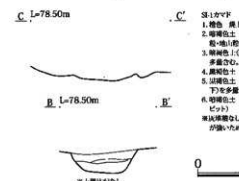
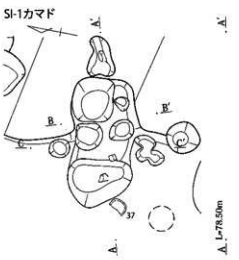
- SI-3(Fライン)
1. 暗褐色土 黄土層一帯ナブロック(φ5mm)を多数含む。【黄緑ブロック?】
 2. 可塑性土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。黄白色粒(A-C7)を散在含む。【黄緑?】
 3. 腐植色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。黄白色粒(A-C7)を散在含む。【黄緑?】
 4. 暗褐色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。黄白色粒(A-C7)を散在含む。【黄緑?】
 5. 腐植色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。黄白色粒(A-C7)を散在含む。【黄緑?】
 6. 腐植色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。黄白色粒(A-C7)を散在含む。【黄緑?】
 7. 腐植色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。黄白色粒(A-C7)を散在含む。【黄緑?】
 8. 腐植色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。黄白色粒(A-C7)を散在含む。【黄緑?】



- SI-4(Hライン)
1. SD7腐土
 2. 腐植色土 黄土層一帯ナブロック(φ5mm)を少量含む。
 3. 腐植色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。
 4. 暗褐色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。【黄緑?】
 5. 腐植色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。【黄緑?】
 6. 腐植色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。【黄緑?】
 7. 腐植色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。【黄緑?】
 8. 腐植色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。【黄緑?】
 9. 腐植色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。【黄緑?】
 10. 腐植色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。【黄緑?】
 11. 腐植色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。【黄緑?】



- SI-4(Iライン)
1. SD7腐土
 2. 腐植色土(灰色) 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。【黄緑?】
 3. 腐植色土(灰色) 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。【黄緑?】
 4. 腐植色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。【黄緑?】
 5. 腐植色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。【黄緑?】
 6. 腐植色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。【黄緑?】
 7. 腐植色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。【黄緑?】
 8. 腐植色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。【黄緑?】



- SI-1(カマド)
1. 褐色 黄土層一帯
 2. 腐植色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。【黄緑?】
 3. 腐植色土(褐色) 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。【黄緑?】
 4. 腐植色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。【黄緑?】
 5. 腐植色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。【黄緑?】
 6. 腐植色土 黄土層一帯(中層)に粘土を少量含む。【黄緑?】
- ※北層は記入し。換熱成層なし。層の厚さは黄土層が厚い。下の層は、4-5層は黄土層の方向を示す。

第12図 SI-1・2・3・4平面・断面図 SI-1カマド平面・断面図

(2) 掘立柱建物跡

調査では多数のピットが検出され、掘立柱建物跡の存在が予測されたが、発掘現場では認識できなかった。よって、本書で提示する掘立柱建物跡は、全て整理作業時における認定である。検出したピット群から建物を構成するピットを抽出するにあたり、基本的には平面的配列から判断した。その際、柱筋の通りの良さを主眼としたが、他遺跡での報告例にあるように、柱筋の不揃いな建物を想定すれば、未だ多くの建物跡を抽出できていない可能性が高い。あるいは竪穴、柱穴が存在した可能性もある。そうした意味で、今回報告する掘立柱建物跡には再検討の余地が多く、現段階では一案の提示に留まる。

掲載した掘立柱建物跡は10棟で、柱穴列から想定したものが3棟含まれる。梁間1間で東西棟の長方形建物跡が多く、主軸方位は比較的揃う。これらの柱穴は他遺構と重複することが多いが、新旧関係の把握はほとんどできなかった。各柱穴の深度・出土遺物などは、第4表にまとめた。

SB-1 (第13図)

位置 調査区中央、F3・F4・G4グリッド主体 重複関係 SB-2・3・他遺構 平面形態 長方形 主軸方位 N-98°-E 規模 梁行3.0m・桁行7.9m 面積 23.7㎡ 所見 1間×4間の東西棟建物である。桁行の柱間は1.6m～2.2mとバラつき、平均すると約1.9mになる。今回報告する建物の中では最も規模が大きい。P3からカワラケ破片が出土した。

SB-2 (第14図)

位置 調査区中央東寄り、G3・G4グリッド 重複関係 SB-1・3・他遺構 平面形態 長方形 主軸方位 N-14°-E 規模 梁行2.5m・桁行3.1m 面積 約6.2㎡ 所見 1間×2間の南北棟建物である。桁行の柱間は1.35m～1.75mで、平均すると1.5mになる。P-4・5・6の柱間がバラつきが、P-1・2・3の柱間はともに1.55mである。

SB-3 (第14図)

位置 調査区中央東寄り、G3・G4グリッド 重複関係 SB-1・2・他遺構 平面形態 長方形 主軸方位 N-107°-E 規模 梁行1.4～1.5m・桁行2.9～3.0m 面積 約4.5㎡ 所見 1間×2間の東西棟建物である。梁間は約1.5mで、桁行の柱間は1.4～1.6m、平均すると約1.5mになる。今回報告する建物の中では最も規模が小さい。建物内東半部の遺構確認面では焼土分布が認められた。これは1号焼土として記録したもののだが、地山の被熱痕跡である。掘り込みは伴わず、周辺に炭化物などは確認できない。SB-3との直接的な関係は不明であるが、全体的にはバランスの良い位置にあるように見え、SB-3の機能に関わる可能性がある。

SB-4 (第14図)

位置 調査区中央北、F2・F3・G2・G3グリッド 重複関係 他遺構 平面形態 長方形か 主軸方位 N-96°-E 規模 梁行1.6m以上・桁行5.2m 面積 8.3㎡以上 所見 北側調査区外へと展開する東西棟建物を想定したが、柱穴列だけの可能性もある。桁行は3間で、間は1.65m～1.8mで、平均すると1.7mになる。

SB-5 (第14図)

位置 調査区南東、G4・G5・H4・H5グリッド 重複関係 SB-6・SB-7・他遺構 平面形態 長方形か 主軸方位 N-0°-E 規模 梁行1.6m・桁行3.5m以上 面積 5.6㎡以上 所見 南側調査区外へと展開する南北棟建物を想定した。4本柱の建物の可能性もあろうか。桁行の柱間は2.4mを測る。

SB-6 (第15図)

位置 調査区東、H3・H4・H5グリッド 重複関係 SB-5・他遺構 平面形態 長方形 主軸方位 N-16°-E 規模 梁行1.9m～2.1m・桁行5.5m～5.7m 面積 約11㎡ 所見 1間×3間の南北棟建物である。桁行の柱間は1.8m～1.9mとほぼ等間である。

SB-7 (第15図)

位置 調査区南東、G5・H5グリッド 重複関係 SB-5・他遺構 平面形態 長方形か 主軸方位 N-97°-E

規模 梁行2.0m以上・桁行5.7m 面積 11.4㎡以上 所見 南側調査区外へと展開する東西棟建物を想定したが、柱穴だけの可能性もある。桁行は3間で、柱間は1.7m～1.9mである。P1・P2間がわずかに広い。

SB-8 (第15図)

位置 調査区中央南、E4・F4・F5グリッド 重複関係 他遺構 平面形態 長方形 主軸方位 N-95°-E

規模 梁行2.0m以上・桁行6.0m 面積 12㎡以上 所見 南側調査区外へと展開する東西棟建物を想定したが、柱穴だけの可能性もある。桁行は5間で、柱間は1.0m～1.4mとバラつきがある。平均すると1.2mになる。

SB-9 (第16図)

位置 調査区中央南西、D4・E4グリッド主体 重複関係 他遺構 平面形態 長方形 主軸方位 N-93°-E

規模 梁行2.4m・桁行3.5m 面積 約15.6㎡ 所見 1間×3間の南北棟建物である。桁行の柱間は2.0m～2.3mで、平均すると約2.1mになる。

SB-10 (第16図)

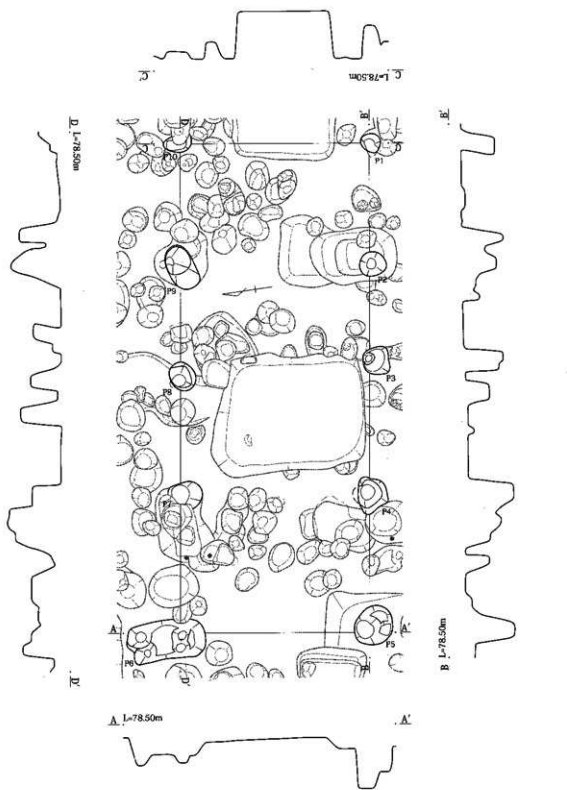
位置 調査区中央西、D3・E3グリッド 重複関係 他遺構 平面形態 長方形 主軸方位 N-93°-E 規模 梁行2.2m～2.4m・桁行5.0m 面積 約11.5㎡ 所見 1間×2間の南北棟建物である。桁行の柱間は2.3m～2.7mで、平均すると2.5mになる。各柱穴は同一個所で重複状態にあり、その結果平面規模が大きい。重複の新旧関係は掴めていないが、建て直しの可能性がある。調査時の所見により、P6は、SD-6よりも古い可能性はある。

また、P2からカワラケが出土し、5個体(No.110～114)に復元できた。これらは柱穴への一括埋納が考えられる。本来的には完形個体であったのだろうが、調査中に破片化したと思われる。この点については、具体的な出土状態も含めて、確認できていないことを明記しておく。なお、P2は調査段階ではSK-44の一部として記録していた。ゆえに出土したカワラケも「SK-44 覆土」として取り上げていたが、調査担当者の記憶により、P2部分から出土したことが特定できた。よってこれらのカワラケをSB-10・P2出土として報告した。また、同じく「SK-44 覆土」出土として陶器の小破片(No.119)があり、P2出土の可能性はあるのだが、こちらは特定できなかった。

第4表 掘立柱建物跡柱六一覧表

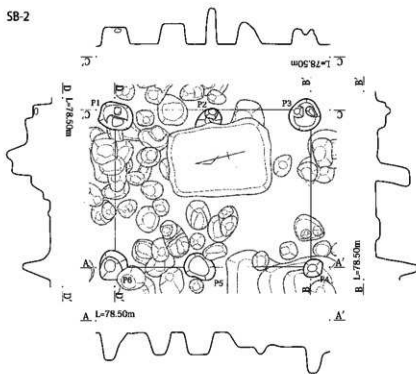
| 遺構 | 番号 | 位置 | 標高 | 面 | | | 出土遺物 | 記号等/備考 | 遺構 | 番号 | 位置 | 標高 | 面 | | | 出土遺物 | 打撃り/備考 |
|------|-----|----|----|------|------|------|------------|--------|------|----|----|------|------|------|---------|---------|--------|
| | | | | 北幅 | 南幅 | 長さ | | | | | | | 北幅 | 南幅 | 長さ | | |
| SB-1 | P1 | C4 | | 0.31 | 0.30 | 0.49 | | F-420 | SB-6 | P1 | H3 | B | 0.40 | 0.30 | 0.14 | 土師 | F-10 |
| | P2 | C4 | | 0.42 | 0.38 | 0.17 | 釘跡なし | | | P2 | H4 | A | 0.31 | 0.25 | 0.55 | 古土層・土師 | F-14 |
| | P3 | F4 | B | 0.44 | 0.40 | 0.59 | | F-288 | | P3 | H4 | B | 0.37 | 0.26 | 0.53 | 土師 | F-19 |
| | P4 | F4 | B | 0.60 | 0.47 | 0.89 | 土師・銅器 | F-326 | | P4 | H4 | B | 0.29 | 0.29 | 0.52 | 土師 | F-23 |
| | P5 | F4 | B | 0.66 | 0.27 | 0.77 | 土師 | F-278 | | P5 | H4 | B | 0.28 | 0.27 | 0.48 | 土師 | F-22 |
| | P6 | F3 | | 1.25 | 0.61 | 0.24 | 穴土師・土師・漆器 | SK78 | | P6 | H4 | B | 0.26 | 0.23 | 0.40 | 土師 | 旧跡なし |
| | P7 | F3 | B | 0.45 | 0.44 | 0.45 | | F-269 | | P7 | H3 | B | 0.30 | 0.26 | 0.35 | 土師 | F-41 |
| | P8 | F3 | A | 0.46 | 0.33 | 0.50 | | F-173 | | P8 | H3 | B | 0.33 | 0.22 | 0.23 | | F-47 |
| | P9 | C3 | B | 0.95 | 0.76 | 0.86 | 土師・漆器・カワラケ | SK51 | | P9 | H4 | B | 0.26 | 0.23 | 0.30 | 土師 | F-214 |
| | P10 | C3 | | 0.44 | 0.25 | 0.11 | | F-297 | | P2 | H4 | B | 0.40 | 0.28 | 0.53 | | F-224 |
| SB-2 | P1 | G3 | B | 0.52 | 0.42 | 0.41 | 土師・漆 | F-111 | P3 | G4 | B | 0.30 | 0.26 | 0.17 | 土師 | F-231 | |
| | P2 | G4 | B | 0.25 | 0.26 | 0.53 | 古土層・土師 | F-97 | P4 | G4 | B | 0.32 | 0.30 | 0.33 | 漆器 | F-434 | |
| | P3 | G4 | B | 0.49 | 0.48 | 0.24 | 土師 | P-90 | P1 | F4 | B | 0.36 | 0.25 | 0.50 | | F-295 | |
| | P4 | G1 | | 0.29 | 0.38 | 0.28 | | 跡跡なし | P2 | F4 | B | 0.32 | 0.28 | 0.38 | | F-537 | |
| | P5 | G3 | B | 0.51 | 0.39 | 0.34 | | P-127 | P3 | F4 | B | 0.29 | 0.25 | 0.33 | 土師・灰皿 | F-668 | |
| | P6 | C3 | B | 0.46 | 0.44 | 0.50 | 土師・漆器 | F-103 | P4 | F4 | B | 0.25 | 0.25 | 0.29 | | F-699 | |
| SB-3 | P1 | G3 | | 0.35 | 0.25 | 0.14 | | 跡跡なし | P5 | F4 | B | 0.31 | 0.29 | 0.30 | | F-598 | |
| | P2 | G3 | | 0.27 | 0.25 | 0.59 | | F-325 | P6 | F4 | B | 0.53 | 0.36 | 0.63 | | F-346 | |
| | P3 | G3 | B | 0.40 | 0.38 | 0.15 | 土師 | F-121 | P1 | F4 | B | 0.27 | 0.26 | 0.37 | | F-343 | |
| | P4 | G3 | A | 0.42 | 0.35 | 0.44 | 土師 | F-82 | P2 | F4 | B | 0.41 | 0.35 | 0.60 | | F-674 | |
| | P5 | G3 | | 0.41 | 0.35 | 0.28 | 土師 | F-85 | P3 | D4 | A | 0.49 | 0.37 | 0.60 | 土師・漆器 | F-408 | |
| | P6 | F3 | B | 0.28 | 0.28 | 0.22 | 土師 | F-40 | P4 | D4 | B | 0.44 | 0.42 | 0.55 | | F-413 | |
| SB-4 | P1 | G2 | A | 0.38 | 0.27 | 0.39 | 土師・漆器・灰物 | F-71 | P5 | U3 | B | 0.36 | 0.34 | 0.36 | 土師 | F-385 | |
| | P2 | G2 | B | 0.31 | 0.24 | 0.30 | | F-133 | P6 | D3 | | 0.36 | 0.29 | 0.53 | 土師 | F-555 | |
| | P3 | F2 | B | 0.34 | 0.44 | 0.26 | | F-150 | P7 | E3 | A | 0.42 | 0.26 | 0.43 | | F-372 | |
| | P4 | F2 | | 0.31 | 0.10 | 0.10 | 跡跡なし | | P8 | E3 | B | 0.57 | 0.41 | 0.47 | 土師・漆器 | F-211 | |
| SB-5 | P1 | H4 | B | 0.36 | 0.50 | 0.18 | | F-218 | P1 | E3 | B | 0.37 | 0.59 | 0.77 | 土師・灰皿 | SK50 | |
| | P2 | H5 | | 0.42 | 0.38 | 0.22 | 土師 | F-537 | P2 | U3 | | 0.75 | 0.73 | 0.48 | カワラケ・灰付 | SK44の一部 | |
| | P3 | G5 | | 0.36 | 0.28 | 0.31 | | F-260 | P3 | U3 | B | 0.63 | 0.47 | 0.38 | | F-448 | |
| | P4 | C4 | B | 0.37 | 0.27 | 0.48 | 土師 | F-228 | P4 | U2 | | 0.67 | 0.55 | 0.47 | | F-683 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | F-366 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | SK71 | | |

凡例は、第7～11頁ビット・簡説を参照。

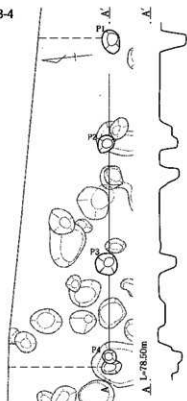


第13图 SB-1平面·断面图

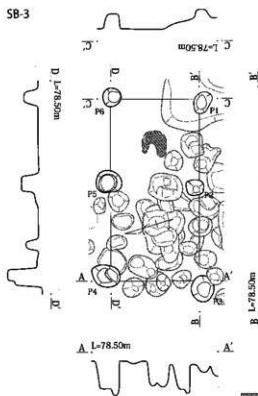
SB-2



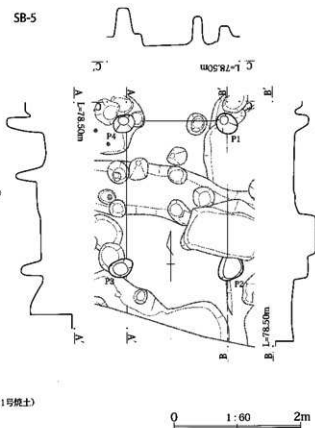
SB-4



SB-3

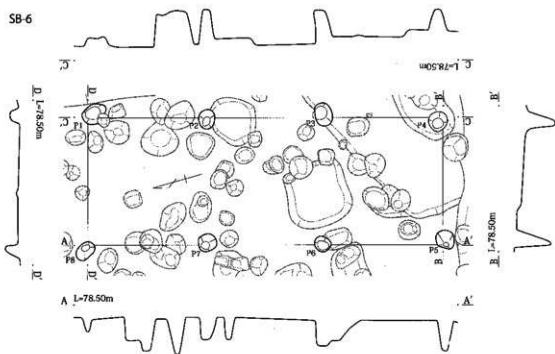


SB-5

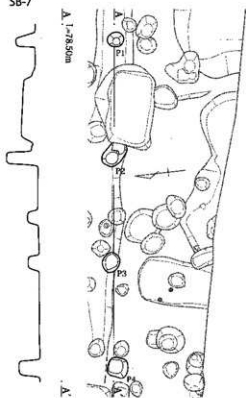


第14图 SB-2·3·4·5平面·断面图

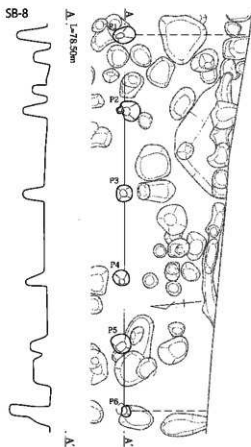
SB-6



SB-7



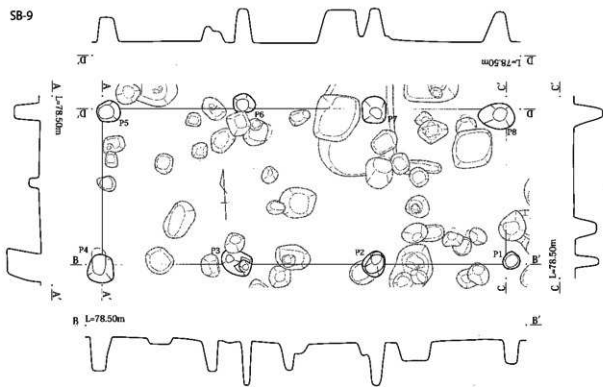
SB-8



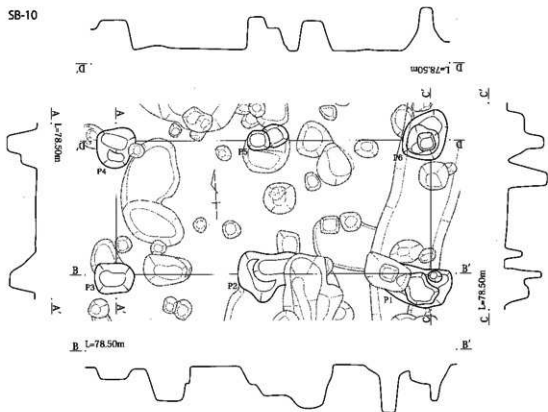
0 1:60 2m

第15图 SB-6·7·8平面·断面图

SB-9



SB-10



0 1:60 2m

第16图 SB-9·10平面·断面图

(3) 土 坑 (第17～22図)

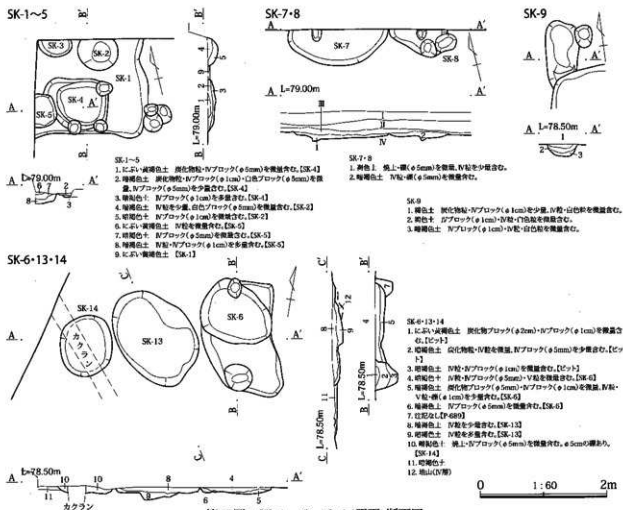
今回の発掘調査で確認された土坑は101基である。小規模な掘り込みは柱穴に相当すると考えられ、一部には掘立柱建物の柱穴として抽出したものである。検出した土坑は調査区全域に分布し、ほぼすべての土坑が他遺構と重複する。重複関係の不明確さ、および別時代の遺物の流れ込みなどから、時期判断は難しい。ここでは帰属時期を判断した一部の土坑について、その根拠と特徴を略述することとし、各土坑の規模・出土遺物などの情報は第5・6表にまとめた。また、本文中のカッコ付き番号は、掲載遺物番号と対応する。

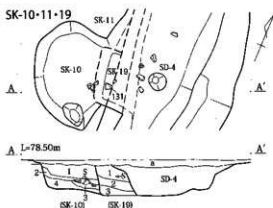
古墳時代の土坑 SK-12・31・40・44・75の5基である。前期の帰属としてSK-75が考えられる。古式土師器の小型甕(№16・17)やミニチュア土器(№18・19)が複数出土している。ここからは時期不明の土師器片も出土しているが、重複ピットの遺物が混入したと考えた。小型の土坑であり、性格は不明である。SK-12・31・40・44は中～後期の帰属と考えられる。SK-12は6世紀代の土師器破片が多く出土した。高環(№24)の他、横模環の極小破片が含まれる。このことから後期の遺構と判断したが、ロクロ使用酸化焰焼成の土器や平安時代の須恵器、内耳鍋や陶器(近世?)などの小破片も出土しており、中世以降の遺構が重複していた可能性がある。SK-31は重複関係のない小型円形の土坑で、覆土上層から5世紀代の土師器甕(№31)が出土している。またSK-40も小型円形の土坑であり、覆土上層から6世紀代の土師器甕(№32)が出土している。これらの2基は竅穴住居跡の内部施設、例えば貯蔵穴の可能性もあろう。SK-44は調査段階では方形土坑と考えたが、北側の深い部分は、整理作業時に掘立柱建物跡SB-10の柱穴と判断した。SK-44自体は5世紀代の土師器甕(№27)や、非掲載ではあるが、土師器甕が出土しており、中期の遺構と考えられる。

平安時代の土坑 SK-10・45・62・93の4基である。いずれも出土遺物から判断した。SK-10では平安時代と思われる須恵器片が出土している。SK-45では灰釉陶器(№65)が出土し、7世紀後半と思われる土師器環(№64)も出土した。SK-62は隅丸長方形を呈し、底面付近から内面黒色処理の塊(№69)と須恵器の塊(№70)が出土しており、9・10世紀代の遺構と考えた。SK-93は須恵器塊(№76)の出土から9世紀以降の帰属が考えられる。

中世の上坑 SK-18・19・22・23・24・29・30・52・63・64・70・86・97・98・99の15基である。SK-18は隅丸長方形を呈し、底面から古銭(元祐通宝・№144)が出土したことから、土壌墓の可能性が考えられる。SK-19の土層断面観察では、SK-10より新しく、SD-4より古い状況を確認している。出土遺物により、SK-10は平安時代の帰属が考えられ、SK-4は中世の溝と考えられる。SD-4出土内耳鍋(№86)に、SK-19覆土出土として取り上げた破片が接合したこともあり、SK-19を中世の遺構としてとらえた。ただし、SK-19出土とした内耳鍋破片は、本来的にはSD-4に帰属する可能性がある。つまり、平面的には同時に掘り下げを行った状態で、覆土出土遺物として取りまとめる際の混合の可能性が否定できない。いずれにせよ平安時代より新しい遺構とすることはできる。SK-22の覆土は水平堆積で地山粒を全体に含んでおり、人為埋土の可能性が考えられる。土層断面ではSK-23より新しいことを確認しており、SK-23からは古銭(永承通宝・№145)が出土していることから、中世以降の帰属と考えられる。SK-24の平面形態は規模の大きい不正楕円で、底面は中央に向かって非常に緩やかに傾斜し、大小複数の掘り込みがみられる。遺構の性格は不明であるが、カワラケ、内耳鍋(№103)、常滑焼小破片(№125)などが出土しており、中世の遺構であると考えられる。SK-29は小型の楕円形を呈し、カワラケの破片が出土した。SK-30も同様の形態で、こちらもカワラケ(№115)が出土している。SK-52は南側が調査区外になり、全容は不明である。隅丸長方形を呈すると思われ、内耳鍋や白磁(№123)が出土している。SK-63・64は重複状態にある。SK-63は隅丸長方形を呈し、深さは67cmである。上層断面からSK-64よりも新しいことがわかる。覆土中層から穀物臼(№135)・茶臼(№137・138)・磨石(№133)のほか、多数の自然石が出土した。壁際にある物の方が高い位置にあることから、これらは埋没途中の投げ込みと考えられる。また、焼土は確認できないものの、下層からは炭化物が集中する箇所が見られた。このことから、本来の使用目的は不明であるが、廃絶後の埋没過程で火を使った可能性があり、壊れた石製品などが投棄されたと考えられる。

出土遺物のから中世の帰属と判断した。SK-64は北側が調査区外のため全容不明であるが、隅丸方形と思われる。SK-63より深く70cmを測る。底面はほぼ平坦である。覆土最下層には骨粉状の白色物質が含まれ、中層では、その上下層と比べて地山ブロックが多い特徴がある。調査当初はSK-63・64部分をまとめてSK-63として認識しており、そのため本来的にはSK-64に帰属する内耳鍋(No 87)を「SK-63・No 1」と記録して取り上げていた。しかし出土位置の記録により、この内耳鍋がSK-64に帰属することは明確であり、中世の遺構と考えた。SK-70は小型の楕円形を呈し、内耳鍋(No 97)の破片が出土している。SK-86は隅丸長方形を呈する。覆土下層は黒褐色の土が堆積している。南北方向は両壁側から流れ込んだ様相を呈し、北側の方が厚く堆積している。東西方向は中央部が厚く堆積し波状を呈する。堆積状況や覆土の様子から自然堆積と考えられる。一方、中～上層は暗褐色土が主体で、層ごとに多寡が見られるが、地山ブロックが多く含まれている。この堆積状況から、中～上層は人為的な埋め土と考えられる。板碑(No 139～142)や穀物臼(No 136)、内耳鍋やすり鉢(No 105)などが出土した。上層出土の近世染付らしき小破片(No 121)は、重複遺構からの混入であろうか。SK-97・98は重複し、土層断面からSK-97が新しいと確認できた。すり鉢(No 108)の破片が出土している。SK-99は隅丸長方形を呈し、長軸方向がSK-86とほぼ同じである。堆積状況も似ており、相互に関連する可能性がある。覆土には、ほぼすべての層に地山ブロックが多く含まれていることから、人為的に埋めたと考えられる。廃絶後の埋め戻しと考えられ、堆積状況にみる埋め戻し順序は、南側・北側・南側からの順であるとみられる。ここでは内耳鍋(No 99)の破片が出土しており、中世に帰属すると判断した。





- SK-10
1. 埴原土 埴原土を築造。
 1. 埴原土 灰化物ブロック(φ5mm)・硝土・V形を築造含む。
 2. 埴原土 V形を少量、中央の溝を築造含む。
 3. 埴原土 硝土(φ7cm)を築造含む。
 4. 埴原土 灰化物・V形を築造含む。

- SK-19
1. 埴原土
 2. 埴原土 1層よりわずかに硝土あり。
 3. 行方硝土

- SK-18
1. 埴原土 灰化物・V形を築造含む。
 2. 埴原土 灰化物・硝土ブロック(φ5mm)・V形を築造含む。
 3. 埴原土 硝土・V形を築造含む。



- SK-20
1. 埴原土 灰化物・硝土・V形を築造含む。
 2. 埴原土 硝土・硝土ブロック(φ5mm)を築造、V形を少量含む。
 3. 埴原土 Vブロック(φ1cm)を築造、V形を少量含む。
 4. 埴原土 V形を築造含む。
 5. 埴原土 V形を築造含む。



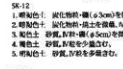
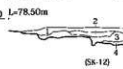
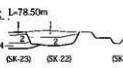
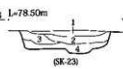
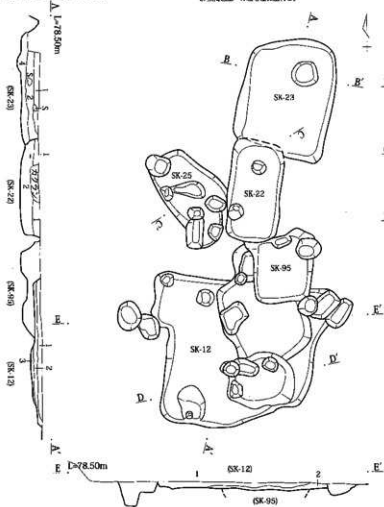
- SK-15
1. 埴原土
 2. 埴原土 1層より硝土あり



- SK-16-17
1. 埴原土 硝土・硝土ブロック(φ1cm)・硝土を築造含む。
 2. 埴原土 硝土・硝土ブロック(φ3cm)・硝土を築造、V形を少量含む。
 3. 埴原土 硝土・硝土ブロック(φ5mm)・硝土を築造、V形を少量含む。
 4. 埴原土 V形を少量、硝土を築造含む。

- SK-21
1. 埴原土 灰化物ブロック(φ5mm)・灰化物・硝土・V形を築造、硝土ブロック(φ5mm)を少量含む。

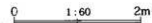
SK-12・22・23・25・95



- SK-12
1. 埴原土 灰化物・硝土(φ3cm)を築造、硝土を少量含む。
 2. 埴原土 灰化物・硝土を築造、硝土ブロック(φ5mm)を少量含む。
 3. 埴原土 砂土、硝土・硝土(φ5cm)を築造、V形を少量含む。
 4. 埴原土 砂土、硝土を少量含む。
 5. 埴原土 砂土、硝土を少量含む。

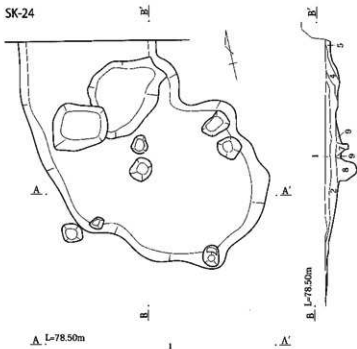
- SK-22
1. 埴原土 灰化物・硝土ブロック(φ3cm)を築造、硝土を少量含む。
 2. 埴原土 硝土ブロック(φ3cm)・硝土を築造、硝土を少量含む。

- SK-23
1. 埴原土 灰化物・硝土を築造、硝土ブロック(φ3cm)を少量含む。
 2. 埴原土 灰化物・硝土を築造、硝土ブロック(φ3cm)を少量含む。
 3. 埴原土 硝土・硝土(φ5cm)を築造、硝土を少量含む。
 4. 埴原土 灰化物・硝土を築造、硝土ブロック(φ3cm)を少量含む。



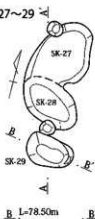
第18図 SK-10~12・15~23・25・95平面・断面図

SK-24



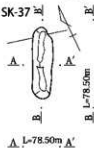
A. L=78.50m

SK-27~29



B. L=78.50m

SK-37

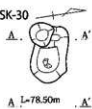


A. L=78.50m

SK-37

1. 埋藏土 柱上-Vブロック(φ5mm)を埋藏立む。
2. 埋藏土 炭化物を埋藏、V形を少量含む。
3. 埋藏土 V形を埋藏、Vブロック(φ5mm)を少量含む。
4. 埋藏土 V形を少量含む。

SK-30



A. L=78.50m

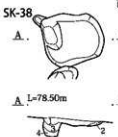
SK-30

1. 埋藏土 炭化物・焼土を埋藏、Vブロック(φ5mm)を少量含む。
2. 埋藏土 Vブロック(φ5mm)-Vブロック(φ5mm)を埋藏立む。
3. 埋藏土 炭化物・V形-V形を埋藏立む。
4. 埋藏土 EP-364]

SK-27~29

1. 埋藏土 柱土を埋藏、V形を少量含む。[SK-28]
2. 埋藏土 炭化物を少量、V形を少量、Vブロック(φ5mm)を埋藏立む。[SK-27]
3. 埋藏土 炭化物・V形-Vブロック(φ5mm)を少量含む。[SK-27]
4. 埋藏土 炭化物を少量、V形を埋藏立む。[SK-27]

SK-38

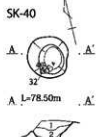


A. L=78.50m

SK-38

1. 埋藏土 炭化物・Vブロック(φ1cm)を埋藏、V形を少量含む。
2. 埋藏土 炭化物を少量含む。
3. 埋藏土 Vブロック(φ5mm)を埋藏立む。
4. 埋藏土 V形を少量含む。

SK-40



A. L=78.50m

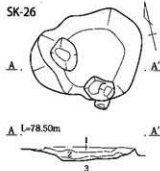
SK-40

1. 埋藏土 Vブロック(φ5mm)を埋藏立む。
2. 埋藏土 炭化物・V形-Vブロック(φ3mm)-V形を埋藏立む。
3. 埋藏土 V形を埋藏立む。

SK-24

1. 埋藏土 炭化物を埋藏、V形を少量含む。炭化物・Vブロック(φ5mm)あり。
2. 埋藏土 柱土(φ3cm)を埋藏、V形を少量含む。
3. 埋藏土 V形を少量含む。
4. 埋藏土 柱土-V形-Vブロック(φ1cm)を埋藏立む。
5. 埋藏土 炭土を埋藏、V形を少量含む。
6. 埋藏土 V形-Vブロック(φ1cm)を埋藏立む。
7. 埋藏土 炭化物を埋藏、V形を少量含む。
8. 埋藏土 Vブロック(φ1cm)-V形-V形(φ1cm)を埋藏立む。
9. 埋藏土 埋藏土 砂利、φ3mmの粒を含む。[SK-24]

SK-26

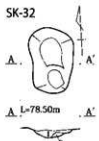


A. L=78.50m

SK-26

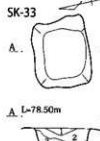
1. 埋藏土 柱土-Vブロック(φ1cm)を埋藏、Vブロック(φ5mm)を少量含む。
2. 埋藏土 炭化物・V形を埋藏、Vブロック(φ1cm)を少量含む。
3. 埋藏土 炭化物を埋藏、V形を少量含む。

SK-32



A. L=78.50m

SK-33



A. L=78.50m

SK-31



A. L=78.50m

SK-31

1. 埋藏土 柱上-V形を埋藏立む。
2. 埋藏土 炭化物・焼土-V形-Vブロック(φ1cm)を埋藏立む。
3. 埋藏土 炭化物・焼土を埋藏、Vブロック(φ5mm)-焼土(φ3cm)を少量含む。

SK-32

1. 埋藏土 炭化物を埋藏、V形-Vブロック(φ1cm)を少量含む。
2. 埋藏土 V形-Vブロック(φ1cm)を少量含む。

SK-33

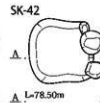
1. 埋藏土 炭化物を埋藏、V形を少量含む。
2. 埋藏土 炭化物・V形を埋藏、Vブロック(φ1cm)を少量含む。
3. 埋藏土 Vブロック(φ1cm)-Vブロック(φ1cm)を少量含む。
4. 埋藏土 V形を少量含む。
5. 埋藏土 炭化物・Vブロック(φ5mm)を埋藏、V形を少量含む。

SK-41



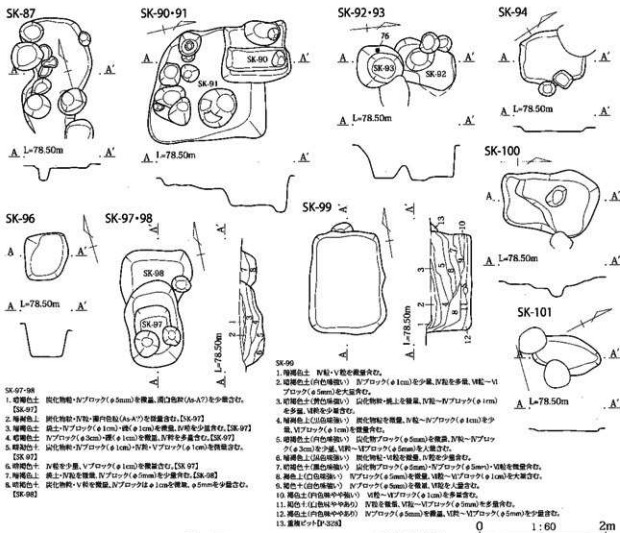
A. L=78.50m

SK-42



A. L=78.50m

第19図 SK-24~26~33~37~38~40~42平面・断面図



- SK-97-98
 1. 礫層土 灰化物粒・V形を散見する。開口部(A-A')を少量含む。【SK-97】
 2. 礫層土 灰化物粒・V形・層内包砂(A-A')を散見する。【SK-97】
 3. 礫層土 灰土・V形(φ10cm)・横(φ10cm)を散見。V形を少量含む。【SK-97】
 4. 礫層土 V形(φ10cm)・横(φ10cm)を散見。V形を少量含む。【SK-97】
 5. 礫層土 灰化物粒・V形(φ10cm)・横・V形(φ10cm)を散見する。【SK-97】
 6. 礫層土 V形を少量。V形(φ10cm)を散見する。【SK-97】
 7. 礫層土 灰土・V形を散見。V形(φ10cm)を少量含む。【SK-98】
 8. 礫層土 灰化物粒・V形を散見。V形(φ10cm)を少量含む。φ5mmを少量含む。【SK-98】
- SK-99
 1. 礫層土 V形・V形を散見する。
 2. 礫層土(白色堆積) V形(φ10cm)を少量。V形を少量。ME-V形(φ10cm)を少量含む。
 3. 礫層土(黄色堆積) 灰化物粒・横土を散見。V形-V形(φ10cm)を少量。V形を少量含む。
 4. 礫層土(黄色堆積) 灰化物粒を散見。V形-V形(φ10cm)を少量。V形(φ10cm)を少量含む。
 5. 礫層土(白色堆積) 灰化物(φ50mm)を散見。V形-V形(φ10cm)を少量。V形(φ10cm)を少量含む。
 6. 礫層土(白色堆積) V形(φ10cm)を少量。V形(φ10cm)を少量含む。
 7. 礫層土(白色堆積) 灰化物(φ50mm)を散見。V形(φ10cm)を少量。V形(φ10cm)を少量含む。
 8. 礫層土(白色堆積) V形(φ10cm)を少量。V形(φ10cm)を少量含む。
 9. 礫層土(黄色堆積) V形-V形(φ10cm)を少量含む。
 10. 礫層土(黄色堆積) V形-V形(φ10cm)を少量含む。
 11. 礫層土(黄色堆積) V形-V形(φ10cm)を少量含む。
 12. 礫層土(白色堆積) V形(φ10cm)を少量。V形-V形(φ10cm)を少量含む。
 13. 黄褐色(D-F-Si2)

第22図 SK-87・90~94・96~101平面・断面図

第5表 上坑一覽表(1)

| 番号 | 位置 | 平面形 | 測値 | | | 遺構関係 | 出土遺物 | 時期 | 備考 |
|-------|----|--------|---------|--------|--------|--------------------------|---------------------|--------|------------|
| | | | 直径 | 距離 | 深さ | | | | |
| SK-1 | B1 | 方形か | [1.75] | [1.54] | 0.02 | SK-2・4・5より深い | 土師・土師管・瓦類 | | |
| SK-2 | B1 | 円形か | 0.64 | (0.50) | (0.17) | SK-1より新しい | | | |
| SK-3 | B1 | 円形か | 0.53 | (0.28) | (0.11) | 遺構あり・新田不明 | | | |
| SK-4 | B1 | 不整形 | 1.03 | 0.81 | (0.10) | SK-1より新しい | 土師 | | |
| SK-6 | B1 | 縦長方形か | 0.53 | (0.34) | (0.20) | SK-1より新しい | | | |
| SK-6 | B2 | 不整形 | 1.78 | 1.11 | 0.15 | SK-8より古い | 古土師・土師・灰器・土師管・土師瓦 | 平安朝 | |
| SK-7 | B1 | 長方形か | 1.56 | (0.81) | 0.08 | 遺構なし | | | SK-4と同一層級か |
| SK-8 | C1 | 不整形 | 0.82 | (0.44) | 0.20 | 遺構なし | | | |
| SK-9 | C2 | 不整形長方形 | (0.93) | 0.60 | 0.23 | 遺構あり・新田不明 | | | |
| SK-10 | B3 | 不整形円形 | 1.74 | (1.03) | 0.49 | SK-10より古い | 古土師・土師・灰器 | 平安朝 | |
| SK-11 | B2 | 不明 | (1.17) | (0.31) | 0.52 | 遺構あり・新田不明 | | | |
| SK-12 | C3 | 不整形 | 2.33 | 2.31 | 0.17 | P-485・439より古い。SK-95より新しい | 古土師・土師・灰器・土師管・内瓦・瓦類 | 平安朝・中世 | 近田遺構 |
| SK-13 | B3 | 不整形円形 | 1.96 | 1.17 | 0.10 | 遺構なし | 古土師・土師・灰器 | | |
| SK-14 | B2 | 縦長方形 | 0.86 | 0.62 | 0.08 | 遺構なし | 土師 | | |
| SK-15 | B3 | 不整形長方形 | 0.77 | 0.50 | 0.24 | 遺構あり・新田不明 | 六斗形・土師・灰器 | | |
| SK-16 | C2 | 縦長方形 | 0.82 | 0.77 | 0.08 | SK-17より古い | | | |
| SK-17 | C2 | 不整形円形 | 0.76 | 0.61 | 0.40 | SK-16より新しい | 土師 | | |
| SK-18 | B2 | 不整形長方形 | 1.61 | 0.78 | 0.11 | 遺構なし | 古土師・土師・灰器・六斗形 | 中世 | |
| SK-19 | B3 | 方形か | (0.67) | <0.89> | 0.54 | SK-10より新しく。SK-4より古い | 古土師・土師・灰器・内瓦・瓦類 | 中世か | |
| SK-20 | C3 | 不整形円形 | 1.00 | (0.69) | 0.35 | 遺構なし | 土師 | | 遺構関係不明 |
| SK-21 | C2 | 不整形 | 0.83 | 0.78 | 0.14 | 遺構なし | | | |
| SK-22 | C3 | 長方形 | (1. 81) | 0.83 | 0.24 | SK-23より新しい | 土師・灰器・土師管 | | 中世以降か |
| SK-23 | C3 | 不整形方形 | 1.89 | 1.43 | 0.27 | SK-22より古い | 古土師・土師・灰器・土師管・六斗形 | 中世 | |
| SK-24 | C2 | 不整形 | 1.74 | 2.74 | 0.22 | 遺構あり・新田不明 | 古土師・土師・灰器・土師管・内瓦・瓦類 | 中世 | |
| SK-25 | C3 | 不整形 | 1.44 | 0.90 | 0.21 | 遺構あり・新田不明 | | | |
| SK-26 | B2 | 不整形 | 1.72 | 1.44 | 0.24 | 遺構あり・新田不明 | 土師 | | |
| SK-27 | B3 | 不整形 | 1.01 | 0.85 | 0.13 | SK-28より古い | | | |
| SK-28 | B3 | 不整形円形 | 1.25 | 0.63 | 0.08 | SK-27より新しい | 土師 | | |

(4) 溝

溝は7条を検出した。SD-7以外は南北方向を指向し、中でもSD-5は部分的な検出で規模が小さい。出土遺物から帰属時期を判断すれば、中世段階がSD-1・3・4・6であり、SD-3と並ぶSD-2も同時期の可能性がある。SD-7はその覆土の特徴から近世以降の可能性があり、SD-5は不明である。

SD-1 (第23図)

位置 調査区東端、J3・J4グリッド 重複関係 なし 平面形態 直線的 走向方位 N-11°E 規模 検出長7.7m・検出幅2.24m・深さ1.5～1.74m 所見 西壁以外は調査区外で、全長・全幅は不明。最大深度は北端部で、南端部では遺構確認面の標高が低いため、相対的に浅くなる。底面の起伏は弱く、全体的な勾配はやや南下がり。西壁は底面から約44°の傾斜で、中位には短い傾斜段がある。東壁の立ち上がりは確認できない。

覆土の堆積に人為性は認められず、自然堆積と考えられる。上層には白色軽石が含まれ、As-Aの可能性もある。この軽石は下層には混入しない。As-Bの混入は全層で不明瞭である。流水痕跡は確認できず、底面付近にノロ状の堆積もない。調査時に湧水はなく、恒常的な通水・泄水はなかったと判断した。本書掲載の遺構写真では、本遺構に水の溜まる状況が写っているが、これは北側工事作業の散水の湧出であり、本遺構と関係しない。

出土遺物 上層で近世陶磁器2点、下層で焼締陶器1点出土。全体的に古墳～平安時代の土器片が占める。

SD-2 (第23図)

位置 調査区東、I3・I4グリッド 重複関係 SK-34より古く、それ以外は不明。 平面形態 直線的 走向方位 N-9°E 規模 検出長4.7m・幅0.9m前後・深さ2～6cm程 所見 北側は調査区外、SI-1以南は不明。底面のピットは重複ピットか。底面の勾配はやや南下がりで、流水痕跡はない。 出土遺物 土師器・灰釉陶器

SD-3 (第23図)

位置 調査区東、H3・H4・I3・I4グリッド 重複関係 SK-36より新しく、それ以外は不明。 平面形態 直線的 走向方位 N-11°E 規模 検出長4.9m・幅2.26m・深さ7cm程 所見 北側は調査区外、南側はSI-1・2付近で不明瞭。掘り込みは浅く、東西の壁際がやや深めになる。別の溝の可能性もあるが、上層断面での切り合いはない。底面の勾配はやや南下がりで、流水痕跡はない。 出土遺物 土師器・須恵器・内耳鍋・カワラケ・板碑

SD-4 (第24図)

位置 調査区西端、B2・B3グリッド 重複関係 SK-11・19より新しい。 平面形態 直線的 走向方位 N-0°E 規模 検出長5m・幅1.76m前後・深さ53cm程 所見 南側は調査区外、北側は途切れる。東壁の傾斜は40°前後。底面の勾配はやや南下がりで、流水痕跡はない。 出土遺物 土師器・須恵器・羽釜・内耳鍋・鉄製品

SD-5 (第24図)

位置 調査区西、C4グリッド 重複関係 SI-12不明 平面形態 直線的 走向方位 N-10°E 規模 検出長1.54m・幅0.48m・深さ10cm前後 所見 底面の勾配はほぼ平坦で、流水痕跡は不明。 出土遺物 土師器

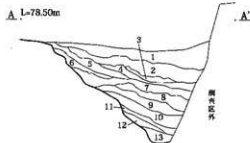
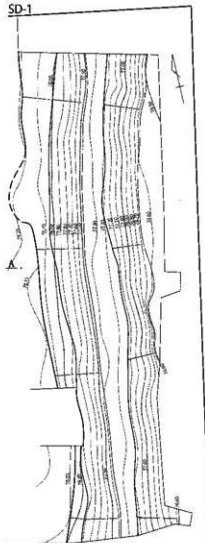
SD-6 (第24図)

位置 調査区中央、E2・E3・D3グリッド 重複関係 SK-46・59・61・71・P-432・543より新しく、それ以外は不明。 平面形態 直線的 走向方位 N-12°E 規模 検出長7.48m・幅1.1m・深さ4～11cm 所見 北側は重複で不明、南側は途切れる。南端の深度は4cm程。SK-64土層断面には本遺構が現れず、SK-64より古い可能性あり。底面の勾配はほぼ平坦で、流水痕跡はない。 出土遺物 土師器・須恵器・灰釉陶器・内耳鍋・すり鉢・古銭

SD-7 (第24図)

位置 調査区東、H4・G4グリッド 重複関係 ビット以外の重複遺構より新しい。ビットとの新旧不明。 平面形態 直線的 走向方位 N-99°E 規模 検出長6.1m・幅1.1m(断面)・深さ0.2m(断面) 所見 東側は調査区外、西側は浅くなり不明瞭。底面の勾配は東下がりで、流水痕跡はない。出土遺物 土師器・須恵器など

SD-1

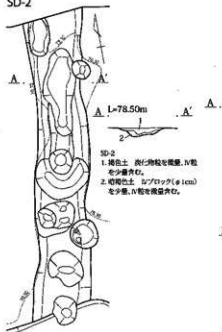


SD-1

1. 砂質土 砂質、Aa-A7を少量、IV粒を少量、縦(φ3cm)を数箇含む。
 2. 砂質粘土 砂質、Aa-A7を少量、炭化物粒を少量、IV粒-Vプロック(φ1cm)を数箇、縦(φ1cm)を数箇含む。
 3. 硬質粘土 砂質、炭化物プロック(φ5mm)-IV粒を数箇含む。
 4. 硬質粘土 砂質、IVプロック(φ5mm)-IV粒を少量、縦(φ5mm)を数箇含む。
 5. 灰い黄褐色土 炭化物粒を少量、IVプロック(φ1-3cm)-IV粒を少量、縦(φ1cm)を数箇含む。
 6. 硬質粘土 IV粒を少量、Vプロック(φ1cm)を少量含む。
 7. 褐色土 炭化物粒を少量、IVプロック(φ5mm)-IV粒を少量、Vプロック(φ1cm)-V粒を少量、縦(φ5cm)を数箇含む。
 8. 褐色土 炭化物粒を少量、IVプロック(φ5mm)-Vプロック(φ5mm)を数箇含む。
 9. 褐色土 IV粒-V粒を数箇含む。
 10. 褐色土 IV粒-V粒-縦(φ1cm)を数箇含む。
 11. 灰い黄褐色土 IV粒を少量、V粒を少量含む。
 12. 硬質粘土 IV粒を少量、V粒を少量含む。
 13. 硬質粘土 IV粒-V粒-縦(φ5cm)を数箇含む。
- ※「Aa-A7」としたものは、白色砂石でおよそ3-5mmの大きさである。

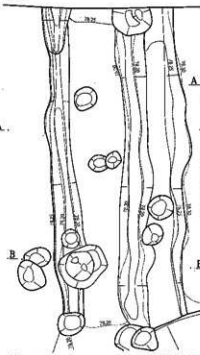
SD-3

SD-2



SD-2

1. 褐色土 炭化物粒を少量、IV粒を少量含む。
2. 硬質粘土 IVプロック(φ1cm)を少量、IV粒を少量含む。



A' L=78.50m

A'

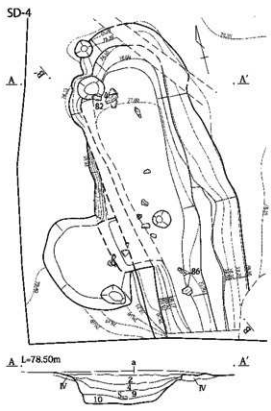
SD-3

1. 硬質粘土 IV粒を少量、縦(φ1cm)を数箇含む、白色砂(Aa-A7)を数箇含む。
2. 硬質粘土 IV粒-縦(φ1cm)を数箇含む、白色砂(Aa-A7)を少量含む。
3. 硬質粘土 IVプロック(φ1cm)を少量、IV粒を少量含む。
4. 硬質粘土 IVプロック(φ1cm)を少量、IV粒を少量含む。
5. 硬質粘土 IVプロック(φ5mm)-IV粒を少量含む、縦(φ3cm)。

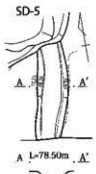
B' B' L=78.50m

0 1:60 2m

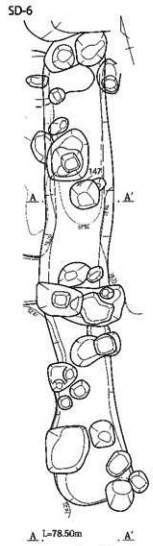
第23図 SD-1・2・3 平面・断面図



- SD-4
1. 礫色土 砂質。炭化物ブロック(φ5mm)・炭(φ1~3cm)を散置、V形を構築済み。
 2. 暗褐色土 砂質。炭化物・木屑・Vブロック(φ1cm)を散置、V形を構築済み。
 3. 暗褐色土 砂質。炭上・Vブロック(φ3cm)を散置、V形を構築済み。
 4. 暗褐色土 砂質。炭化物・炭・木屑・Vブロック(φ1cm)を散置済み。
 5. 暗褐色土(やや黒色地味あり) 砂質。炭化物ブロック(φ1cm)・焼土・V形・炭(φ3cm)を散置済み。
 6. 暗褐色土(やや黒色地味あり) 砂質。炭化物・木屑・Vブロック(φ1cm)を散置、炭化物ブロック(φ1cm)を少量含む。
 7. 暗褐色土(やや黒色地味あり) 砂質。V形を構築、V形を少量含む、赤土の塊あり。
 8. 暗褐色土 炭化物・V形を構築、V形を少量含む。
 9. 暗褐色土 焼土・木屑・Vブロック(φ1cm)を散置済み、φ3cmの塊あり。
 10. 暗褐色土 V形を構築、V形と赤土の塊を少量含む。
 11. 暗褐色土 炭化物・木屑を散置、V形・炭(φ3~5cm)を少量含む。
 12. 土色・黒色土 砂質。V形を構築済み、焼土の可能性あり、傾り過ぎるか?
- a. 暗褐色土 SK-10-19-SD-4を参考。

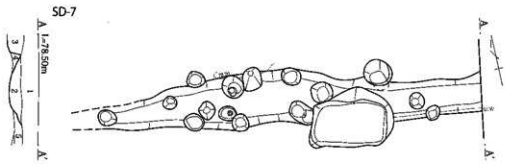


A L=78.50m A'



A L=78.50m A'

- SD-6
1. 暗褐色土 炭化物が少量、炭上・Vブロック(φ5mm)を構築済み。
 2. 暗褐色土 炭化物・Vブロック(φ1cm)・V形を構築済み。
 3. 黒色ピット[D-542]



- SD-7
1. 赤土・V形なし
 2. 炭褐色土 砂質、As-8型7、焼土・木屑を少量含む、[SD-7]
 3. 褐色土(やや黒色地味あり) 焼土・V形・焼土・焼土・焼土を少量含む、As-8の付片は不明、[SK-47]
 4. 暗褐色土 炭上・炭化物・焼土を少量含む、焼土・炭(φ4~7)を散置済み、[SK-7]
 5. 暗褐色土 焼土・木屑をやや多量、焼土・V形を構築済み、[SK-1]



第24図 SD-4・5・6・7 平面・断面図

(5) ビット

検出したビット数は非常に多く、遺構番号を与えたものは712基を数える。番号未付与のビットを含めれば、総数はそれ以上になる。また、IV章で述べたように、土坑・ビットの遺構名称設定に明確な基準は設けておらず、土坑とした中にもビットと呼称した方が妥当な小穴が含まれている。これらのビットは柱穴であったと想定する。

平面形態は円形気味が多く、中には方形ビットも存在する。深度は一定せず、極めて浅いものから、P-271のように1mを超えるものがある。覆土観察は遺構確認面で行い、色調から3分類した。すなわち褐色土・暗褐色土・黒褐色土である。基本土層II層に近似する覆土もあったが、P-704～708のみであり、攪乱と判断した。断面観察を行ったビットもあるが、これらに柱痕は確認されなかった。調査では覆土混入のデフラに留意したが、良好な所見を得られない。特にAs-B混入の有無には意識的な肉眼観察を行ったが、明確に判断できず、古銭を出したP-349でも判断がつかなかった。このことは、旧土地造成時の填圧の影響により土質の変化があったと仮定すれば、単純にAs-Bを認識できなかった可能性がある。

出土遺物は古墳～平安時代の土器破片が主体である。他に、少量の中世遺物を出土したビットも存在する。古代の遺物が中世遺物に混入した可能性も考えられるため、遺物からの時期判断は慎重を要する。一方で近世以降の出土遺物が極少なることを考慮すれば、中世遺物を出土したビットは、中世段階の帰属と考えられる。そして覆土からの判断に限界性があるものの、古代の遺物しか出土しないビットも含め、検出したビットの大半は中世に帰属すると想定しておきたい。小破片の古代の上器片は、流れ込みと判断している。一方、調査時では黒褐色土が古代の覆土に相当するとの印象があり、中世以前のビットも少数存在すると考えられる。

調査区内でのビット分布は中央部に集中傾向があり、複数のビットが重複する事例も多い。東端部・西端部付近ではビットの分布は少ない。各ビットの詳細は、第7表にまとめた。

第7表 ビット一覧表(1)

| 番号 | 位置 | 覆土 | 色調 | | | 出土遺物 | 備考 |
|------|----|----|--------|--------|--------|-------|------------|
| | | | 黄褐色 | 暗褐色 | 黒褐色 | | |
| P-1 | D | B | 0.25 | 0.25 | 0.22 | 土層 | |
| P-2 | D | C | 0.40 | 0.36 | 0.30 | 土層 | |
| P-3 | D | B | 0.34 | 0.32 | 0.31 | 土層 | |
| P-4 | H3 | B | 0.36 | 0.34 | 0.17 | 土層 | |
| P-5 | H3 | B | 0.27 | 0.22 | 0.23 | | |
| P-6 | H3 | B | [0.27] | 0.27 | 0.05 | | |
| P-7 | H3 | B | 0.30 | 0.36 | 0.57 | 土層・柱痕 | |
| P-8 | H3 | B | 0.52 | 0.25 | 0.25 | 土層 | |
| P-9 | H3 | B | 0.35 | 0.24 | 0.40 | | |
| P-10 | | | | | | | SB-6・P1に重複 |
| P-11 | H3 | B | 0.38 | 0.38 | 0.21 | 土層・柱痕 | |
| P-12 | H3 | C | 0.27 | 0.27 | 0.58 | | |
| P-13 | H4 | B | 0.43 | 0.35 | 0.18 | | |
| P-14 | | | | | | | SB-6・P2に重複 |
| P-15 | H4 | A | 0.43 | 0.43 | 0.68 | | |
| P-16 | H4 | A | 0.30 | 0.25 | 0.11 | | |
| P-17 | H4 | A | 0.26 | 0.25 | 0.22 | | |
| P-18 | H4 | B | 0.26 | 0.26 | 0.39 | | |
| P-19 | | | | | | | SB-6・P3に重複 |
| P-20 | D | B | 0.31 | 0.27 | 0.24 | 土層 | |
| P-21 | H4 | A | 0.23 | 0.23 | 0.28 | 土層 | |
| P-22 | H4 | B | 0.24 | 0.24 | 0.71 | 土層・柱痕 | |
| P-23 | H4 | B | 0.25 | 0.25 | 0.17 | | |
| P-24 | H3 | B | 0.35 | 0.34 | 0.41 | | |
| P-25 | H3 | B | 0.36 | 0.33 | 0.22 | | |
| P-26 | H3 | A | 0.18 | 0.15 | 0.28 | | |
| P-27 | H3 | A | 0.25 | 0.22 | 0.11 | | |
| P-28 | H3 | B | 0.31 | [0.21] | 0.32 | 土層 | |
| P-29 | H3 | A | 0.43 | 0.39 | 0.55 | 土層 | |
| P-30 | H3 | B | 0.34 | [0.23] | 0.33 | | |
| P-31 | H3 | B | 0.34 | 0.28 | 0.72 | 土層・柱痕 | |
| P-32 | H2 | A | 0.49 | [0.23] | 0.66 | | |
| P-33 | H3 | A | 0.58 | 0.32 | 0.29 | | |
| P-34 | H3 | B | 0.33 | 0.22 | 0.48 | | |
| P-35 | H2 | B | 0.27 | 0.28 | 0.41 | | |
| P-36 | H2 | A | 0.27 | 0.24 | 0.34 | | |
| P-37 | H3 | A | 0.20 | 0.18 | 0.11 | | |
| P-38 | H3 | B | 0.30 | [0.22] | 0.32 | | |
| P-39 | H3 | B | 0.26 | 0.26 | 0.10 | | |
| P-40 | | | | | | | SB-2・P5に重複 |
| P-41 | D | B | 0.25 | 0.25 | 0.22 | | |
| P-42 | H4 | A | 0.28 | 0.27 | 0.33 | 土層 | SB-6・P7に重複 |
| P-43 | H3 | B | 0.41 | 0.40 | 0.19 | 土層 | |
| P-44 | H3 | B | 0.59 | 0.51 | 0.12 | | |
| P-45 | H3 | B | 0.21 | 0.19 | 0.15 | | |
| P-46 | H3 | B | 0.43 | 0.42 | 0.49 | | 出土物多数付与 |
| P-47 | | | | | | | SB-6・P8に重複 |
| P-48 | H3 | B | 0.40 | 0.32 | 0.36 | | |
| P-49 | H3 | B | 0.23 | 0.21 | 0.08 | | |
| P-50 | H2 | C | 0.23 | 0.21 | 0.07 | 土層 | |
| P-51 | H3 | B | 0.52 | 0.34 | 0.21 | | |
| P-52 | H3 | C | 0.48 | 0.33 | 0.37 | | |
| P-53 | H4 | C | 0.24 | 0.21 | 0.10 | | |
| P-54 | H3 | B | 0.31 | [0.22] | 0.11 | | |
| P-55 | H3 | A | 0.54 | 0.46 | 0.43 | 土層 | |
| P-56 | H3 | B | 0.35 | 0.28 | 0.47 | 土層・柱痕 | |
| P-57 | H4 | B | 0.30 | 0.28 | 0.51 | 土層 | |
| P-58 | H3 | B | 0.26 | 0.24 | 0.29 | | |
| P-59 | H4 | B | [0.32] | 0.34 | 0.32 | | 出土物多数付与 |
| P-60 | H4 | B | 0.58 | 0.40 | 0.44 | 土層 | |
| P-61 | H4 | C | [0.20] | [0.22] | 0.18 | | |
| P-62 | H4 | B | 0.42 | 0.35 | 0.27 | | |
| P-63 | H4 | B | 0.34 | 0.31 | 0.44 | 土層・柱痕 | |
| P-64 | H4 | B | 0.42 | 0.35 | [0.42] | | |
| P-65 | H4 | B | 0.73 | 0.46 | 0.13 | | |
| P-66 | H4 | B | 0.25 | 0.19 | [0.19] | | |
| P-67 | H3 | C | 0.45 | 0.40 | 0.78 | | |
| P-68 | G3 | B | 0.32 | 0.27 | 0.25 | 土層 | |
| P-69 | G3 | B | 0.41 | 0.40 | 0.30 | 土層・柱痕 | |
| P-70 | G3 | B | 0.34 | 0.27 | 0.28 | 土層 | |
| P-71 | | | | | | | SB-4・P1に重複 |
| P-72 | G3 | B | 0.40 | 0.35 | 0.27 | | |
| P-73 | G3 | B | 0.24 | 0.23 | 0.24 | | |
| P-74 | G3 | B | 0.69 | 0.52 | 0.31 | | |
| P-75 | G3 | B | 0.52 | 0.51 | 0.47 | 土層 | |
| P-76 | H4 | B | 0.37 | 0.28 | 0.29 | | |
| P-77 | G3 | B | 0.30 | 0.30 | 0.37 | 土層 | |
| P-78 | G3 | A | 0.28 | [0.23] | 0.31 | 土層 | |
| P-79 | G3 | C | 0.60 | 0.41 | 0.35 | | |
| P-80 | G3 | B | 0.18 | 0.16 | 0.17 | | |

第8表 ヒット一覧表(2)

| 番号 | 曲名 | 種別 | 原 盤 | | | 邦土発祥 | 備考 | 原 盤 | 種別 | 邦土発祥 | 備考 |
|-------|----|----|------|------|------|------------|------------|-----|----|------|------------|
| | | | 編曲 | 加納 | 保証 | | | | | | |
| P-81 | G3 | A | 0.25 | 0.23 | 0.40 | | | | | | |
| P-82 | | | | | | | SB-2・P4に収録 | | | | |
| P-83 | G4 | A | 0.46 | 0.31 | 0.04 | 十勝 | | | | | |
| P-84 | G3 | B | 0.25 | 0.19 | 0.35 | | | | | | |
| P-85 | | | | | | | SB-2・P5に収録 | | | | |
| P-86 | G3 | B | 0.35 | 0.30 | 0.26 | | | | | | |
| P-87 | G5 | A | 0.53 | 0.22 | 0.23 | | | | | | |
| P-88 | G3 | B | 0.49 | 0.32 | 0.08 | 上野 | | | | | |
| P-89 | H3 | | 0.21 | 0.19 | 0.12 | | | | | | |
| P-90 | G3 | A | 0.31 | 0.29 | 0.27 | 十勝・道東 | | | | | |
| P-91 | G3 | A | 0.46 | 0.28 | 0.45 | | | | | | |
| P-92 | G3 | B | 0.47 | 0.46 | 0.35 | 上野 | | | | | |
| P-93 | H3 | | 0.26 | 0.21 | 0.11 | | | | | | |
| P-94 | G4 | B | 0.37 | 0.28 | 0.54 | 十勝 | | | | | |
| P-95 | G4 | C | 0.57 | 0.55 | 0.16 | 十勝 | | | | | |
| P-96 | G4 | B | 0.29 | 0.21 | 0.42 | | | | | | |
| P-97 | | | | | | | SB-2・P2に収録 | | | | |
| P-98 | G4 | B | 0.46 | 0.38 | 0.34 | 上野 | | | | | |
| P-99 | | | | | | | SB-2・P3に収録 | | | | |
| P-100 | G3 | A | 0.38 | 0.32 | 0.37 | 十勝・道東 | | | | | |
| P-101 | G3 | B | 0.29 | 0.25 | 0.14 | | | | | | |
| P-102 | G3 | B | 0.41 | 0.39 | 0.41 | | | | | | |
| P-103 | | | | | | | SB-2・P6に収録 | | | | |
| P-104 | G3 | B | 0.39 | 0.37 | 0.46 | | | | | | |
| P-105 | H4 | | 0.27 | 0.10 | 0.09 | | | | | | |
| P-106 | H3 | B | 0.34 | 0.29 | 0.36 | 古十勝・十勝・内風 | 蘭島土 | | | | |
| P-107 | H3 | | 0.36 | 0.33 | 0.36 | | 蘭島土 | | | | |
| P-108 | G3 | B | 0.62 | 0.56 | 0.56 | 古十勝・十勝 | | | | | |
| P-109 | H3 | | 0.36 | 0.35 | 0.09 | | | | | | |
| P-110 | H3 | | 0.26 | 0.15 | 0.10 | | | | | | |
| P-111 | | | | | | | SB-2・P1に収録 | | | | |
| P-112 | G3 | B | 0.40 | 0.38 | 0.71 | 上野・知冠 | | | | | |
| P-113 | G3 | B | 0.40 | 0.28 | 0.60 | | | | | | |
| P-114 | G3 | B | 0.45 | 0.40 | 0.35 | 十勝・道東・上野賢 | | | | | |
| P-115 | G3 | B | 0.38 | 0.31 | 0.42 | | | | | | |
| P-116 | G3 | A | 0.30 | 0.27 | 0.29 | | | | | | |
| P-117 | G3 | B | 0.29 | 0.22 | 0.21 | | | | | | |
| P-118 | G3 | B | 0.21 | 0.15 | 0.14 | 十勝 | | | | | |
| P-119 | G3 | B | 0.35 | 0.29 | 0.21 | | | | | | |
| P-120 | G3 | A | 0.31 | 0.25 | 0.39 | | | | | | |
| P-121 | | | | | | | SB-3・P3に収録 | | | | |
| P-122 | G3 | B | 0.38 | 0.34 | 0.20 | 内野 | | | | | |
| P-123 | G3 | A | 0.49 | 0.31 | 0.40 | 上野・道東 | | | | | |
| P-124 | G3 | A | 0.60 | 0.36 | 0.33 | | | | | | |
| P-125 | G3 | A | 0.45 | 0.36 | 0.33 | 内野 | | | | | |
| P-126 | G3 | B | 0.25 | 0.23 | 0.09 | 上野・知冠・カワラケ | | | | | |
| P-127 | | | | | | | SB-3・P6に収録 | | | | |
| P-128 | G3 | A | 0.38 | 0.23 | 0.59 | | | | | | |
| P-129 | G4 | A | 0.42 | 0.21 | 0.08 | 上野 | | | | | |
| P-130 | H3 | B | 0.55 | 0.53 | 0.37 | 上野・長根 | | | | | |
| P-131 | H3 | B | 0.41 | 0.31 | 0.51 | 上野・長根 | | | | | |
| P-132 | H3 | B | 0.49 | 0.40 | 0.52 | 上野 | | | | | |
| P-133 | | | | | | | SB-4・P2に収録 | | | | |
| P-134 | G2 | A | 0.36 | 0.26 | 0.20 | | | | | | |
| P-135 | G2 | A | 0.49 | 0.40 | 0.04 | | | | | | |
| P-136 | G3 | B | 0.63 | 0.54 | 0.11 | | | | | | |
| P-137 | G3 | A | 0.54 | 0.33 | 0.09 | | | | | | |
| P-138 | G2 | A | 0.36 | 0.34 | 0.31 | | | | | | |
| P-139 | H4 | | 0.30 | 0.21 | 0.14 | | | | | | |
| P-140 | H4 | | 0.28 | 0.22 | 0.02 | | | | | | |
| P-141 | H4 | | 0.21 | 0.11 | 不明 | | | | | | |
| P-142 | F2 | B | 0.50 | 0.40 | 0.12 | 十勝 | | | | | |
| P-143 | G3 | | 0.23 | 0.08 | 0.12 | | | | | | |
| P-144 | F2 | A | 0.36 | 0.30 | 0.3 | | | | | | |
| P-145 | F2 | C | 0.71 | 0.58 | 0.68 | 十勝・蘭島・新島島 | | | | | |
| P-146 | F2 | B | 0.27 | 0.25 | 0.18 | | | | | | |
| P-147 | F2 | B | 0.52 | 0.39 | 0.11 | | | | | | |
| P-148 | F2 | A | 0.40 | 0.37 | 0.56 | 物生 | | | | | |
| P-149 | F2 | A | 0.32 | 0.23 | 0.17 | | | | | | |
| P-150 | | | | | | | SB-4・P3に収録 | | | | |
| P-151 | F2 | A | 0.46 | 0.41 | 0.08 | | | | | | |
| P-152 | G3 | | 0.58 | 0.38 | 0.62 | | | | | | |
| P-153 | F2 | B | 0.09 | 0.71 | 0.14 | 上野 | | | | | |
| P-154 | F2 | A | 0.32 | 0.19 | 0.17 | 上野 | | | | | |
| P-155 | F2 | A | 0.46 | 0.30 | 0.18 | 上野 | | | | | |
| P-156 | F2 | B | 0.34 | 0.34 | 0.29 | | | | | | |
| P-157 | F3 | B | 0.33 | 0.28 | 0.03 | | | | | | |
| P-158 | F3 | B | 0.31 | 0.26 | 0.15 | 上野 | | | | | |
| P-159 | F3 | B | 0.44 | 0.35 | 0.19 | | | | | | |
| P-160 | G3 | | 0.38 | 0.14 | 0.55 | | | | | | |
| P-161 | F3 | B | 0.36 | 0.34 | 0.24 | | | | | | |
| P-162 | F3 | B | 0.53 | 0.39 | 0.28 | | | | | | |
| P-163 | G3 | B | 0.18 | 0.14 | 0.25 | | | | | | |
| P-164 | F3 | B | 0.65 | 0.55 | 0.65 | 上野 | | | | | |
| P-165 | F3 | B | 0.30 | 0.21 | 0.24 | | | | | | |
| P-166 | F3 | A | 0.37 | 0.25 | 0.07 | 上野 | | | | | |
| P-167 | F3 | A | 0.58 | 0.33 | 0.30 | 上野 | | | | | |
| P-168 | G3 | C | 0.15 | 0.14 | 0.29 | | | | | | |
| P-169 | G3 | C | 0.42 | 0.32 | 0.24 | | | | | | |
| P-170 | G3 | B | 0.24 | 0.21 | 0.34 | 十勝 | | | | | |
| P-171 | F3 | B | 0.40 | 0.35 | 0.41 | 上野 | | | | | |
| P-172 | F3 | B | 0.23 | 0.21 | 0.13 | | | | | | |
| P-173 | | | | | | | | | | | SB-5・P4に収録 |
| P-174 | F3 | A | 0.24 | 0.21 | 0.26 | 上野・内野 | | | | | |
| P-175 | F3 | B | 0.36 | 0.22 | 0.28 | | | | | | |
| P-176 | F3 | C | 0.28 | 0.20 | | | | | | | |
| P-177 | F3 | B | 0.27 | 0.20 | 0.18 | 上野・長根? | | | | | |
| P-178 | G3 | | 0.29 | 0.20 | 0.18 | | | | | | |
| P-179 | G3 | C | 0.82 | 0.75 | 0.69 | | | | | | |
| P-180 | H3 | B | 0.37 | 0.35 | 0.33 | 上野 | | | | | |
| P-181 | H3 | B | 0.34 | 0.25 | 0.60 | 十勝 | | | | | |
| P-182 | H3 | B | 0.49 | 0.31 | 0.41 | 上野 | | | | | |
| P-183 | F3 | B | 0.36 | 0.32 | 0.31 | | | | | | |
| P-184 | F3 | B | 0.37 | 0.33 | 0.24 | 十勝・道東 | | | | | |
| P-185 | F3 | A | 0.25 | 0.21 | 0.25 | 上野・長根 | | | | | |
| P-186 | F3 | B | 0.53 | 0.40 | 0.49 | 新島島 | | | | | |
| P-187 | H4 | | 0.31 | 0.28 | 0.23 | | | | | | |
| P-188 | H4 | | 0.35 | 0.30 | 0.21 | | | | | | |
| P-189 | H4 | | 0.34 | 0.30 | 0.29 | | | | | | |
| P-190 | H4 | | 0.34 | 0.26 | 0.15 | | | | | | |
| P-191 | H4 | | 0.28 | 0.23 | 0.15 | | | | | | |
| P-192 | H3 | B | 0.50 | 0.50 | 0.48 | 上野・道東・長根 | | | | | |
| P-193 | H4 | | 0.18 | 0.12 | 0.03 | | | | | | |
| P-194 | G4 | A | 0.32 | 0.31 | 0.23 | | | | | | |
| P-195 | G4 | B | 0.59 | 0.54 | 0.28 | 十勝 | | | | | |
| P-196 | G4 | B | 0.38 | 0.26 | 0.32 | 上野 | | | | | |
| P-197 | F4 | B | 0.27 | 0.27 | 0.21 | | | | | | |
| P-198 | F4 | B | 0.39 | 0.29 | 0.14 | | | | | | |
| P-199 | F4 | B | 0.40 | 0.30 | 0.44 | | | | | | |
| P-200 | F2 | A | 0.36 | 0.27 | 0.06 | | | | | | |
| P-201 | F2 | A | 0.29 | 0.26 | 0.10 | | | | | | 編曲不明、著作権不明 |
| P-202 | F2 | A | 0.52 | 0.51 | 0.05 | | | | | | |
| P-203 | F2 | A | 1.29 | 0.68 | 0.61 | | | | | | |
| P-204 | G3 | B | 0.29 | 0.26 | 0.49 | 古十勝・十勝 | | | | | |
| P-205 | H3 | B | 0.55 | 0.36 | 0.37 | 上野・道東・内野 | | | | | |
| P-206 | H3 | B | 0.46 | 0.42 | 0.59 | 上野 | | | | | |
| P-207 | H3 | C | 0.30 | 0.29 | 0.15 | 上野 | | | | | |
| P-208 | G3 | B | 0.44 | 0.38 | 0.50 | 上野・知冠 | | | | | |
| P-209 | H4 | | 0.50 | 0.48 | 0.16 | 十勝 | | | | | |
| P-210 | H4 | B | 0.30 | 0.30 | 0.11 | | | | | | |
| P-211 | H4 | B | 0.28 | 0.22 | 0.21 | | | | | | |
| P-212 | H4 | B | 0.36 | 0.31 | 0.30 | 十勝・道東 | | | | | |
| P-213 | | | | | | | | | | | SB-6・P4に収録 |
| P-214 | | | | | | | | | | | SB-7・P4に収録 |
| P-215 | H4 | B | 0.22 | 0.22 | 0.39 | 道東 | | | | | |
| P-216 | H4 | B | 0.38 | 0.28 | 0.33 | 上野 | | | | | |
| P-217 | H4 | C | 0.43 | 0.33 | 0.21 | 十勝・道東 | | | | | |
| P-218 | | | | | | | | | | | SB-6・P1に収録 |
| P-219 | H4 | B | 0.37 | 0.32 | 0.30 | | | | | | |
| P-220 | H4 | B | 0.43 | 0.42 | 0.43 | | | | | | |
| P-221 | H4 | C | 0.35 | 0.34 | 0.33 | | | | | | |
| P-222 | | | | | | | | | | | |
| P-223 | H4 | B | 0.30 | 0.28 | 0.29 | | | | | | |
| P-224 | | | | | | | | | | | SB-7・P2に収録 |
| P-225 | G4 | B | 0.33 | 0.30 | 0.58 | 上野 | | | | | |
| P-226 | G4 | B | 0.38 | 0.28 | 0.20 | | | | | | |
| P-227 | G4 | B | 0.24 | 0.20 | 0.22 | | | | | | |
| P-228 | | | | | | | | | | | SB-6・P4に収録 |
| P-229 | G4 | B | 0.28 | 0.22 | 0.19 | | | | | | |
| P-230 | G4 | A | 0.24 | 0.24 | 0.39 | 十勝・道東 | | | | | |
| P-231 | | | | | | | | | | | |
| P-232 | G4 | A | 0.26 | 0.25 | 0.31 | | | | | | |
| P-233 | G4 | B | 0.28 | 0.25 | 0.12 | | | | | | |
| P-234 | G4 | A | 0.21 | 0.21 | 0.18 | 上野 | | | | | |
| P-235 | G4 | B | 0.29 | 0.29 | 0.43 | | | | | | |
| P-236 | G4 | B | 0.29 | 0.26 | 0.17 | | | | | | |
| P-237 | G4 | B | 0.30 | 0.24 | 0.30 | 上野 | | | | | |
| P-238 | G4 | A | 0.36 | 0.27 | 0.45 | 上野 | | | | | |
| P-239 | G4 | B | 0.28 | 0.20 | 0.15 | | | | | | |
| P | | | | | | | | | | | |

第9表 ビット一覧表(3)

| 番号 | 位置 | 長さ | 初期値 | 戻り値 | 出上り動作 | 備考 |
|------|----|----|--------|--------|--------|-------------|
| P241 | G4 | A | 0.45 | 0.11 | (0.38) | |
| P242 | G4 | B | 0.31 | 0.30 | (0.22) | |
| P243 | G4 | B | 0.25 | 0.19 | (0.23) | |
| P244 | G4 | B | 0.30 | 0.27 | (0.40) | |
| P245 | G4 | A | 0.41 | 0.25 | (0.42) | 十層 |
| P246 | G4 | A | 0.20 | 0.22 | (0.21) | 十層 |
| P247 | G4 | B | 0.34 | 0.31 | (0.30) | |
| P248 | F9 | A | 0.32 | 0.20 | 0.26 | |
| P249 | H4 | A | 0.31 | 0.27 | (0.21) | |
| P250 | H4 | B | 0.37 | 0.35 | 0.24 | 十層 |
| P251 | H3 | B | 0.37 | 0.32 | 0.38 | 十層 |
| P252 | G3 | B | 0.29 | 0.23 | 0.32 | |
| P253 | G3 | B | 0.28 | 0.24 | 0.19 | 十層 |
| P254 | F2 | B | 0.28 | 0.26 | 0.55 | 比化物質含む |
| P255 | F2 | B | 0.19 | 0.17 | (0.00) | |
| P256 | F2 | B | (0.56) | 0.44 | 0.40 | |
| P257 | G2 | C | 0.45 | 0.37 | 0.29 | 比化物質含む |
| P258 | G2 | B | 0.24 | 0.21 | (0.11) | |
| P259 | F2 | B | 0.67 | 0.57 | 0.40 | 六・十層・十層 |
| P260 | G4 | A | 0.45 | 0.41 | (0.33) | SB-9・P3に実装 |
| P261 | G4 | A | 0.59 | 0.53 | (0.24) | |
| P262 | F5 | B | 0.28 | 0.24 | 0.22 | |
| P263 | F5 | B | 0.30 | 0.33 | 0.59 | |
| P264 | F5 | A | 0.46 | 0.46 | 0.19 | |
| P265 | F9 | A | 0.37 | 0.33 | 0.27 | 十層 |
| P266 | F5 | A | 0.51 | 0.33 | 0.12 | 測定 |
| P267 | F3 | C | 0.34 | 0.29 | 0.21 | |
| P268 | F3 | B | 0.31 | 0.12 | 0.09 | SB-1・P7に実装 |
| P269 | F3 | B | 0.51 | 0.44 | 1.06 | |
| P270 | F3 | B | 0.42 | (0.38) | 0.17 | |
| P271 | G4 | A | 0.37 | 0.35 | (0.30) | |
| P272 | F4 | B | 0.29 | 0.20 | 0.71 | 十層・測定 |
| P273 | E3 | B | 0.22 | 0.16 | 0.17 | |
| P274 | K3 | B | 0.26 | 0.23 | 0.13 | |
| P275 | G2 | A | 0.36 | 0.33 | (0.34) | |
| P276 | E2 | B | 0.45 | 0.30 | 0.21 | |
| P277 | G4 | A | 0.49 | 0.31 | 0.39 | |
| P278 | E2 | B | 0.40 | 0.26 | 0.30 | 十層・土層質? |
| P279 | E2 | B | 0.39 | 0.32 | 0.57 | |
| P280 | E2 | B | 0.42 | 0.38 | 0.27 | 十層 |
| P281 | E2 | C | 0.50 | 0.49 | 0.41 | 十層・測定 |
| P282 | E3 | C | 0.35 | 0.34 | 0.17 | 十層 |
| P283 | F4 | C | 0.21 | 0.21 | 0.06 | 測定 |
| P284 | G3 | C | 0.39 | 0.26 | 0.45 | |
| P285 | G3 | C | 0.29 | 0.18 | 0.27 | |
| P286 | F4 | B | (0.33) | 0.26 | 0.34 | |
| P287 | F4 | B | 0.47 | 0.43 | 0.19 | |
| P288 | F4 | B | 0.38 | 0.30 | 0.14 | |
| P289 | F4 | B | (3.56) | 0.26 | 0.21 | |
| P290 | F4 | B | 0.25 | 0.24 | 0.44 | |
| P291 | F4 | B | 0.35 | 0.33 | 0.28 | |
| P292 | F4 | B | 0.38 | 0.31 | 0.12 | 十層 |
| P293 | F4 | B | 0.47 | 0.37 | 0.12 | |
| P294 | F4 | B | 0.38 | 0.38 | 0.30 | 十層 |
| P295 | F4 | B | 0.45 | 0.39 | 0.19 | 十層 |
| P296 | F4 | B | 0.37 | 0.33 | 0.11 | |
| P297 | F4 | B | 0.41 | 0.36 | 0.14 | |
| P298 | F4 | B | 0.39 | 0.23 | 0.17 | |
| P299 | F4 | B | (0.20) | 0.25 | 0.31 | |
| P300 | F4 | B | 0.46 | 0.33 | 0.56 | |
| P301 | F4 | B | 0.26 | 0.20 | 0.15 | 十層 |
| P302 | F4 | B | 0.56 | 0.27 | 0.12 | |
| P303 | F4 | B | 0.21 | (0.12) | 0.08 | |
| P304 | F3 | C | 0.22 | (0.20) | — | |
| P305 | F3 | B | 0.28 | 0.23 | (0.13) | |
| P306 | F4 | B | 0.56 | 0.56 | 0.24 | |
| P307 | F4 | B | (0.31) | 0.30 | 0.20 | |
| P308 | F4 | B | 0.35 | 0.28 | 0.28 | 十層 |
| P309 | F4 | B | 0.38 | 0.22 | 0.46 | |
| P310 | G3 | B | 0.54 | 0.30 | 0.42 | |
| P311 | G3 | B | 0.27 | 0.22 | 0.31 | 古土層・土層 |
| P312 | G3 | B | 0.24 | 0.23 | 0.29 | |
| P313 | G3 | B | 0.42 | 0.39 | 0.56 | 十層 |
| P314 | G3 | B | 0.29 | (0.20) | 0.11 | |
| P315 | E3 | B | 0.27 | 0.21 | 0.25 | 六・十層・十層・測定 |
| P316 | E3 | B | 0.40 | 0.30 | 0.32 | |
| P317 | E3 | B | 0.48 | 0.43 | 0.76 | |
| P318 | E3 | B | 0.33 | 0.23 | 0.27 | |
| P319 | E3 | B | 0.44 | (0.20) | 0.72 | 十層 |
| P320 | D3 | B | 0.38 | 0.33 | 0.76 | 十層・測定 |
| P321 | D3 | B | 0.42 | 0.33 | 0.54 | 十層・測定 |
| P322 | D3 | B | 0.42 | 0.20 | 0.21 | 十層 |
| P323 | D3 | B | 0.25 | 0.24 | 0.57 | 内面・カワラケ |
| P324 | D3 | B | 0.23 | 0.21 | 0.25 | |
| P325 | D3 | B | 0.37 | 0.35 | 0.36 | 測定 |
| P326 | D3 | B | 0.25 | 0.24 | 0.31 | 十層 |
| P327 | D4 | A | 0.55 | 0.47 | 0.25 | |
| P328 | D4 | A | 0.29 | 0.21 | 0.38 | |
| P329 | D3 | B | 0.32 | 0.27 | 0.34 | 測定 |
| P330 | D3 | B | 0.34 | 0.26 | 0.21 | 十層 |
| P331 | D3 | B | 0.26 | 0.19 | 0.35 | 十層 |
| P332 | D4 | B | 0.31 | 0.25 | 0.52 | |
| P333 | D2 | B | 0.26 | 0.26 | 0.57 | |
| P334 | E3 | B | 0.43 | (0.32) | 0.18 | 十層 |
| P335 | E3 | B | 0.40 | 0.44 | 0.38 | |
| P336 | E4 | B | 0.38 | (0.25) | 0.20 | 十層 |
| P337 | E4 | B | 0.55 | 0.39 | 0.43 | |
| P338 | D4 | B | 0.31 | 0.23 | 0.25 | |
| P339 | D4 | B | 0.35 | 0.33 | 0.28 | 十層 |
| P340 | D4 | C | 0.44 | 0.43 | 0.50 | 十層 |
| P321 | E3 | B | 0.40 | 0.30 | 0.32 | |
| P322 | F3 | B | 0.44 | 0.38 | 0.12 | |
| P323 | F3 | B | 0.45 | 0.30 | 0.07 | |
| P324 | F4 | B | 0.28 | 0.25 | 0.19 | |
| P325 | | | | | | SB-9・P2に実装 |
| P326 | | | | | | SB-1・P4に実装 |
| P327 | F4 | B | (0.51) | 0.43 | 0.52 | 十層 |
| P328 | G3 | B | 0.36 | (0.15) | 0.32 | |
| P329 | F4 | B | 0.45 | 0.35 | 0.24 | 十層 |
| P330 | F4 | B | 0.29 | 0.28 | 0.09 | 十層 |
| P331 | | | | | | SB-9・P6に実装 |
| P332 | E3 | B | 0.33 | 0.21 | 0.46 | 十層・測定 |
| P333 | E3 | B | 0.63 | 0.60 | 0.36 | 十層・測定 |
| P334 | E3 | B | 0.23 | 0.21 | 0.41 | |
| P335 | E3 | B | 0.40 | 0.38 | 0.17 | 十層・カワラケ |
| P336 | H3 | B | 0.17 | (0.14) | 0.10 | 測定値あり、説明あり |
| P337 | H4 | B | 0.49 | 0.42 | 0.13 | 十層 |
| P338 | H4 | B | 0.35 | 0.33 | 0.40 | 十層質? |
| P339 | H4 | B | 0.44 | 0.41 | 0.37 | |
| P340 | H4 | B | 0.47 | 0.26 | 0.27 | 古土層・土層 |
| P341 | H4 | B | 0.53 | 0.39 | 0.58 | (測・測定・カワラケ |
| P342 | H4 | B | 0.41 | 0.32 | 0.23 | |
| P343 | | | | | | SB-9・P1に実装 |
| P344 | H4 | B | 0.23 | 0.22 | 0.48 | 十層 |
| P345 | E4 | B | 0.51 | 0.37 | 0.66 | 十層 |
| P346 | | | | | | SB-9・P6に実装 |
| P347 | E4 | B | 0.29 | 0.24 | 0.36 | |
| P348 | E4 | B | 0.31 | (0.18) | 0.13 | |
| P349 | E4 | B | 0.52 | 0.32 | 0.75 | 十層・内面 |
| P350 | F4 | B | 0.47 | (0.41) | 0.18 | 十層 |
| P351 | F4 | B | 0.30 | 0.27 | (0.23) | |
| P352 | F4 | B | 0.55 | 0.46 | 0.40 | 十層 |
| P353 | F4 | B | 0.37 | 0.34 | 0.36 | 十層 |
| P354 | F4 | B | 0.41 | 0.30 | 0.36 | |
| P355 | F4 | C | 0.80 | 0.58 | 0.32 | 十層 |
| P356 | F4 | B | 0.81 | 0.53 | 0.58 | 十層 |
| P357 | F4 | B | 0.58 | 0.48 | 0.37 | 十層 |
| P358 | F4 | B | 0.40 | 0.32 | 0.06 | |
| P359 | D2 | B | 0.41 | 0.29 | 0.44 | |
| P360 | D2 | B | 0.25 | 0.24 | 0.10 | |
| P361 | D2 | B | (0.27) | 0.24 | 0.21 | |
| P362 | D2 | B | 0.25 | 0.21 | 0.34 | |
| P363 | D3 | B | 0.25 | 0.20 | 0.18 | |
| P364 | D3 | B | 0.30 | 0.27 | 0.17 | |
| P365 | D3 | B | 0.28 | 0.27 | 0.25 | 十層 |
| P366 | | | | | | SB-10・P5に実装 |
| P367 | D2 | B | 0.36 | 0.32 | 0.34 | |
| P368 | D2 | B | 0.71 | (0.43) | 0.20 | |
| P369 | H3 | A | 0.54 | 0.30 | 0.49 | |
| P370 | D3 | B | 0.19 | 0.18 | 0.32 | |
| P371 | E3 | B | 0.31 | 0.27 | (0.22) | |
| P372 | D3 | C | 0.22 | 0.22 | (0.33) | |
| P373 | | | | | | SB-9・P7に実装 |
| P374 | E3 | B | 0.43 | 0.33 | (0.17) | |
| P375 | E3 | B | 0.33 | 0.29 | 0.24 | |
| P376 | E3 | B | 0.48 | 0.43 | 0.76 | |
| P377 | D3 | B | 0.33 | 0.23 | 0.27 | |
| P378 | D3 | B | 0.44 | (0.20) | 0.72 | 十層 |
| P379 | D3 | B | 0.38 | 0.33 | 0.76 | 十層・測定 |
| P380 | D3 | B | 0.42 | 0.33 | 0.54 | 十層・測定 |
| P381 | D3 | B | 0.42 | 0.20 | 0.21 | 十層 |
| P382 | D3 | B | 0.25 | 0.24 | 0.57 | 内面・カワラケ |
| P383 | D3 | B | 0.23 | 0.21 | 0.25 | |
| P384 | D3 | B | 0.37 | 0.35 | 0.36 | 測定 |
| P385 | | | | | | SB-9・P6に実装 |
| P386 | D3 | B | 0.25 | 0.24 | 0.31 | 十層 |
| P387 | D4 | A | 0.55 | 0.47 | 0.25 | |
| P388 | D4 | A | 0.29 | 0.21 | 0.38 | |
| P389 | D3 | B | 0.32 | 0.27 | 0.34 | 測定 |
| P390 | D3 | B | 0.34 | 0.26 | 0.21 | 十層 |
| P391 | D3 | B | 0.26 | 0.19 | 0.35 | 十層 |
| P392 | D4 | B | 0.31 | 0.25 | 0.52 | |
| P393 | D2 | B | 0.26 | 0.26 | 0.57 | |
| P394 | E3 | B | 0.43 | (0.32) | 0.18 | 十層 |
| P395 | E3 | B | 0.40 | 0.44 | 0.38 | |
| P396 | E4 | B | 0.38 | (0.25) | 0.20 | 十層 |
| P397 | D2 | B | 0.55 | 0.39 | 0.43 | |
| P398 | D4 | B | 0.31 | 0.23 | 0.25 | |
| P399 | D4 | B | 0.35 | 0.33 | 0.28 | 十層 |
| P400 | D4 | C | 0.44 | 0.43 | 0.50 | 十層 |

第10表 ビット一覧表(4)

| 番号 | 片数 | 種目 | 規格 | 規格 | 規格 | 片土質物 | 備考 | 番号 | 片数 | 種目 | 規格 | 規格 | 規格 | 片土質物 | 備考 |
|-------|----|----|--------|--------|--------|------|----|-------|----|--------|--------|--------|--------|-----------|----|
| P-401 | D4 | B | 0.35 | (0.25) | 0.23 | | | P-481 | C3 | A | 0.10 | 0.32 | 0.35 | | |
| P-402 | D4 | B | 0.42 | 0.34 | 0.30 | | | P-482 | C3 | A | 0.52 | 0.34 | 0.25 | 土部 | |
| P-403 | D4 | B | 0.59 | 0.40 | 0.64 | | | P-483 | C3 | B | 0.44 | 0.43 | 0.25 | | |
| P-404 | C3 | B | 0.36 | 0.26 | 0.61 | | | P-484 | C3 | B | 0.24 | 0.23 | 0.26 | 土部 | |
| P-405 | D4 | B | 0.42 | 0.35 | 0.26 | | | P-485 | C3 | A | 0.44 | 0.32 | 0.11 | 土部 | |
| P-406 | D4 | B | 0.42 | 0.25 | 0.33 | | | P-486 | C3 | B | 0.66 | 0.37 | 0.32 | | |
| P-407 | D4 | B | 0.52 | 0.29 | 0.54 | | | P-487 | C3 | B | 0.49 | 0.41 | 0.38 | 土部 | |
| P-408 | | | | | | | | P-488 | C3 | B | 0.49 | 0.46 | 0.09 | 土部 | |
| P-409 | D4 | B | 0.36 | 0.28 | 0.49 | | | P-489 | C4 | B | 0.39 | 0.36 | 0.18 | | |
| P-410 | D4 | C | 0.38 | 0.57 | 0.26 | | | P-490 | C4 | B | 0.27 | 0.23 | 0.13 | | |
| P-411 | D4 | B | 0.81 | 0.39 | 0.41 | | | P-491 | C4 | A | 0.08 | 0.44 | 0.27 | | |
| P-412 | D4 | B | 0.44 | 0.39 | 0.10 | | | P-492 | C4 | B | 0.24 | 0.23 | 0.26 | | |
| P-413 | | | | | | | | P-493 | C4 | B | 0.36 | 0.35 | 0.31 | 土部 | |
| P-414 | C3 | B | 0.66 | 0.38 | 0.74 | | | P-494 | C4 | B | (0.47) | (0.43) | 0.20 | | |
| P-415 | F3 | B | (0.30) | 0.28 | 0.49 | | | P-495 | C1 | A | 0.38 | 0.31 | 0.17 | 土部 | |
| P-416 | C3 | B | 0.22 | 0.21 | 0.03 | | | P-496 | C2 | B | 0.56 | 0.52 | 0.22 | 占7割、土部、鉛部 | |
| P-417 | F2 | C | 0.53 | 0.50 | 0.56 | | | P-497 | C2 | B | 0.29 | 0.23 | 0.12 | | |
| P-418 | F2 | B | 0.41 | 0.39 | 0.71 | | | P-498 | C2 | A | 0.38 | 0.32 | 0.26 | 土部 | |
| P-419 | G4 | A | 0.60 | 0.58 | 0.52 | | | P-499 | C2 | B | 0.52 | 0.37 | 0.22 | | |
| P-420 | | | | | | | | P-500 | H2 | A | 0.63 | 0.28 | 0.15 | | |
| P-421 | B3 | B | 0.35 | (0.19) | 0.21 | | | P-501 | C2 | B | 0.34 | 0.33 | 0.21 | | |
| P-422 | B3 | B | 0.33 | 0.32 | 0.63 | | | P-502 | B2 | A | 0.35 | 0.34 | 0.19 | | |
| P-423 | B3 | B | 0.31 | 0.22 | 0.21 | | | P-503 | F4 | B | 0.52 | (0.17) | 0.22 | | |
| P-424 | F3 | C | (0.31) | 0.30 | 0.25 | | | P-504 | C2 | B | 0.59 | 0.24 | 0.23 | | |
| P-425 | F3 | B | 0.29 | 0.26 | 0.24 | | | P-505 | C2 | B | 0.24 | 0.23 | 0.06 | 土部 | |
| P-426 | D3 | A | 0.28 | 0.28 | 0.40 | | | P-506 | B2 | B | 0.41 | 0.31 | 0.53 | 土部、鉛部 | |
| P-427 | F2 | B | 0.37 | 0.28 | 0.37 | | | P-507 | B2 | B | 0.51 | 0.35 | 0.18 | 土部、鉛部 | |
| P-428 | D2 | B | 0.58 | 0.59 | 0.49 | | | P-508 | B2 | B | 0.29 | 0.23 | 0.19 | | |
| P-429 | D2 | B | 0.68 | 0.54 | 0.46 | | | P-509 | B2 | B | 0.71 | 0.47 | 0.03 | 土部 | |
| P-430 | D3 | B | 0.30 | 0.24 | 0.18 | | | P-510 | B2 | B | 0.28 | 0.19 | 0.15 | | |
| P-431 | G4 | A | 0.28 | 0.26 | 0.23 | | | P-511 | B2 | B | 0.24 | 0.22 | 0.19 | 土部 | |
| P-432 | E2 | B | 0.41 | 0.32 | 0.14 | | | P-512 | C2 | B | 0.57 | 0.38 | 0.18 | 土部 | |
| P-433 | G4 | B | 0.34 | 0.27 | (0.20) | | | P-513 | C2 | B | 0.19 | 0.19 | 0.09 | | |
| P-434 | | | | | | | | P-514 | C2 | B | 0.41 | 0.27 | 0.10 | | |
| P-435 | G4 | B | 0.27 | 0.23 | (0.10) | | | P-515 | C2 | B | 0.48 | 0.42 | 0.61 | 土部、鉛部、土部鉛 | |
| P-436 | C4 | B | 0.20 | 0.18 | (0.10) | | | P-516 | C2 | A | 0.35 | 0.24 | 0.15 | | |
| P-437 | C4 | B | 0.39 | 0.29 | 0.15 | | | P-517 | C2 | B | 0.41 | 0.31 | 0.33 | | |
| P-438 | D3 | B | 0.35 | 0.30 | 0.17 | | | P-518 | C2 | B | 0.24 | 0.24 | 0.17 | | |
| P-439 | D3 | B | 0.52 | 0.31 | 0.20 | | | P-519 | C4 | B | 0.31 | 0.27 | (0.15) | | |
| P-440 | C3 | B | 0.51 | 0.31 | (0.20) | | | P-520 | C2 | B | 0.31 | 0.25 | 0.33 | | |
| P-441 | C2 | B | 0.38 | 0.32 | 0.36 | | | P-521 | C2 | B | 0.33 | 0.31 | 0.34 | | |
| P-442 | C2 | A | 0.35 | 0.27 | 0.36 | | | P-522 | C2 | A | 0.33 | 0.25 | 0.04 | | |
| P-443 | D2 | B | 0.82 | 0.51 | 0.16 | | | P-523 | B2 | A | 0.34 | 0.25 | 0.13 | 土部 | |
| P-444 | G4 | A | 0.22 | 0.21 | 0.06 | | | P-524 | B2 | B | 0.44 | 0.39 | 0.29 | 土部 | |
| P-445 | D3 | A | 0.46 | (0.41) | 0.22 | | | P-525 | B2 | A | 0.38 | 0.32 | 0.66 | | |
| P-446 | | | | | | | | P-526 | B2 | A | 0.46 | 0.37 | 0.24 | 土部 | |
| P-447 | C4 | A | 0.30 | (0.22) | 0.18 | | | P-527 | B2 | B | 0.40 | 0.30 | 0.27 | | |
| P-448 | D3 | B | 0.36 | 0.34 | 0.45 | | | P-528 | C2 | B | 0.31 | 0.31 | 0.10 | | |
| P-449 | D3 | B | 0.37 | 0.31 | 0.09 | | | P-529 | C3 | B | 0.53 | 0.49 | 0.22 | | |
| P-450 | D3 | B | 0.32 | (0.28) | 0.09 | | | P-530 | C3 | A | 0.25 | (0.17) | 0.12 | | |
| P-451 | D2 | A | 0.41 | 0.39 | 0.14 | | | P-531 | B3 | A | 0.22 | (0.10) | 0.22 | 土部 | |
| P-452 | D2 | A | 0.34 | 0.30 | 0.06 | | | P-532 | B3 | A | 0.32 | 0.29 | 0.49 | | |
| P-453 | D2 | B | 0.50 | (0.35) | 0.07 | | | P-533 | B3 | B | 0.54 | 0.41 | 0.11 | | |
| P-454 | D2 | B | 0.29 | 0.25 | 0.18 | | | P-534 | B3 | B | 0.24 | 0.23 | 0.05 | | |
| P-455 | D2 | B | 0.25 | (0.22) | 0.12 | | | P-535 | H1 | A | 0.28 | (0.14) | (0.18) | | |
| P-456 | D2 | B | 0.27 | 0.23 | 0.39 | | | P-536 | F4 | B | 0.43 | 0.32 | 0.43 | 土部、鉛部 | |
| P-457 | D2 | A | 0.25 | 0.23 | 0.12 | | | P-537 | | | | | | | |
| P-458 | F4 | B | 0.32 | 0.23 | 0.26 | | | P-538 | F4 | B | 0.26 | 0.23 | 0.24 | 土部 | |
| P-459 | D3 | B | 0.31 | 0.30 | 0.32 | | | P-539 | F4 | B | 0.39 | 0.34 | 0.39 | 土部 | |
| P-460 | D3 | A | 0.27 | 0.27 | 0.09 | | | P-540 | F4 | B | 0.18 | 0.17 | 0.32 | | |
| P-461 | D3 | B | 0.66 | 0.27 | 0.26 | | | P-541 | F2 | B | 0.24 | 0.29 | 0.26 | 土部 | |
| P-462 | D3 | B | 0.64 | 0.66 | 0.26 | | | P-542 | F2 | B | 0.55 | 0.22 | (0.42) | 鉛部 | |
| P-463 | D3 | B | 0.54 | 0.36 | 0.27 | | | P-543 | F2 | B | 0.46 | 0.45 | 0.68 | 鉛部 | |
| P-464 | D3 | B | 0.54 | 0.37 | 0.37 | | | P-544 | D3 | B | 0.32 | 0.30 | 0.28 | 土部 | |
| P-465 | C3 | B | 0.23 | 0.23 | 0.21 | | | P-545 | D3 | B | 0.29 | 0.27 | 0.2 | 土部 | |
| P-466 | C2 | B | 0.31 | 0.29 | 0.26 | | | P-546 | H3 | B | 0.51 | 0.27 | 0.38 | | |
| P-467 | C2 | B | 0.43 | 0.34 | 0.30 | | | P-547 | E2 | B | 0.74 | 0.47 | (0.28) | | |
| P-468 | C2 | B | 0.81 | 0.40 | 0.32 | | | P-548 | E3 | B | 0.18 | 0.18 | (0.07) | | |
| P-469 | C2 | A | 0.27 | 0.20 | 0.19 | | | P-549 | E3 | B | 0.53 | 0.47 | (0.31) | 土部 | |
| P-470 | C2 | A | 0.51 | (0.47) | 0.10 | | | P-550 | B3 | B | 0.55 | 0.49 | 0.51 | | |
| P-471 | C2 | B | 0.54 | 0.36 | 0.27 | | | P-551 | F4 | B | 0.39 | (0.25) | 0.20 | 土部 | |
| P-472 | C2 | A | (0.30) | (0.16) | 0.06 | | | P-552 | F4 | B | 0.41 | (0.34) | 0.38 | | |
| P-473 | C3 | B | 0.41 | 0.22 | 0.10 | | | P-553 | G5 | (0.37) | 0.28 | (0.29) | 土部、鉛部 | | |
| P-474 | C3 | B | 0.45 | 0.26 | 0.21 | | | P-554 | F4 | B | 0.32 | 0.25 | 0.28 | 土部 | |
| P-475 | C3 | A | (0.58) | 0.52 | 0.07 | | | P-555 | | | | | | | |
| P-476 | C2 | B | (0.50) | 0.34 | 0.06 | | | P-556 | H5 | 0.54 | 0.52 | (0.60) | 占7割、土部 | | |
| P-477 | C3 | B | 0.61 | 0.61 | 0.09 | | | P-557 | | | | | | | |
| P-478 | C3 | B | 0.36 | 0.32 | 0.06 | | | P-558 | G4 | 0.25 | 0.17 | 0.22 | | | |
| P-479 | C3 | B | 0.30 | (0.15) | 0.12 | | | P-559 | G4 | 0.30 | 0.21 | 0.29 | | | |
| P-480 | C3 | A | 0.33 | 0.28 | 0.28 | | | P-560 | G4 | 0.24 | 0.14 | 0.23 | | | |

VI. 出土した遺物

今回出土した遺物量は、土器や石製品などを含め、遺物収納箱(外寸44×60×15cm)に換算して7箱分である。土器のほぼ全てが小破片での出土であり、復元率は低い。そのため、それらの時期判断を行うことが難しいのであるが、ここではあえて出土遺物の時代的様相を、傾向として概観しておく。

出土した土器は土師器破片を主体とし、古式土師器の破片も少量存在する。土師器との量的な差は大きいものの、須恵器破片がそれに次ぐ。土師器は小破片のため時期判断し難いが、奈良・平安時代の破片はそれほど多くない印象を持った。よって、古墳時代の土器が主体的であると思われ、中・後期の帰属が多いと判断した。ただし、須恵器では奈良・平安時代、特に平安時代に帰属する破片が多い。また、灰胎陶器の出土量はわずかで、緑釉陶器は極小破片が1点のみ出土した。羽釜の小破片もわずかに出土しており、いわゆる土師質土器などと称されるようなクロク使用酸化焰焼成の土器破片も出土した。

中世では軟質陶器が出土したが、その数量は全体的には少ない。中でも内耳鍋の破片が多く、すり鉢破片がわずかに含まれる。カワラケの破片も出土したが、こちらもわずかである。中世の陶磁器も少ないながら出土している。一方で縄文土器や弥生土器の小破片は数点の出土であり、近世から近・現代の出土遺物もわずかである。

石製品類では石製模造品が古墳時代の、石製紡錘車が奈良・平安時代の帰属である。穀臼白や茶臼、板碑は中世に帰属する。砥石については中世以前と考えられる。磨石の帰属時期は不明であり、縄文時代の遺物の可能性もある。また、金属製品では銭貨が6点出土しており、中世の遺物と判断した。その他、鉄製品の出土が少量であったが、時期・用途不明である。

以上、出土遺物の時代的様相をまとめれば、古墳時代中・後期の土器が最も多く、前期の土器は全体的では少ない。次いで奈良・平安時代の土器があるが、とりわけ平安時代の帰属が多いと考えた。中世の土器類の出土量は全体的には少ないが、中でも内耳鍋の破片が多い。石臼類や板碑、銭貨も中世に帰属する。一方で、縄文時代・弥生時代・近世・近現代の遺物は極めて少量であった。

前記したように出土遺物の時期判断には限界性を伴うため、その精度は粗いのだが、本遺跡出土遺物の時代的傾向をうかがうことができよう。参考までに土坑・ピット出土遺物に限り、両者をあわせて集計数を掲示しておく。総数2915点中、時期不明土師器が2339点・時期不明須恵器が159点。古墳時代の帰属が214点、奈良・平安時代の帰属が144点、中世土器が55点、近世以降の陶磁器が4点である。

本書で掲載した遺物は149点である。内訳は縄文時代5点、弥生時代3点、古墳時代28点(前期11点・中後期17点)、奈良・平安時代49点、中世以降40点、石製品18点、銭貨6点である。不明鉄製品は掲載しなかった。各時代の掲載点数は、前項で述べた時代的様相を反映していない。このことは、中世遺物は本遺跡の性格を示すと考えたために多く掲載し、奈良・平安時代の遺物は竪穴住居跡出土遺物を多く掲載したためである。総じて古墳時代の遺物は小破片が多く、器形を把握できる個体が少ないためである。

実測図版では、時代ごとに区分して出土土器を掲載した。その中でも、古墳時代では前期と中・後期の時期ごとに、奈良・平安時代では出土遺構ごとに、中世では器種ごとに小区分してまとめた。また、石製品と銭貨はそれだけでまとめている。全体的な不統一感と、出土遺構に即してみる場合の煩雑さは否めないが、遺構内での出土遺物の帰属時代に幅がある場合も多く、今回はこのような掲載方法とした。

個別の実測図では小破片も掲載の対象とした。復元実測しない破片資料の提示では、断面図の左側に外面の拓本(または図)を、右側に内面の拓本(または図)を貼付することを原則とした。ただし№87内耳鍋破片のみ、内外面の位置を逆に掲載している。また、内面を省略して掲載した場合もある。

出土遺物の観察内容は、第12～14表に記載した。

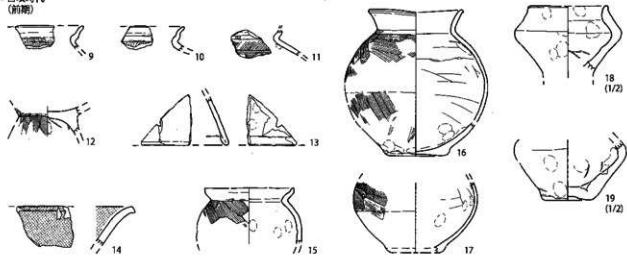
縄文時代



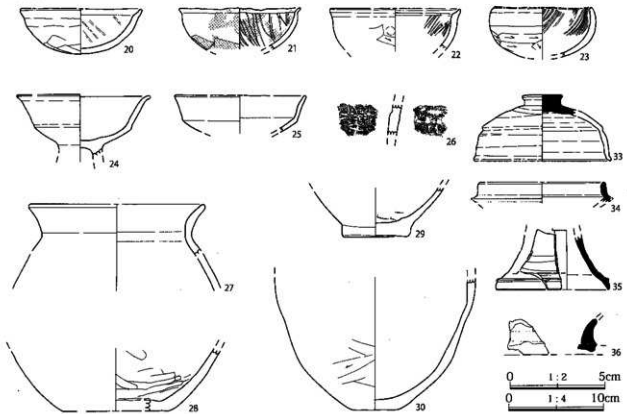
弥生時代



古墳時代
(前期)



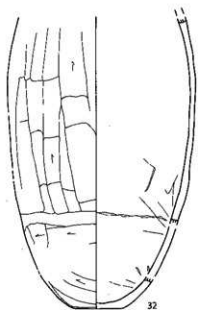
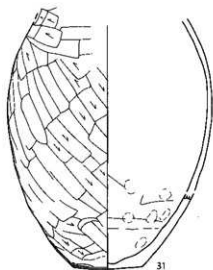
(中・後期)



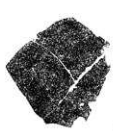
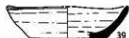
0 1:2 5cm
0 1:4 10cm

第25図 出土遺物(1)

(中・後期)



奈良・平安時代
(SI-1)



(SI-2)

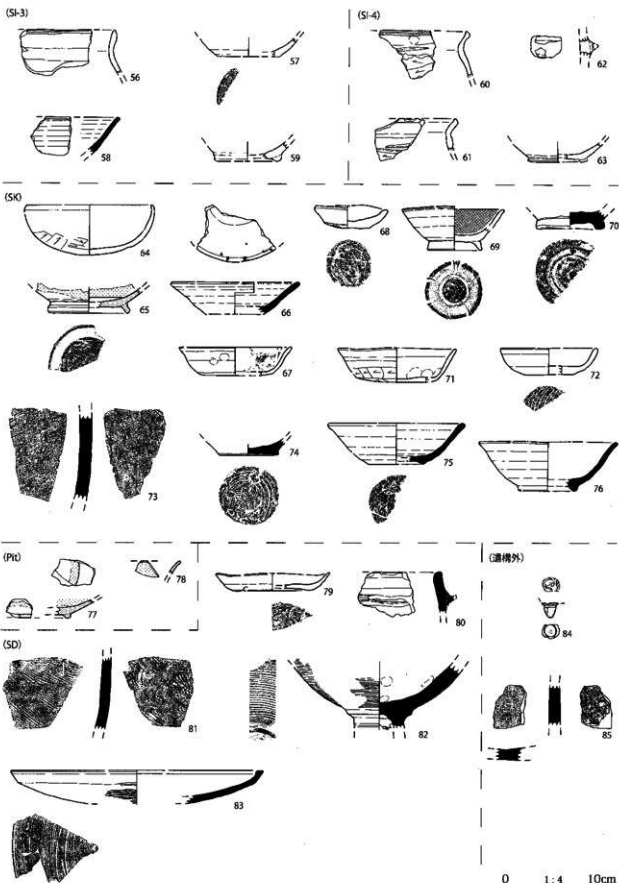


(SI-1・2)



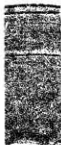
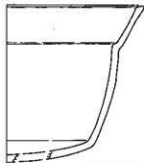
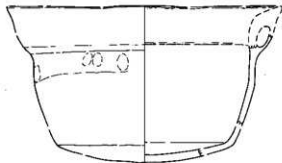
0 1:4 10cm

第26図 出土遺物(2)

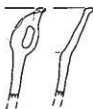


第27図 出土遺物(3)

中世
(内耳輪)



86



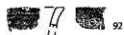
87



88



89



92



90



91



93



95



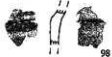
97



94



96



98



102



99



101



103



100

(すり鉢)



104



105



106



107



108

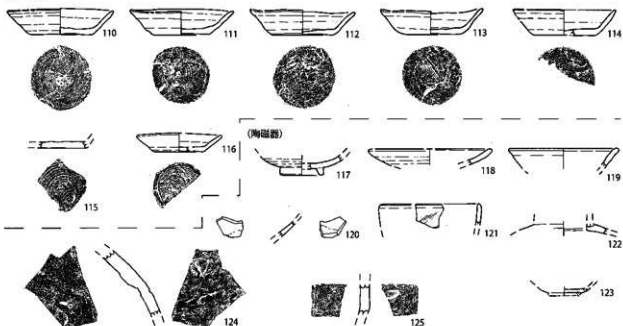


109

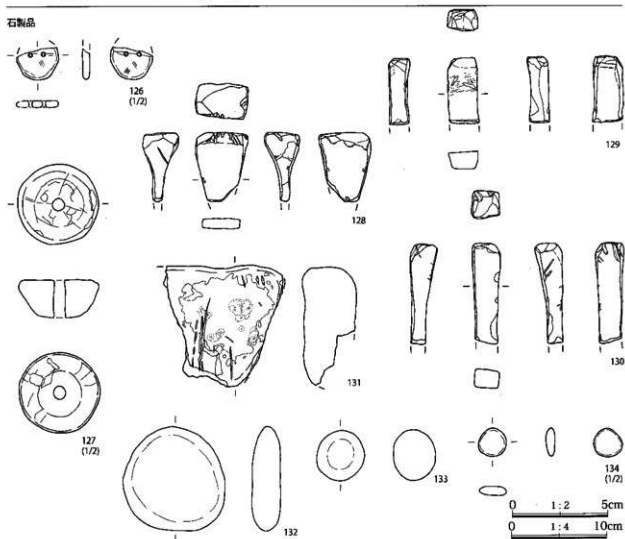


第28図 出土遺物(4)

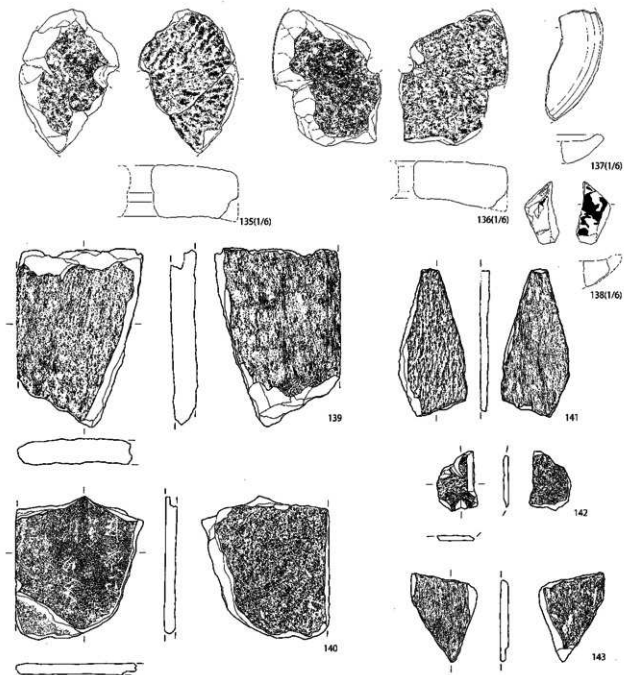
(カワラケ)



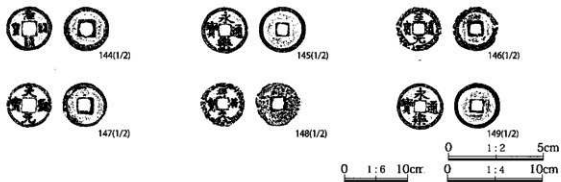
石製品



第29図 出土遺物(5)



錢貨



第30圖 出土遺物(6)

第12表 遺物観察表(1)

凡例：計測値の単位はcm。()は測定値、()は推定値を示す。右側中央欄以下の数値の単位はg。以下、同。14頁まで同一。

| 番号 | 遺構 | 出土位置 | 種類・形類 | 計測値 | | | 形状 | 色調 | 保存状況 | 説・整理方法の特徴など |
|----|-------|--------|---------|-----|----|-------|---------|------|-------|----------------------|
| | | | | 口径 | 高さ | 重量 | | | | |
| 1 | P-384 | 礎十 | 縄文一帯 漆器 | - | - | (3.3) | 磨光・良好 | 磨 | 破片 | 中層L1区。既述による層内区画の、中層 |
| 2 | 遺構付 | 遺構付 中層 | 縄文一帯 漆器 | - | - | (3.5) | 磨光・中・良好 | 磨 | 破片 | 中層L1区。既述による層内区画の、中層 |
| 3 | SD-4 | 礎上 | 縄文一帯 漆器 | - | - | (4.2) | 磨光・中・不良 | に深い磨 | 口縁部破片 | 縄文一帯。T層下部より層内区画の、中層 |
| 4 | SD-5 | 礎上 | 縄文一帯 漆器 | - | - | (2.6) | 磨光・良好 | 磨 | 破片 | 縄文一帯。T層下部より層内区画の、中層 |
| 5 | SD-1 | 礎上 | 縄文一帯 漆器 | - | - | (3.0) | 磨光・良好 | 磨 | 破片 | 縄文一帯。T層下部より層内区画の、中層 |
| 6 | SD-4 | 礎上 | 縄文一帯 漆器 | - | - | (4.4) | 磨光・良好 | に深い磨 | 破片 | 中層L1区画。既述による層内区画の、中層 |
| 7 | 遺構付 | 遺構付 中層 | 縄文一帯 漆器 | - | - | (1.7) | 磨光・中・不良 | に深い磨 | 破片 | 中層L1区画。既述による層内区画の、中層 |
| 8 | P-148 | 礎上 | 縄文一帯 漆器 | - | - | (2.9) | 磨光・中・良好 | 磨 | 破片 | 中層L1区画。既述による層内区画の、中層 |

古銅時代

| 番号 | 遺構 | 出土位置 | 種類・形類 | 計測値 | | | 形状 | 色調 | 保存状況 | 説・整理方法の特徴など |
|----|-----------|--------|-----------|--------|--------|--------|---------|------|---------|---------------------------------|
| | | | | 口径 | 高さ | 重量 | | | | |
| 9 | SD-4 | 礎上 | 古式土器類 S字型 | - | - | (2.4) | 磨光・良好 | に深い磨 | 口縁部破片 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 10 | P-108 | 礎上 | 古式土器類 S字型 | - | - | (2.5) | 磨光・良好 | 底磨 | 口縁部破片 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 11 | P-108 | 礎上 | 古式土器類 S字型 | - | - | (3.0) | 磨光・良好 | 底磨 | 口縁部破片 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 12 | P-496 | 礎上 | 古式土器類 S字型 | - | - | (3.5) | 磨光・良好 | 底磨 | 口縁部破片 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 13 | SD-6 | 礎上 | 古式土器類 S字型 | - | - | (5.4) | 磨光・良好 | 底磨 | 口縁部破片 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 14 | SD-6 | 礎上 | 古式土器類 S字型 | - | - | (4.7) | 磨光・中・不良 | 磨 | 口縁部破片 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 15 | 遺構付 | 遺構付 中層 | 古式土器類 小壺型 | (9.3) | - | (5.8) | 磨光・中・良好 | に深い磨 | 口縁部破片 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 16 | SD-75 | 礎上 | 古式土器類 小壺型 | (9.6) | 6.5 | (5.8) | 磨光・中・良好 | に深い磨 | 1/3残 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 17 | SD-75 | 礎上 | 古式土器類 小壺型 | - | (6.0) | (7.3) | 磨光・良好 | に深い磨 | 底磨 1/3残 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 18 | SD-75 | 礎上 | 土器類 ミニチュア | (4.0) | - | (3.8) | 磨光・良好 | 磨 | 口縁部破片 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 19 | SD-75 | 礎上 | 土器類 ミニチュア | - | 2.8 | (3.2) | 磨光・良好 | 磨 | 底磨 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 20 | SD-84 | 礎上 | 土器類 坪 | (12.7) | - | 4.7 | 磨光・中・良好 | に深い磨 | 1/2残 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 21 | P-130-131 | 礎上 | 土器類 坪 | (12.8) | - | 4.4 | 磨光・中・不良 | 中・磨 | 1/3残 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 22 | P-130 | 礎上 | 土器類 坪 | (13.6) | - | (4.4) | 磨光・良好 | に深い磨 | 口縁部破片 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 23 | SD-30 | 礎上 | 土器類 坪 | (10.5) | - | (5.3) | 磨光・良好 | 底磨 | 1/3残 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 24 | SK-12P2 | 礎上層 | 土器類 坪 | (13.9) | - | (6.9) | 磨光・中・不良 | 磨 | 口縁部破片 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 25 | SD-56 | 礎上層 | 土器類 坪 | (13.6) | - | (5.9) | 磨光・中・良好 | 磨 | 口縁部破片 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 26 | SD-1 | 礎上層 | 土器類 坪 | - | - | (3.5) | 磨光・中・良好 | 底磨 | 口縁部破片 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 27 | SD-44 | 礎上層 | 土器類 坪 | (18.4) | - | (9.1) | 磨光・良好 | 磨 | 口縁部破片 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 28 | SD-24 | 礎上層 | 土器類 坪 | (11.2) | - | (6.7) | 磨光・良好 | 磨 | 口縁部破片 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 29 | P-496 | 礎上 | 土器類 坪 | - | 6.8 | (5.1) | 磨光・良好 | 底磨 | 口縁部破片 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 30 | P-496 | 礎上 | 土器類 坪 | - | 4.8 | (14.1) | 磨光・中・良好 | 底磨 | 口縁部破片 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 31 | SK1-26 | 礎上 | 土器類 坪 | - | 7.3 | (28.3) | 磨光・良好 | 底磨 | 口縁部破片 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 32 | SD-40 | 礎上 | 土器類 坪 | - | 5.6 | (30.9) | 磨光・良好 | 底磨 | 口縁部破片 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 33 | SD-66 | 礎上 | 土器類 坪 | (14.5) | (12.7) | (7.8) | 磨光・良好 | 底磨 | 口縁部破片 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 34 | 遺構付 | 遺構付 中層 | 土器類 坪 | (13.0) | - | (6.1) | 磨光・良好 | 底磨 | 口縁部破片 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 35 | SD-66 | 礎上 | 土器類 坪 | - | (11.8) | (6.3) | 磨光・中・不良 | 底磨 | 口縁部破片 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 36 | P-208 | 礎上 | 土器類 坪 | - | - | (3.8) | 磨光・良好 | 底磨 | 口縁部破片 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |

奈良・平安時代

| 番号 | 遺構 | 出土位置 | 種類・形類 | 計測値 | | | 形状 | 色調 | 保存状況 | 説・整理方法の特徴など |
|----|--------|------|-------|--------|-------|--------|-------|----|-------|---------------------------------|
| | | | | 口径 | 高さ | 重量 | | | | |
| 37 | SD-1 | 遺構付 | 土器類 坪 | (12.6) | - | 3.2 | 磨光・良好 | 磨 | 2/3残 | 内面：口縁部破片。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 38 | SD-1 | 遺構付 | 土器類 坪 | - | 7.9 | (2.4) | 磨光・良好 | 磨 | 底磨 | 内面：口縁部破片。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 39 | SD-1 | 遺構付 | 土器類 坪 | (12.6) | (8.0) | 3.5 | 磨光・良好 | 底磨 | 1/3残 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 40 | SD-1 | 遺構付 | 土器類 坪 | - | (8.2) | (2.3) | 磨光・良好 | 底磨 | 口縁部破片 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 41 | SD-1 | 遺構付 | 土器類 坪 | - | - | (4.0) | 磨光・良好 | 底磨 | 口縁部破片 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 42 | SD-1-2 | 礎上 | 土器類 坪 | - | - | (11.4) | 磨光・良好 | 底磨 | 口縁部破片 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 43 | SD-1 | 遺構付 | 土器類 坪 | (12.4) | (3.0) | 3.2 | 磨光・良好 | 底磨 | 1/3残 | 内面：口縁部破片。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 44 | SD-1 | 遺構付 | 土器類 坪 | (11.2) | - | (1.7) | 磨光・良好 | 底磨 | 口縁部破片 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |
| 45 | SD-1 | 遺構付 | 土器類 坪 | (12.6) | - | (2.7) | 磨光・良好 | 底磨 | 口縁部破片 | 口縁部破片。内面：磨光。外面：磨光。既述による層内区画の、中層 |

第 13 表 遺物観察表 (2)

| 番号 | 遺構 | 出土位置 | 種類・図号 | 計測値 | | 構成 | 造形 | 保存状況 | 取・観察方法の特異など | |
|-----|------------------|---------|-------|--------|--------|---------|-------|------------|---|---|
| | | | | 口径 | 高さ | | | | | |
| 46 | SI-2 | 墓上 | 土師器 埴 | (12.2) | 12.3 | 酸化・良好 | 横 | 口縁一段折片 | 口縁折片。底面ヘラケテリ | |
| 47 | SI-2 | 墓上 | 土師器 埴 | (14.8) | 6.9 | 還元・やや不良 | 横内 | 1/5 残 | 口口折片。底面ヘラケテリ。底面折片も折片あり。 | |
| 48 | SI-2 | 墓上 | 土師器 埴 | 13.0 | 6.0 | 還元・やや良好 | 横内 | 1 断面 2/3 欠 | 口口折片。底面折片も折片あり。 | |
| 49 | SI-2 | 墓上 | 土師器 埴 | 13.7 | 5.8 | 還元・やや良好 | 横内 | 1 断面 1/2 欠 | 口口折片。底面折片も折片あり。 | |
| 50 | SI-2 | 墓上 | 土師器 埴 | - | 17.0 | 還元・やや不良 | 横内 | 底面 1/3 残 | 口口折片。底面折片も折片あり。 | |
| 51 | SI-2 | 墓上 | 土師器 埴 | - | 14.6 | 還元・良好 | 横内 | 1 断面 1/2 欠 | 口口折片。底面折片も折片あり。 | |
| 52 | SI-2 | 墓上 | 土師器 埴 | (42.8) | - | 還元・良好 | 横内 | 口縁折片 | 口口折片。 | |
| 53 | SI-1 + 2 | 墓上 | 土師器 埴 | - | - | 還元・良好 | 横内 | 口縁折片 | 口口折片。内面：底面折片も折片あり。 | |
| 54 | SI-1 + 2 | 墓上 | 土師器 埴 | - | 13.6 | 還元・やや不良 | 横内 | 口口折片 | 口口折片。内面：底面折片も折片あり。 | |
| 55 | SI-1 + 2 | 墓上 | 土師器 埴 | - | (7.8) | 還元・やや良好 | 横内 | 底面 1/2 残 | 口口折片。内面：底面折片も折片あり。 | |
| 56 | SI-3 | 墓上 | 土師器 埴 | - | (4.8) | 還元・やや良好 | 横内 | 口縁折片 | 口口折片。 | |
| 57 | SI-3 | 墓上 | 土師器 埴 | - | (2.0) | 還元・良好 | 横内 | 口縁折片 | 口口折片。 | |
| 58 | SI-3 | 墓上 | 土師器 埴 | - | (4.0) | 還元・やや不良 | 横内 | 口縁折片 | 口口折片。 | |
| 59 | SI-3 | 墓上 | 土師器 埴 | - | (2.1) | 還元・やや不良 | 横内 | 口縁折片 | 口口折片。 | |
| 60 | SI-4 | 墓上 | 土師器 埴 | - | (3.0) | 還元・良好 | 横内 | 口縁折片 | 口口折片。 | |
| 61 | SI-4 周辺 | 墓上 | 土師器 埴 | - | (4.5) | 還元・やや不良 | 横内 | 口縁折片 | 口口折片。 | |
| 62 | SI-4 | 墓上 | 土師器 埴 | - | (2.4) | 還元・良好 | 横内 | 口縁折片 | 口口折片。 | |
| 63 | SI-4 | 墓上 | 土師器 埴 | - | (2.2) | 還元・やや不良 | 横内 | 口縁折片 | 口口折片。 | |
| 64 | SK-45 | 墓上 | 土師器 埴 | (13.2) | 5.3 | 還元・良好 | 横 | 2/3 残 | 口口折片。内面：底面折片も折片あり。 | |
| 65 | SK-45 | 墓上 | 土師器 埴 | - | (2.2) | 還元・良好 | 横 | 底面 1/3 残 | 口口折片。内面：底面折片も折片あり。 | |
| 66 | SK-47 | 墓上 | 土師器 埴 | (13.2) | (3.4) | 還元・やや良好 | 横内 | 口口折片 | 口口折片。内面：底面折片も折片あり。 | |
| 67 | SK-63・64 | 墓上 | 土師器 埴 | (11.0) | (7.8) | 還元・良好 | 横 | 口口折片 | 口口折片。内面：底面折片も折片あり。 | |
| 68 | SK-56 | 墓上 | 土師器 埴 | 7.3 | 4.9 | 還元・やや不良 | 横内 | 口口折片 | 口口折片。内面：底面折片も折片あり。 | |
| 68 | SK-62 | 墓上 | 土師器 埴 | (10.0) | 5.5 | 還元・やや良好 | 横内 | 口口折片 | 口口折片。内面：底面折片も折片あり。 | |
| 70 | SK-62 | 墓上 | 土師器 埴 | - | (5.7) | 還元・やや良好 | 横内 | 口口折片 | 口口折片。内面：底面折片も折片あり。 | |
| 71 | SK-72 | 墓上 | 土師器 埴 | (12.0) | 3.8 | 還元・良好 | 横 | 1/4 残 | 口口折片。内面：底面折片も折片あり。 | |
| 72 | SK-77 | 墓上 | 土師器 埴 | (10.0) | (5.8) | 還元・やや不良 | 横内 | 口口折片 | 口口折片。内面：底面折片も折片あり。 | |
| 73 | SK-52 | 墓上 | 土師器 埴 | - | (9.4) | 還元・良好 | 横内 | 口口折片 | 口口折片。内面：底面折片も折片あり。 | |
| 74 | SK-66 | 墓上 | 土師器 埴 | - | 6.3 | 還元・やや良好 | 横内 | 口口折片 | 口口折片。内面：底面折片も折片あり。 | |
| 75 | SK 90 | 墓上 | 土師器 埴 | (14.0) | 6.0 | 還元・やや良好 | 横内 | 口口折片 | 口口折片。内面：底面折片も折片あり。 | |
| 76 | SK 93 | 墓上 | 土師器 埴 | (14.0) | 5.3 | 還元・やや良好 | 横内 | 口口折片 | 口口折片。内面：底面折片も折片あり。 | |
| 77 | P-130・131 | 墓上 | 土師器 埴 | - | (1.9) | やや良好 | 横内 | 底面折片 | 底面折片。 | |
| 78 | P-603 | 墓上 | 土師器 埴 | - | - | 良好 | オリーフ片 | 口口折片 | 口口折片。内面：底面折片も折片あり。 | |
| 79 | SD-1 | 墓上土師 | 土師器 埴 | (11.8) | (10.2) | 還元・良好 | 横内 | 1/5 残 | 口口折片。内面：底面折片も折片あり。 | |
| 80 | SD-1 | 墓上土師 | 土師器 埴 | - | (4.7) | 還元・良好 | 横 | 口口折片 | 口口折片。内面：底面折片も折片あり。 | |
| 81 | SD-4 | 墓上 | 土師器 埴 | - | (7.7) | 還元・やや良好 | 横内 | 口口折片 | 口口折片。内面：底面折片も折片あり。 | |
| 82 | SD-4 | 墓上 | 土師器 埴 | - | (7.8) | 還元・やや不良 | 横内 | 口口折片 | 口口折片。内面：底面折片も折片あり。 | |
| 83 | 遺構外 | 確認区 D・E | 土師器 埴 | (25.4) | (3.5) | 還元・やや不良 | 横内 | 口口折片 | 口口折片。内面：底面折片も折片あり。 | |
| 84 | 遺構外 | 確認区 E 北 | 土師器 埴 | - | (1.8) | 還元・やや良好 | 横内 | 口口折片 | 口口折片。内面：底面折片も折片あり。 | |
| 85 | 遺構外 | 確認区 E 北 | 土師器 埴 | - | 13mm | 還元・やや良好 | 横内 | 口口折片 | 口口折片。内面：底面折片も折片あり。 | |
| 96 | SD-1・SK-11・SK-19 | 墓上 | 土師器 埴 | (28.8) | (20.9) | 還元・良好 | 横内 | 底面 | 1/2 残 | 内外面：墓子。底面に折片。横。口口折片は中央がわずかに欠け、折片の折れ目、底面折片は折れ目がある。内面は粘土の塊りが多い。 |
| 97 | SK-64 | 墓上 | 土師器 埴 | - | (9.8) | 還元・良好 | 横内 | 口縁折片 | 内外面：墓子。横。内面は粘土の塊り。口口折片は中央がわずかに欠け、折片の折れ目、底面折片は折れ目がある。口口折片は底面 24cm 程度に欠け。"新 SK-63 の横を底面した長 58.4 の横の折片。" | |
| 98 | SK 63・64 | 墓上 | 土師器 埴 | - | 7.7 | 還元・良好 | 横内 | 口縁折片 | 内外面：墓子。横。 | |
| 99 | SK 9 | 墓上 | 土師器 埴 | - | 2.2 | 還元・良好 | 横内 | 口縁折片 | 内外面：墓子。横。 | |
| 100 | P-400 | 墓上 | 土師器 埴 | - | 3.3 | 還元・良好 | 横内 | 口縁折片 | 内外面：墓子。横。 | |
| 101 | P-205 | 墓上 | 土師器 埴 | - | 5.5 | 還元・良好 | 横内 | 口縁折片 | 内外面：墓子。横。 | |
| 92 | 遺構外 | 確認区 D 北 | 土師器 埴 | - | 2.9 | 還元・良好 | 横内 | 口縁折片 | 内外面：墓子。横。 | |
| 93 | P-609 | 墓上 | 土師器 埴 | (10.0) | - | 3.1 | 還元・良好 | 横内 | 口縁折片 | 内外面：墓子。横。口口折片は中央がわずかに欠け、内面折片は中央に欠ける。 |
| 94 | 遺構外 | 確認区 D 北 | 土師器 埴 | - | (4.8) | 還元・良好 | 横内 | 口縁折片 | 内外面：墓子。横。口口折片は中央がわずかに欠け、内面折片は中央に欠ける。 | |
| 95 | 遺構外 | 確認区 D 北 | 土師器 埴 | - | (5.6) | 還元・やや良好 | 横内 | 口縁折片 | 内外面：墓子。横。口口折片は中央がわずかに欠け、内面折片は中央に欠ける。 | |
| 96 | 遺構外 | 確認区 D 北 | 土師器 埴 | - | (4.0) | 還元・良好 | 横内 | 口縁折片 | 内外面：墓子。横。口口折片は中央がわずかに欠け、内面折片は中央に欠ける。 | |
| 97 | SK 70 | 墓上 | 土師器 埴 | - | (6.1) | 還元・良好 | 横内 | 口縁折片 | 内外面：墓子。横。口口折片は中央がわずかに欠け、内面折片は中央に欠ける。 | |
| 98 | P-174 | 墓上 | 土師器 埴 | - | (3.7) | 還元・良好 | 横内 | 口縁折片 | 内外面：墓子。横。口口折片は中央がわずかに欠け、内面折片は中央に欠ける。 | |
| 99 | SK 9 | 墓上 | 土師器 埴 | - | (5.1) | 還元・良好 | 横内 | 口縁折片 | 内外面：墓子。横。口口折片は中央がわずかに欠け、内面折片は中央に欠ける。 | |
| 100 | SK-4 周辺 | 墓上 | 土師器 埴 | - | (2.2) | 還元・良好 | 横内 | 口縁折片 | 内外面：墓子。横。口口折片は中央がわずかに欠け、内面折片は中央に欠ける。 | |
| 101 | P-400 | 墓上 | 土師器 埴 | - | (4.4) | 還元・不良 | 横内 | 口縁折片 | 内外面：墓子。横。口口折片は中央がわずかに欠け、内面折片は中央に欠ける。 | |
| 102 | P-125 | 墓上 | 土師器 埴 | - | (3.0) | 還元・良好 | 横内 | 口縁折片 | 内外面：墓子。横。口口折片は中央がわずかに欠け、内面折片は中央に欠ける。 | |
| 103 | SK-24 | 墓上 | 土師器 埴 | - | (3.8) | 還元・良好 | 横内 | 口縁折片 | 内外面：墓子。横。口口折片は中央がわずかに欠け、内面折片は中央に欠ける。 | |
| 104 | SD 6 | 墓上 | 土師器 埴 | - | (4.8) | 還元・良好 | 横内 | 口縁折片 | 内外面：墓子。横。口口折片は中央がわずかに欠け、内面折片は中央に欠ける。 | |

第14表 遺物観察表(3)

| 番号 | 遺物 | 出土位置 | 観察・撮影 | 計測値 | | | 重量 | 色調 | 形状状況 | 注・形状方法の特徴など | |
|-----|----------|---------|----------|--------|-------|-------|---------|----------|-------|--|--------------------------------------|
| | | | | 口径 | 幅 | 高さ | | | | | |
| 105 | SK-86 | 覆土 | 軟質陶器 すり鉢 | - | - | (4.8) | 黒灰・黒灰 | 黒灰 | 上縁部破片 | 内面：すり鉢。内面：磨痕は磨痕ではないが、磨痕(5本以上)あり。内面：すり鉢は深く内側して立ち上がり、上縁部は支那製に作り直し、その両部を半円状にすり鉢状。外面で内径を確保すれば、30.5cm程度になる。 | |
| 106 | 遺物A | 塚山内 C2区 | 軟質陶器 すり鉢 | - | - | (2.4) | 黒灰・やぶ青灰 | 灰白 | 底部破片 | 内面にすり鉢(5本以上)あり。あるが、磨痕は磨痕ではない。内径：すり鉢。内面にすり鉢(5本以上)あり。あるが、磨痕は磨痕ではない。 | |
| 107 | 遺物B | 塚山内 C2区 | 軟質陶器 すり鉢 | - | - | (2.9) | 褐色・黒灰 | 褐色 | 底部下破片 | 内面：すり鉢。内面にすり鉢(5本以上)あり。あるが、磨痕は磨痕ではない。 | |
| 108 | SK-97-98 | 覆土 | 軟質陶器 すり鉢 | - | - | (8.2) | 褐色・黒灰 | に高い褐色 | 底部下破片 | 内面：すり鉢。内面：すり鉢(5本以上)あり。あるが、磨痕は磨痕ではない。 | |
| 109 | P-402 | 覆土 | 在土地 すり鉢 | - | - | (8.6) | (5.9) | 黒灰・黒灰 | 青灰 | 底部破片 | 内面：すり鉢。内面：すり鉢(5本以上)あり。あるが、磨痕は磨痕ではない。 |
| 110 | SB-10-P2 | 覆土 | カワラケ | 11.1 | 6.5 | 2.7 | 褐色・黒灰 | 黒 | 口縁一部欠 | 口縁部破片。内面：足込み磨痕状すり鉢。外面：磨痕は磨痕は磨痕。高約1cm。 | |
| 111 | SB-10-P2 | 覆土 | カワラケ | 10.8 | 6.0 | 2.7 | 褐色・黒灰 | 黒 | 口縁一部欠 | 口縁部破片。内面：足込み磨痕状すり鉢。外面：磨痕は磨痕は磨痕。高約1cm。 | |
| 112 | SB-10-P2 | 覆土 | カワラケ | 10.9 | 6.6 | 2.6 | 褐色・黒灰 | 黒 | 口縁一部欠 | 口縁部破片。内面：足込み磨痕状すり鉢。外面：磨痕は磨痕は磨痕。高約1cm。 | |
| 113 | SB-10-P2 | 覆土 | カワラケ | 10.5 | 6.3 | 2.7 | 褐色・黒灰 | 黒 | 口縁一部欠 | 口縁部破片。内面：足込み磨痕状すり鉢。外面：磨痕は磨痕は磨痕。高約1cm。 | |
| 114 | SB-10-P2 | 覆土 | カワラケ | 10.7 | (8.8) | 2.7 | 褐色・黒灰 | 黒 | 1/3欠 | 口縁部破片。内面：足込み磨痕状すり鉢。外面：磨痕は磨痕は磨痕。高約1cm。 | |
| 115 | SK-30 | 覆土 | カワラケ | - | - | (0.7) | 褐色・黒灰 | 黒 | 底部破片 | 内面：足込み磨痕状すり鉢。外面：磨痕は磨痕は磨痕。高約1cm。 | |
| 116 | P-145 | 覆土 | カワラケ | (8.8) | (5.2) | 2.0 | 褐色・黒灰 | 褐色・黒灰 | 1/3欠 | 内面：すり鉢。内面：すり鉢(5本以上)あり。あるが、磨痕は磨痕は磨痕。高約1cm。 | |
| 117 | SD-1 | 覆土上層 | 陶器 瓶か | - | (4.2) | (2.2) | 黒灰 | 赤オリーブ系 | 底部破片 | 内面：すり鉢。内面：すり鉢(5本以上)あり。あるが、磨痕は磨痕は磨痕。高約1cm。 | |
| 118 | SD-1 | 覆土上層 | 陶器 瓶か | (12.6) | - | (1.7) | 黒灰 | 灰白(磨痕あり) | 口縁部破片 | 内面：すり鉢。内面：すり鉢(5本以上)あり。あるが、磨痕は磨痕は磨痕。高約1cm。 | |
| 119 | SK-44 | 覆土 | 陶器 蓋か | (11.4) | - | (2.2) | 黒灰 | に高い褐色 | 上縁部破片 | 内面：すり鉢。内面：すり鉢(5本以上)あり。あるが、磨痕は磨痕は磨痕。高約1cm。 | |
| 120 | P-145 | 覆土 | 陶器 瓶か | - | - | (2.2) | 黒灰 | オリーブ系 | 底部破片 | 内面：すり鉢。内面：すり鉢(5本以上)あり。あるが、磨痕は磨痕は磨痕。高約1cm。 | |
| 121 | SK-86 | 覆土 | 陶器 瓶か | (10.2) | - | (2.6) | 黒灰 | 灰 | 上縁部破片 | 内面：すり鉢。内面：すり鉢(5本以上)あり。あるが、磨痕は磨痕は磨痕。高約1cm。 | |
| 122 | SK-18 | 覆土 | 陶器 瓶か | - | - | (6.9) | 黒灰 | 赤オリーブ系 | 底部破片 | 内面：すり鉢。内面：すり鉢(5本以上)あり。あるが、磨痕は磨痕は磨痕。高約1cm。 | |
| 123 | SK-52 | 覆土 | 白磁 蓋 | - | - | (1.0) | 黒灰 | 白 | 底部破片 | 内面：すり鉢。内面：すり鉢(5本以上)あり。あるが、磨痕は磨痕は磨痕。高約1cm。 | |
| 124 | SD-1 | 覆土下層 | 陶器 瓶か | - | - | (8.5) | 黒灰 | 赤オリーブ系 | 底部破片 | 内面：すり鉢。内面：すり鉢(5本以上)あり。あるが、磨痕は磨痕は磨痕。高約1cm。 | |
| 125 | SK-24 | 覆土 | 軟質陶器 蓋か | - | - | (3.3) | 黒灰 | に高い褐色 | 底部破片 | 内面：すり鉢。内面：すり鉢(5本以上)あり。あるが、磨痕は磨痕は磨痕。高約1cm。 | |

石製品

| 番号 | 遺物 | 出土位置 | 観察・撮影 | 計測値 | | | 重量 | 色調 | 形状状況 | 注・形状方法の特徴など | |
|-----|-------|--------|------------|--------|-------|-------|----------|---------|-------|--|-----------------------------|
| | | | | 長 | 幅 | 厚 | | | | | |
| 126 | SK-61 | 覆土 | 石製短道具 行内内輪 | (1.6) | 2.3 | 0.4 | (2.1) | 黒灰 | 約1/2欠 | 磨痕。2孔あり。穴は、2孔あり。 | |
| 127 | SK-2 | 覆土 | 小銅短道具 | 4.2 | 4.3 | 2.0 | 53.9 | 暗青灰 | 完整 | 石製。銅製に磨痕の磨痕が、表面に磨痕の磨痕がわずかに残る。 | |
| 128 | SK-82 | 覆土 | 砥石 | (7.3) | 5.5 | 3.8 | (27.5) | 灰黒 | 一部破片 | 小石。小石以外を破片。磨痕の磨痕あり。磨痕は磨痕は磨痕。高約1cm。 | |
| 129 | P-480 | 覆土 | 砥石 | (7.0) | 2.7 | 2.2 | (7.4) | 灰白 | 一部破片 | 石製。小石以外を破片。磨痕の磨痕あり。磨痕は磨痕は磨痕。高約1cm。 | |
| 130 | P-480 | 覆土 | 砥石 | (10.7) | 3.0 | 2.9 | (9.5) | 灰白 | 一部破片 | 石製。小石以外を破片。磨痕の磨痕あり。磨痕は磨痕は磨痕。高約1cm。 | |
| 131 | SK-19 | 覆土下層 | 刃部石 | (12.9) | (2.8) | 5.7 | (1045.3) | 黒灰 | 一部破片 | 石製。刃部の磨痕の磨痕が、刃部を磨いた後に磨痕した。磨痕の磨痕が磨痕。二次磨痕は磨痕は磨痕。高約1cm。 | |
| 132 | SK-76 | 覆土 | 砥石 | (6.9) | (6.7) | 3.0 | 85.4 | 山崎 | 完整 | 磨痕の磨痕の磨痕。磨痕の磨痕は磨痕。高約1cm。 | |
| 133 | SK-63 | 覆土中層 | 砥石 | 5.3 | 5.0 | 4.4 | 137.0 | 黒灰 | 完整 | 磨痕の磨痕の磨痕。磨痕の磨痕は磨痕。高約1cm。 | |
| 134 | SK-9 | 覆土 | 砥石(山崎) | 1.5 | 1.5 | 0.5 | 1.4 | 青灰・黒灰 | 完整 | 磨痕の磨痕の磨痕。磨痕の磨痕は磨痕。高約1cm。 | |
| 135 | SK-65 | No 2・3 | 磨石(FF0) | - | - | 22.7 | 8.5 | (395.0) | 青灰 | 約1/4破片 | 磨石の磨痕の磨痕。磨痕の磨痕は磨痕。高約1cm。 |
| 136 | SK-86 | 覆土 | 磨石(CF5F) | - | - | 17.2 | 8.5 | (217.0) | 黒灰 | 約1/3破片 | 磨石の磨痕の磨痕。磨痕の磨痕は磨痕。高約1cm。 |
| 137 | SK-63 | 覆土中層 | 砥石(CF5F) | - | - | 3.1 | 4.9 | (439.9) | 灰 | 受け破片 | 砥石。磨石の磨痕の磨痕。磨痕の磨痕は磨痕。高約1cm。 |
| 138 | SK-63 | 覆土下層 | 砥石(CF5F) | - | - | (5.4) | 4.4 | (151.3) | 青灰 | 受け破片 | 砥石。磨石の磨痕の磨痕。磨痕の磨痕は磨痕。高約1cm。 |
| 139 | SK-86 | 覆土 | 砥石 | (18.5) | (3.2) | 2.9 | (1117.0) | 黒灰 | 一部破片 | 砥石の磨痕の磨痕。磨痕の磨痕は磨痕。高約1cm。 | |
| 140 | SK-86 | 覆土 | 砥石 | (15.2) | (3.4) | 1.4 | (442.6) | オリーブ系 | 破片 | 砥石の磨痕の磨痕。磨痕の磨痕は磨痕。高約1cm。 | |
| 141 | SK-86 | 覆土 | 砥石 | (15.7) | (7.2) | 0.95 | (133.7) | 青灰 | 破片 | 砥石の磨痕の磨痕。磨痕の磨痕は磨痕。高約1cm。 | |
| 142 | SK-86 | 覆土 | 砥石 | (5.4) | (4.4) | (0.5) | (22.4) | オリーブ系 | 破片 | 砥石の磨痕の磨痕。磨痕の磨痕は磨痕。高約1cm。 | |
| 143 | SD-3 | 覆土 | 砥石 | (9.4) | (7.1) | (0.8) | (68.7) | 青灰 | 破片 | 砥石の磨痕の磨痕。磨痕の磨痕は磨痕。高約1cm。 | |

鉄器

| 番号 | 遺物 | 出土位置 | 観察・撮影 | 計測値 | | | 重量 | 色調 | 形状状況 | 注・形状方法の特徴など |
|-----|-------|------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|------|---------------|
| | | | | 長 | 幅 | 厚 | | | | |
| 144 | SK-18 | 覆土 | 鉄釘 | 2.4 | 2.4 | 0.1 | 2.6 | 黒磁鉄 | 完整 | 「元磁鉄」製。高約1cm。 |
| 145 | SK-23 | 覆土 | 鉄釘 | 2.5 | 2.5 | 0.1 | 3.1 | 黒磁鉄 | 完整 | 「元磁鉄」製。高約1cm。 |
| 146 | P-349 | 覆土 | 鉄釘 | 2.4 | 2.4 | 0.1 | 1.8 | 黒磁鉄 | 完整 | 「元磁鉄」製。高約1cm。 |
| 147 | SD-6 | 覆土 | 鉄釘 | 2.4 | 2.4 | 0.1 | 2.5 | 黒磁鉄 | 完整 | 「元磁鉄」製。高約1cm。 |
| 148 | SD-5 | 覆土 | 鉄釘 | 2.5 | 2.4 | 0.1 | 2.4 | 黒磁鉄 | 完整 | 「元磁鉄」製。高約1cm。 |
| 149 | P-343 | 覆土 | 鉄釘 | 2.4 | 2.4 | 0.1 | 3.0 | 黒磁鉄 | 完整 | 「元磁鉄」製。高約1cm。 |

VII. まとめ

はじめに 本遺跡では多くの遺構が検出された。これらは古墳時代～中世に帰属すると考えられる。ただし、古墳～奈良・平安時代の遺構は少なく、中世の遺構が主体であると考えた。ここでは中世に帰属する遺構について若干の整理を試み、本遺跡の性格についてまとめる。

ピットの性格と時期 本遺跡で検出した遺構は、土坑とピットが大部分を占める。ピットの深度は一定しないが、30cm以上の掘り込みが約4割を占めることなどから、柱穴としての性格が考えられる。土坑として調査した遺構の中にも、柱穴と考えうる小規模なものが含まれており、本遺跡で検出した遺構の大部分が柱穴とみられる。個々の柱穴の帰属時期は明確に難しく、それは遺構覆土へのAs-B混入の把握ができなかったことによる。さらに出土遺物からの時期判断も、短絡的にはできない状況であった。つまり、ほとんどの出土遺物が古墳～奈良・平安時代の土器破片で占められ、いずれも小破片、ないし極小破片が主体であることから、これらを流れ込みの遺物と考えたのである。接合率も極端に低かった。一方で、一部の柱穴からは内耳鍋やすり鉢、カワラケや古銭などの中世遺物が出土しており、中世に帰属する遺構が存在することがわかった。このことは、遺跡から出土する近世以降の遺物が僅少であり、攪乱や近世以降の遺構もほぼ存在しないことから、中世遺物がそれ以降の遺構に混入する可能性は低い、と考えたことによる。また、柱穴は円形気味の平面形態が多いが、少なからず方形または方形気味のものも存在した。そして、この方形柱穴を中世の特徴のひとつとしてとらえた。このように、わずかな出土遺物と柱穴の平面形態から、今回調査した柱穴群には中世に帰属するものが含まれると考えることができた。そして、これらの検出状況からみて、柱穴の大部分を中世の帰属と判断した。

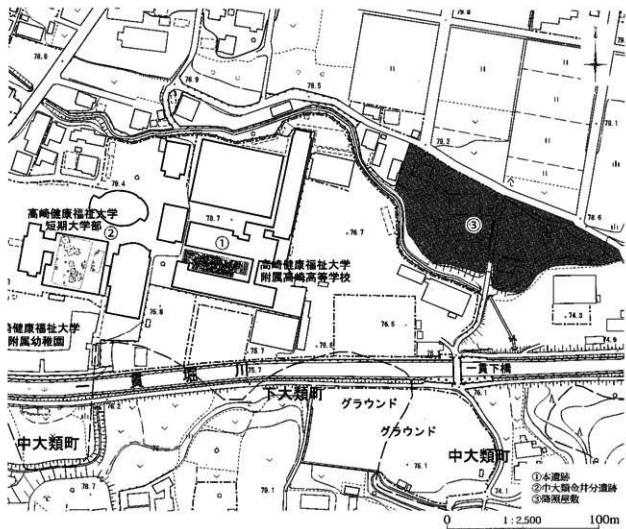
SD-1の時期 SD-1は調査区東端部で検出した溝である。東側が調査区外となるため、その全幅は不明である。仮に全体の半分程度を検出したとすれば、上幅約4mの菓研堀状の断面形態と推測できる。しかし、底面では東壁の立ち上がりを検出しておらず、推測した上幅は、最低限の想定幅である。

一方、覆土混入の白色軽石がAs-Aであれば、遺構上位の埋没は近世後半以降である。これは上層から近世陶磁器が出土したと矛盾しない。さらに下層では白色軽石の混入がなく、近世以降の遺物が川出ししないことを考慮すれば、下位の埋没はそれ以前とみられる。下層出土遺物の中では焼締陶器が最も新しいことから、本遺構の帰属時期をこれに求めたい。この遺物は常滑焼の裏破片と考えられ、肩部小破片のため詳細な時期判断をしがたいが、大枠で中世の帰属と考えた。

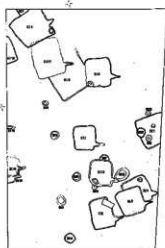
本遺跡の性格 以上のようにSD-1と多量の柱穴が、中世に帰属すると判断した。そして調査区内でのこれらの検出状況からみて、本遺跡を中世の屋敷跡であると考えた。つまり、SD-1が屋敷を囲む堀であり、多数の柱穴が存在する部分を屋敷内部として判断した。そして多数の柱穴の中には孤立柱建物構成するものが存在する。またSD-1西隣は遺構密度が比較的希薄であり、攪乱と判断したP-704～708・SK-101や、中世以前の可能性のあるP-710・711を除外すれば、その希薄さがさらに際立つ。このことからSD-1西側に土塁の存在を想定してよければ、中世屋敷跡の可能性を補強できる。全体的にみれば、堀・土塁(想定)・建物の諸属性を把握することができる。

出土遺物、そして中世屋敷跡の年代 中世遺物の出土は少なく、小破片が主体である。カワラケの他、内耳鍋やすり鉢などの(在)産軟質陶器、穀物白や茶白、板碑などの石製品類、古銭などが出土した。これらの出土から中世遺物の存在が判明したのだが、詳細な時期を判断できる遺物は少ない。そこで、形態的特徴のわかる内耳鍋破片を主に検討し、屋敷跡の年代として把握したい。

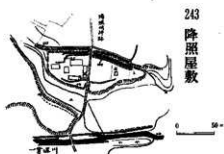
まずSD-4から出土した内耳鍋(No 86)がある。出土破片の接合により、全形が分かる程度に復元された。一部SK-19出土破片も接合するが、この破片は遺物取り上げ時の混合の可能性があり、本来的にはSD-4に帰属した可能性がある。この内耳鍋は、口縁部が比較的長めで、わずかに内湾気味に外傾する。口唇部中央はわずかにくぼむ。口唇部外縁は鋭角な断面三角形状だが、その端部はやや丸味を帯びる。逆に、口唇部内縁は鋭角に屈曲し、外端部よりわずかに低い。頸部内面には明瞭な段がある。底部は丸底であり、その中央部がわずかに突出する。こうした特徴は、秋本太郎氏による分類(秋本2005)の「C群2類」または「D群1類」に類似すると考え



第31図 調査区の周辺図



第32図 中大類金井分遺跡全体図
(高崎市遺跡調査会「中大類金井分遺跡」1992)



第33図 降照屋敷
(山崎一「群馬県古墳遺址の研究」上巻1971)

られ、編年図では前者が「15世紀末～16世紀初頭?」、後者に「16世紀前半～中葉?」の年代を考慮されている。一方、SK-64底面からは内耳鍋の口縁部が出土している。破片であるが、本遺跡出土の内耳鍋破片の中では、最も大きいものである。口縁部は比較的長めで、わずかに内湾気味に外傾する。口唇部は平坦で、外端部が断面三角形に突出する。頸部内部には段があるが、丸味を帯びる。これらの特徴から秋本氏による「D群」に該当し、底部形態は不明であるが、仮に平底であれば「2類」に相当しよう。「D群」は16世紀代におさまるようであり、「D群2類」は「16世紀後半?」とされている。その他の内耳鍋口縁部破片資料をみると、一部に古手の印象をもつ破片もあるが、全体的にはNo.89・92・91などのように「D群」相当の破片が多いようである。またNo.94は「C群2類」に類似すると思われる。このように見れば、内耳鍋の時期的主体は16世紀代にあると考えられる。

他に、遺跡からはわずかな陶磁器類の出土があるが、小破片のため時期判断に至っていない。また、SB-10・P2からカワラケ5個体の一括資料が出土している。こちらの検討も行っていないが形態的には16世紀代のように思える。すり鉢の破片は全て小破片であり、全形のわかるものはない。叩し目のある個体が含まれており、いずれも15世紀後半以降であろうか。

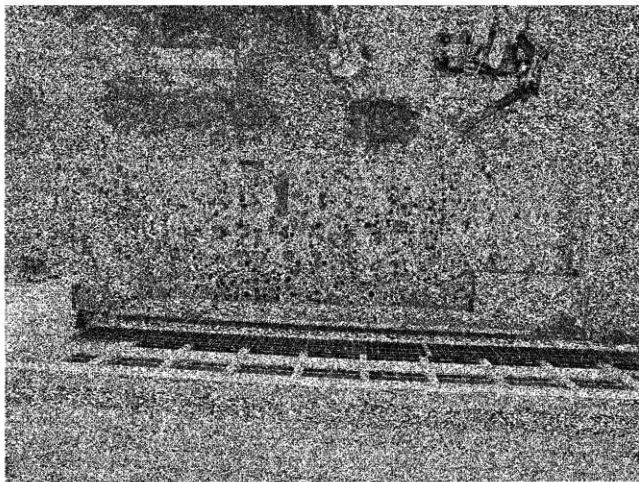
このように、出土遺物の時期的様相は16世紀代にあると考えられ、15世紀後半頃まで遡る可能性もある。いずれにせよ、少数かつ小破片の資料からの判断であり、限界性がある。ただし、ここではこれらの出土遺物の年代観に拠り、中世屋敷跡の年代を16世紀代主体として判断しておきたい。

屋敷跡の範囲 それでは屋敷跡の規模はどの程度であったのだろうか。SD-1が内部を囲む堀とする前提で、本遺跡の周辺地形をあわせて考えてみたい。本遺跡は井野川右岸の微高地上に位置する。自然堤防と考えられ、周囲には田圃が広がる。この微高地の北側には小流路があり、谷状の地形となっている。南側では学校校舎の南面が比高差約3mと低くなっており、一貫堀川が流れる。東側は学校グラウンドになっているが、約2mの比高差で低くなっている。旧地形は判然としないが、さらに東側の井野川方面へと低く傾斜していたと思われる。このように、本遺跡の存在する微高地には、北・東・南の三方に地形的な変換点がある。屋敷の範囲はこうした地形に制約されたと考えられ、おのずとその範囲内に築造されたと推測できる。それでは西側の範囲はどうだろうか。微高地自体は西側道路をこえるまで連続しており、屋敷地を制約するような地形の変化はない。しかし、かつて調査された中大類金井分遺跡では、中世に帰属する遺構・遺物が報告されておらず、その全体図を見てもピット群などは確認できない。よって、本遺跡の屋敷跡の範囲は、この金井分調査区まで及んでいないと判断できる。このことから本遺跡の範囲を推定ことができ、それはSD-1を起輪としてほぼ100m四方の範囲におさまる。これは最大範囲の推定であり、実際はそれを下回る規模の可能性もある。本遺跡の南西約1.5mに位置する下村北遺跡では、一辺約50m規模の屋敷跡(下村北屋敷)の調査事例がある。

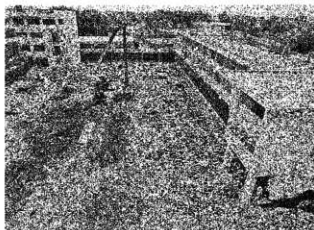
本遺跡の中世屋敷跡 以上みてきたように、本遺跡は中世の屋敷跡と考えられる。そしてわずかな出土遺物により、16世紀代を主体とする時期に機能したと考えた。構造的には上幅約4m以上の堀に囲まれ、状況的な推測からは、土塁が存在した可能性もある。それらの内部には多数の柱穴があり、掘立柱建物も建てられていた。井戸は検出されていないが、調査区外に存在するのであろう。土坑の中には中世に帰属するとみられるものもあるが、その性格は明らかでない。複数条を検出した溝は、中世の帰属と考えられるものについては南北方向であり、何らかの区画溝であった可能性がある。そしてこの屋敷の範囲は最大でも約100m以内と考えられ、井野川に望む微高地の先端に位置する。

おわりに 本遺跡では中世以前には奈良・平安時代の集落が形成されていた。さらに、それ以前の古墳時代の集落も想定でき、わずかながら古墳時代前期の遺構も存在する。これらの痕跡は中世屋敷の築造により損なわれたと考えられるが、断片的にせよ、その存在を把握することができた。中世屋敷跡については、その内部施設の検討は行っておらず、隣接する降照屋敷との関係性も含め、今後に検討の余地を残した。ここでは本遺跡での調査成果を確証にまとめたが、高崎市域、ひいては大類地域の歴史を考える上で、本遺跡の再検討が望まれる。

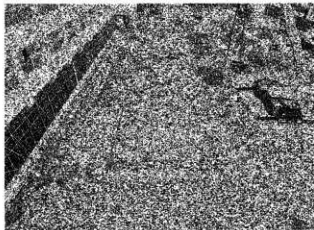
(参考文献) 秋本 太郎 2005「上野と周辺地域との関係—在土器の分布論から探る—」『海なき国々のモノとヒトの動き—16～17世紀における内陸部の流通—』内陸遺跡研究会



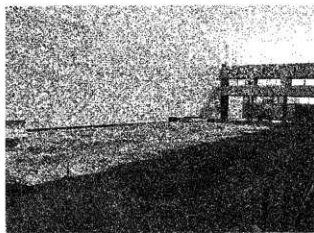
調査区全景 (上が北)



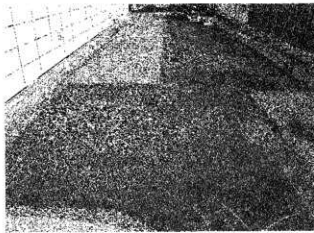
調査区遠景 (西から)



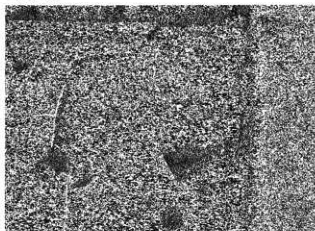
調査区遠景 (東から)



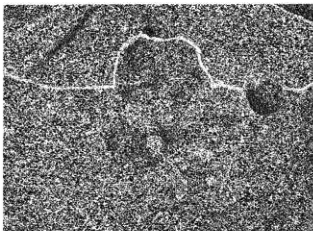
調査前現況 (南西から)



遺構確認状況 (西から)



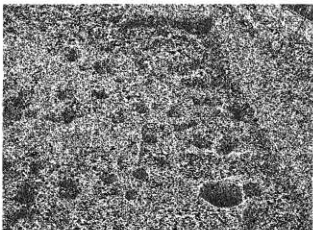
SI-1 全景 (西から)



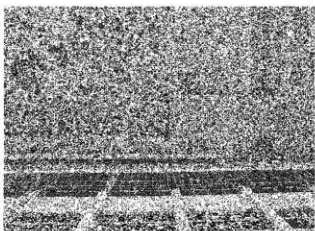
SI-1 カマド 全景 (西から)



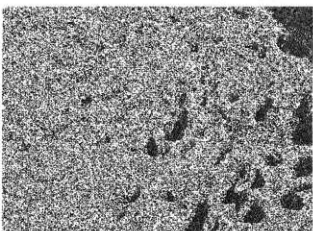
SI-2 周辺 全景 (西から)



SI-3・4 周辺 全景 (西から)



SI-1~4 周辺 全景 (上が北)



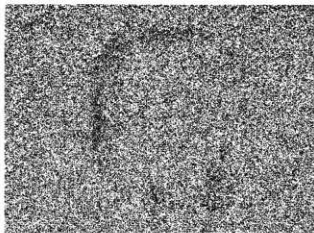
SI-3 周辺 全景 (西から)



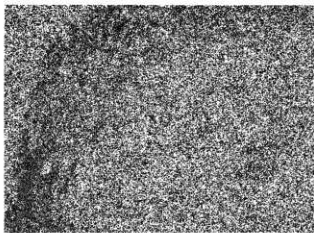
SI-9 周辺 全景 (東から)



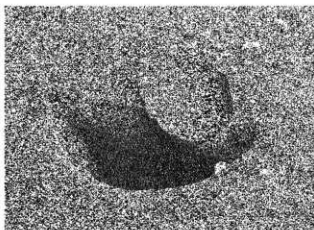
SI-13 周辺 (南から)



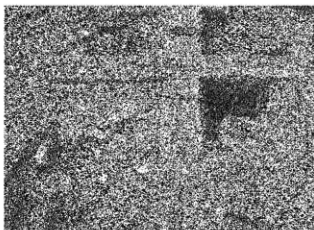
SK-18 全景 (東から)



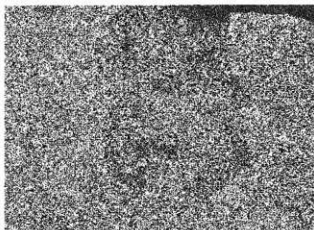
SK-18 遺物出土状況 (東から)



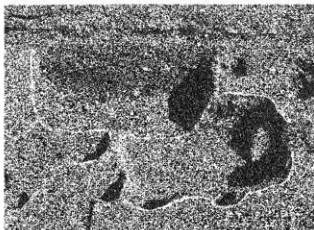
SK-31 遺物出土状況 (東から)



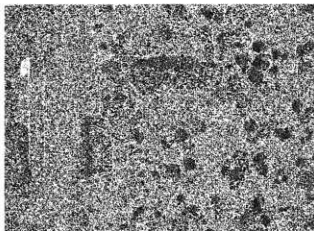
SK-44・45 調査状況 (南から)



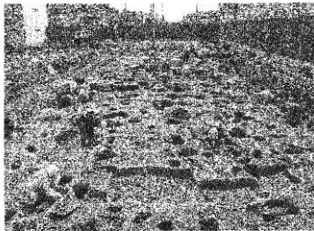
SK-62 遺物出土状況 (南から)



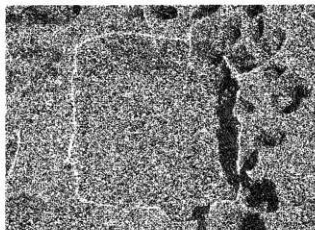
SK-63・64 全景 (南から)



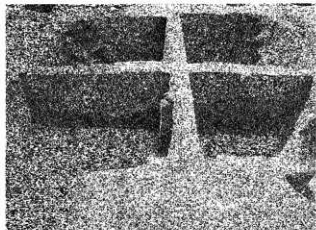
SK-63・64 周辺 (左が北)



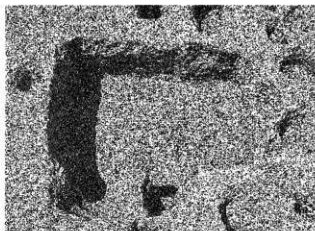
作業状況 (西から)



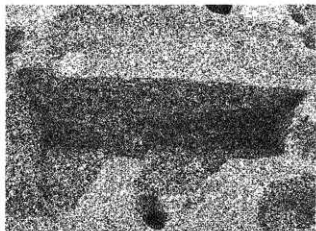
SK-86 全景 (南から)



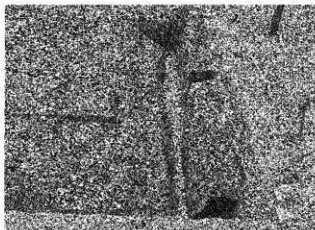
SK-86 土層断面 (東から)



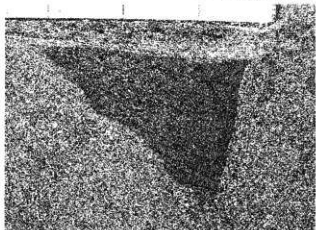
SK-99 全景 (東から)



SK-99 土層断面 (東から)



SD-1 全景 (南から)



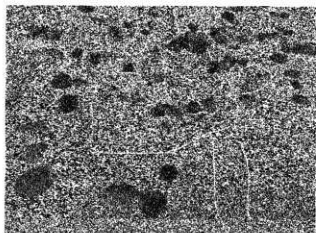
SD-1 土層断面 (南から)



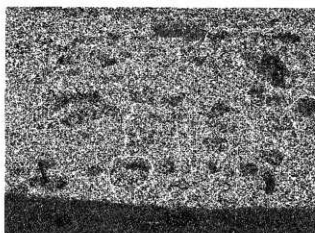
SD-2・3 周辺 (南東から)



SD-4 遺物出土状況 (南から)



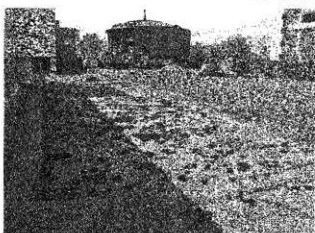
SD-5 周辺 (南から)



SD-6 周辺 (南から)

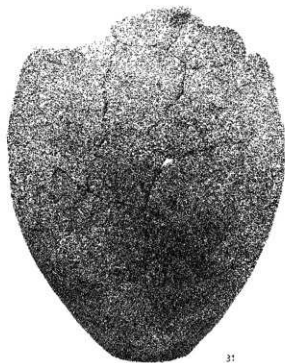
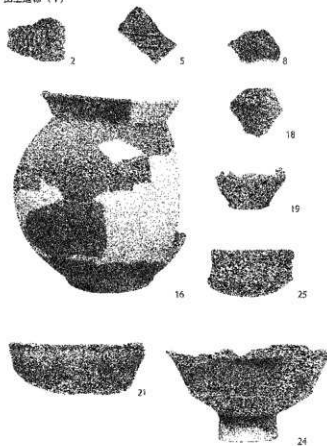


作業状況 (南東から)



調査終了時の状況 (南東から)

出土遺物 (1)



31



32



33



36



37



41



39



43



48



65



49



69



64



71



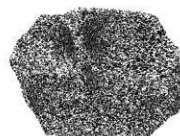
76



82



83



87



105



108



119



120



121



110



122



123



126



111



113



124



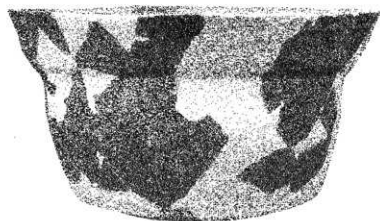
112



114



144



137



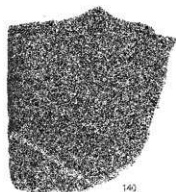
142



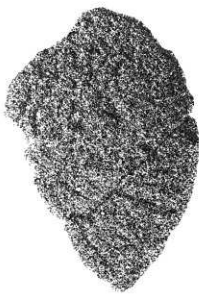
85



138



140



135



136

発掘調査報告書抄録

| | |
|--------|--------------------------|
| ふりがな | なかおおい・あまだいせき |
| 書名 | 中大類・天田遺跡 |
| 副書名 | 校舎建設に伴う埋蔵文化財発掘調査 |
| 巻次 | — |
| シリーズ名 | 高崎市文化財調査報告書 |
| シリーズ番号 | 第290集 |
| 編著者名 | 田口 一郎 高林 真人 水谷 貴之(編) |
| 編集機関 | 高崎市教育委員会 |
| 所在地 | 〒370-8501 群馬県高崎市高松町 35-1 |
| 発行年月日 | 2011年12月19日 |

| 所収遺跡名 | ふりがな 所在地 | コード | | 北緯 | 東経 | 調査期間 | 調査面積 | 調査原因 |
|------------------------|-----------------------------------|--------|------|-------------|--------------|---------------------------|-------|------|
| | | 市町村 | 遺跡番号 | | | | | |
| 中大類・ あまだいせき 天田遺跡 | たかあき ちゅうおおい 高崎市中大類町 530番地ほか | 102020 | 500 | 36° 19' 22" | 139° 03' 37" | 2011.03.28～ 2011.04.28 | 約445㎡ | 校舎建設 |

| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | 特記事項 |
|----------|----------|-----------------------|------------------------------------|------------------------------------|---|
| 中大類・天田遺跡 | 集落 屋敷 | 古墳時代 奈良・平安時代 中世 | 竪穴住居跡 掘立柱建物跡 土坑 土坑 ピット | 古式土師器 土師器 須臾器 陶磁器 軟質陶器 | 中世屋敷跡を発掘調査した。遺跡全体では古墳時代前期～平安時代の遺物が多く出土したが、遺構は少ない。 |

| | |
|----|---|
| 要約 | <p>中大類・天田遺跡は高崎市の南東部、井野川右岸の微高地に位置する。発掘調査は校舎建設に伴い実施され、調査面積は約445㎡である。調査の結果、竪穴住居跡・溝・土坑・ピットなどの遺構が検出された。特にピットは712基以上検出され、これらの多くが柱穴であったと考えられる。多数のピットの中から、掘立柱建物跡を構成する可能性が高いものを抽出し、本報告書では10種分を掲載している。本遺跡は中世の屋敷跡と考えられ、SD1溝が区画のための堀と考えた。よってピット層が検出された部分を、堀敷の内堀として判断した。中世の出土遺物は少ないが、カララケの椀、内耳銅やす鉢などの在産軟質陶器、軟物臼・茶臼・板碑などの石製品、銭貨などが出土している。遺跡全体として、出土遺物の主体は古墳時代～平安時代の土器であるが、いずれも小断片である。竪穴住居跡が奈良・平安時代に発掘することから、中世以前には古代の集落が形成されていたと考えられる。しかし、中世屋敷の構築によって遺構が壊されたことも考えられ、この時代と判断できる遺構が少ない。</p> |
|----|---|

高崎市文化財調査報告書第290集

中大類・天田遺跡

—校舎建設に伴う埋蔵文化財発掘調査—

平成23年12月12日 印刷

平成23年12月19日 発行

編集・発行 高崎市教育委員会

印刷 上海印刷工業株式会社